

令和5年度福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議

日時：令和5年8月22日（火） 午後2時

場所：福岡市総合図書館3階 第1会議室

< 次 第 >

1 開 会

2 委員長の選出

3 議題

- (1) 令和4年度新ビジョン事業計画の取組状況及び内部評価について
- (2) 令和4年度新ビジョン事業計画の外部評価の提出について

【別添資料】

- ・福岡市総合図書館新ビジョン
- ・福岡市総合図書館新ビジョン事業計画及び成果指標
- ・利用者アンケート調査報告書
- ・図書館要覧（抜粋）
- ・令和3年度評価調書

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所属等
上村 篤子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
岡本 洋幸	公益財団法人九州経済調査協会 BIZCOLI館長
白根 恵子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
増田 亜希子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)
安永 行政	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)

○新ビジョン事業計画一覧表

図書館像	項目		内 容	R4年度 内部評価	(参考) R3年度 内部評価
誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	1	分館の新設	A	A
		2	貸出・返却拠点等の新設	B	B
	利用時間の見直し	3	休館日, 開館時間の見直し	B	B
	図書館イベントの充実	4	図書館イベントの充実	B	A
	快適な空間づくり	5	快適な空間づくり	A	A
さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	6	資料収集の充実	A	A
		7	レファレンス(相談)サービスの充実	A	A
		8	課題解決型支援の充実	A	B
	地域読書活動への支援	9	団体貸出先の拡大	B	A
		10	地域読書活動への支援	A	A
市関連施設の図書室 の相互協力	11	市施設の図書室との相互協力	B	B	
子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	12	モデル児童図書目録の配布	A	A
		13	子どもの貸出カード作成推進	B	B
		14	ヤングアダルト層(12歳~18歳)への働きかけの強化	B	A
		15	読書活動ボランティア講座の強化	A	B
	学校図書館への支援	16	学校図書館支援センターの充実	A	A
総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の充実	17	図書館外施設での映像資料上映事業	A	A
		18	資料展示事業	B	B
	文書資料部門の充実	19	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	B	B
		20	文学館の利用拡大	B	B
効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	21	運営方法の検討	A	A
		22	図書館ボランティアとの共働の推進	B	A
		23	職員の育成及び技術向上	B	B
		24	施設の有効活用などによる財源確保	B	B
	情報発信の推進	25	情報発信の推進	A	A

A	12	14
B	13	11
C	0	0
D	0	0

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	分館の新設				
事業計画	早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	◇開館				
令和4年度					
計画	円滑な分館運営を行うため、指定管理者と協議を行いながら調整を図っていく。 また、指定管理による管理運営により、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。				
取組状況	早良南図書館については、受付や接遇において利用者の評価が高く、また、近隣の公民館等での出張おはなし会や世代に合わせたイベント等を積極的に実施したり、個人登録者数や個人貸出冊数が目標値を超えるなど、指定管理による円滑な運営管理を行っている。 南図書館が8月27日にリニューアル開館し、特に混乱することなく開館後の運営が行われた。				
令和5年度					
計画	円滑な分館運営を行うことで、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。 新たな市民センター等の建替改修等がある場合は、魅力のある分館づくりに努める。				
内部評価 (令和4年度)					
早良南図書館は開館してから1年以上経ち、運営が安定しているとともに、利用者アンケート調査では、窓口サービス(あいさつ、接遇など)や総合評価について満足度が100%と評価が高いことからA評価とする。 なお、南図書館のリニューアル開館においても、予定通り開館することができ、多くの市民の方に利用していただいている。					A
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討、協議				
			◇設置		
令和4年度					
計画	既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
取組状況	令和5年2月末日に返却拠点の一つであった地下鉄西新駅構内「ハートフルショップmomo」が閉店したことに伴い、同施設での図書返却サービスが終了したが、西新駅の構内に返却ポストを新たに設置してもらうことについて、地下鉄事業者と協議をすすめた。				
令和5年度					
計画	引き続き、既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
内部評価 (令和4年度)					
既設の貸出・返却拠点等の維持に努めた。 諸事情により西新駅構内の返却拠点が廃止となったが、地下鉄事業者と協議を実施し同じ西新駅構内で返却拠点を設置する見通しが立ち返却拠点数を維持することができる見込みとなった。 新たな拠点の設置については検討中であるが、具体的な設置は進んでいないことからB評価とする。					B
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	利用時間の見直し		
内容	休館日、開館時間の見直し				
事業計画	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【休館日】				
	検討	段階的に実施			
	【開館時間】				
検討	段階的に実施				
令和4年度					
計画	令和3年度実施できなかった市政アンケート及び利用者アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
取組状況	市政アンケートを実施し、過去1年間に図書館を1回利用した市民、ならびに全く利用しなかった市民に対して利用しない理由を尋ねたところ、主な理由として「時間がない」(33.0%)、「本は購入して読みたい」(25.1%)が挙げたが、「利用したい時に開いていない」は6.6%にとどまった。また、図書館が実施した利用者アンケート調査(令和5年5月)の結果では、「開館時間及び休館日」についての評価は、満足度89.9%であった。東図書館と早良南図書館は他の分館よりも休館日を少なく、開館時間を長くし、運営を行っている。				
令和5年度					
計画	引き続き、利用者アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
内部評価 (令和4年度)					
市政アンケートの結果、普段利用していない市民にとって、開館日や開館時間の見直しに対するニーズは高くないこと、また、図書館利用者アンケートの結果、満足度は高水準を維持していることが分かった。 ただ、市民ニーズに沿った開館時間の設定については、引き続き東図書館と早良南図書館の成果を検証し継続的な検討が必要なことからB評価とする。					B
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実		
内容	図書館イベントの充実				
事業計画	<p>子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、幅広い層に向けて多様なイベントを実施し、これまで図書館を利用していなかった層への訴求や、参加者の満足度の向上を目指し、引き続き、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。</p> <p>また、市の関連部署と連携したイベント、総合図書館の映像資料部門や文書資料部門、各分館との連携による企画を実施していきます。</p>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	幅広い層へのイベント実施				
令和4年度					
計画	<p>新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながらも、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に昨年実施できなかった事業をはじめとする読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。絵本月間を12月に創設し、読書フォーラムを中心とした読書普及イベント等を実施する。</p>				
取組状況	<p>新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながら「図書館マンス」の「図書館TRAVEL」をはじめ、「こどもの読書週間」でのイベント、おはなし会の開催、SDGsの関連本展示や起業・経営相談会など課題解決型支援を行った。また、中学生を対象としたSDGsに関するワークショップでは身近で具体的な社会課題を選び、図書館資料やタブレットを使って現状を調べ、解決策が提案された。高等学校ビブリオバトル福岡県大会では14校が参加して「読みたくなる本」の紹介が熱心に行われ会場が盛り上がった。コロナ影響下で関係各所の協力を得て、でき得る限りイベントの実施に努め、令和3年度よりもイベント開催が増加した。また、こども図書館での調べ学習に役立ててもらうため、図書館の利用の仕方を教える動画配信をYouTubeで行うなど、代替策の工夫に努めた。</p> <p>12月に絵本月間を創設し、各館において、さまざまな「おはなし会」、絵本づくり、工作、絵本展示などを行い、読書行事には合計1,295名の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書行事等イベント 総合図書館・分館 778回 14,268人 (令和3年度 238回 4,151人) ・展示 総合図書館 130回 (令和3年度 135回) 				
令和5年度					
計画	<p>新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながらも、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「絵本月間」、「こどもの読書週間」、「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。</p>				
内部評価 (令和4年度)					
<p>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、オンラインや動画配信も活用してできるだけイベントの実施に努め、読書活動の促進や情報発信に取り組むことができたが、当初の計画と比べて十分ではなかったことからB評価とする。</p>					B
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	快適な空間づくり				
事業計画	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館(6カ月程度)にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和4年度					
計画	<p>引き続き、計画的に設備更新工事を実施する。 新型コロナウイルス感染症対策による全市的な工事の時期等の見直し指示等を踏まえ、更新工事の工程や工事期間中の館内体制等、工事実施時における課題を検討する。</p>				
取組状況	<p>長期保全計画に基づき映像ホールシネラ舞台機構吊物設備改修工事、地域熱供給熱交換器の洗浄整備を行った。 令和6年度の全館空調設備更新工事の工程や工事期間中の館内体制等、工事実施時における課題を検討した。</p>				
令和5年度					
計画	<p>引き続き、計画的に設備更新工事を行う。 令和6年度に実施する、休館を伴う全館空調設備更新工事に向けた実施設計を行い、休館が必要な範囲・期間、工事期間中の運営体制等について検討を行う。</p>				
内部評価 (令和4年度)					
<p>長期保全計画に基づき計画的に設備更新工事を実施できた。 令和6年度の全館空調設備更新工事の工程や工事期間中の館内体制等、工事実施時に向けた課題を検討し、令和5年度の設計に反映するための基本情報とすることができたためA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	資料収集の充実				
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。 また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	資料収集方針に沿った資料収集				
令和4年度					
計画	市民ニーズに対応しながら、総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行っていく。また、電子図書館のコンテンツ充実に努める。				
取組状況	公共図書館としての役割を発揮するため、総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行うとともに、市民ニーズに応えるよう、予約待ち人数の多い図書の複本購入等を実施した。 電子図書館については、本館・分館読書相談員全員で選書を行い、利用者ニーズの高いコンテンツの収集に努めた。(コンテンツ数:令和3年度末9,643点 ⇒ 令和4年度末10,852点)				
令和5年度					
計画	市民ニーズを測りながら、総合図書館及び分館の収集方針に沿って幅広く資料収集を行う。また、電子図書館の選書も本館・分館で分担して行い、バラエティに富んだコンテンツの充実に努める。				

内部評価 (令和4年度)

限られた予算の中で総合図書館及び分館の資料収集に努め、予約待ち人数が多く市民ニーズが高い図書の複本購入等も実施した。また、電子書籍については市民ニーズに応えるべく選書を進め、コンテンツを順調に増やしたことからA評価とする。	A
---	---

外部評価 (令和4年度)

	A : B : C : D :
--	--------------------------

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
事業計画	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	レファレンスサービスの実施				
	令和4年度				
計画	レファレンスについて、窓口での対面など従来の方法に加え、HPや電子メールなどデジタル化を進める。				
取組状況	<p>窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施し、令和4年度の主題別部門及び文書資料部門のレファレンス件数は合計で25,491件となった。</p> <p>利用者が来館しなくてもサービスが利用できるよう国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用して、当館のHP上でレファレンス事例を参照できるようにしている。HPの「テーマ資料」のタブには利用者の関心が高いSDGsや中高生向けなどのテーマについて、お勧めの図書を紹介した。なお、「テーマ資料」検索からは本の予約まで可能である。</p>				
令和5年度					
計画	HPにおけるレファレンス事例の周知を図るとともに、窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスの利用促進をより一層図っていく。				

内部評価 (令和4年度)

ホームページでレファレンス事例を検索でき、またレファレンス自体も電子メールでやりとりを行うなど、レファレンスにおけるデジタル化の活用を図っていることからA評価とする。	A
---	---

外部評価 (令和4年度)

	A : B : C : D :
--	--------------------------

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	課題解決型支援の充実				
事業計画	ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供				
令和4年度					
計画	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を行いながら、関係部局や関係機関等と協力して、医療、ビジネス、行政などの課題解決支援として、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。				
取組状況	<p>ビジネス支援として、中小企業診断士による起業・経営相談会を開催し、相談件数が増加した。</p> <p>医療支援として、総合図書館、分館で九州がんセンターや済生会福岡総合病院から医師等を講師として招き講演会を実施した。</p> <p>電子図書館で、健康医療に関するコンテンツを提供するとともに、HPの「テーマ資料」検索を活用し、がん情報に関する本を紹介した。</p> <p>行政支援として、「SDGs」や「選挙と政治」、「世界水泳」などをテーマとして、市の関係部局と連携して展示を行い、関係の本の紹介やパンフレットの配布し、情報提供を行った。また、福岡法務局と連携して相続と遺言に関する展示を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業・経営相談会 総合図書館・分館 77回（令和3年度 23回）、相談36件（令和3年度 5件） ・医療に関する講演会 総合図書館・分館 2回 参加 52人（令和3年度 1回 参加 3人） 				
	令和5年度				
計画	医療、ビジネス、行政、国などの課題解決支援として、市の関係部局・機関および外部の機関等と連携して展示を行うなど、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。				
内部評価（令和4年度）					
<p>新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かいはじめたことに伴いがん講演会を実施することができ、起業・経営相談会の開催回数を増やすことができた。一方、行政支援として、SDGs等の関連書籍の展示やHPでの紹介とともに、電子図書館やHPのテーマ資料検索などデジタル化により健康医療関係の本を紹介した。福岡法務局と連携して展示を行うなど、積極的に取り組みを進めたことからA評価とする。</p>					A
外部評価（令和4年度）					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	団体貸出先の拡大				
事業計画	地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和4年度					
計画	登録団体数は、令和5年度目標の420団体を達成したが、公民館の登録は公民館全体の約半数であり、地域での貸出機会の拡大を目指し、さらに登録数の増加に向けた取り組みを進める。				
取組状況	読書活動ボランティア講座等の催事機会に団体貸出制度の案内を行うなどの取り組みを行い、団体貸出の登録団体は令和4年度末時点で454団体となり、令和3年度に比較して13団体増加した。このうち、公民館の登録は75館で4館増加し登録率52%、放課後児童クラブの登録は130か所で1か所増加し登録率94%となった。 また、登録団体に対し、新着本の紹介等を行い、貸出図書のさらなる利用の促進に努めたが、配本冊数は、令和4年度179,505冊(令和3年度183,980冊)で前年度より約2.4%減少した。				
令和5年度					
計画	令和5年度は460団体の登録を目標に、地域での貸出機会の拡大を目指し、公民館の登録数の増加に向けた取り組みを一層進める。				

内部評価 (令和4年度)	
令和5年度目標の420団体登録を達成できたが、配本冊数は減少したことからB評価とする。	B

外部評価 (令和4年度)	
	A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	地域読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和4年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、公民館の運営を支援する部署などの関係各課と連携して、文庫活動の活性化を図るとともに、文庫間の交流については、コロナ影響下においても工夫に努め促進する。				
取組状況	<p>地域における読書ボランティアの主要な活動拠点となっている公民館や学校を訪問し、活動状況を確認し定期情報紙「子どもと本の日通信」や「学校図書館支援センターだより」、ホームページ等で発信するとともに、公民館の運営を支援する部署と連携し、団体貸出における公民館の登録数を令和3年度と比較し4団体増やし75団体とした。</p> <p>さらに、公民館では親子を対象にスタンダード文庫を活用した読み聞かせ講座を開催した。(24館、347人) また、地域文庫の活動拠点を掲載し配付していた地域文庫マップについて、各文庫の現在の活動状況等も紹介したものに改め、各文庫の相互交流に役立つものとした。</p>				
令和5年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、スタンダード文庫の地域住民への周知や公民館の運営を支援する部署と連携した公民館の団体貸出登録の促進に努める。				
内部評価 (令和4年度)					
地域読書活動に関する情報発信やスタンダード読み聞かせ講座の実施、文庫間交流の支援を進めるとともに、団体貸出を行う公民館の拡大が図れたことからA評価とする。					A
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	市関連施設の図書室の相互協力				
事業計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	相互協力の実施				
令和4年度					
計画	議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を継続し、議員や職員、市民への周知を図る。				
取組状況	市議会議員及び行政職員の調べもの支援のため、議会図書室を通じて図書資料の貸出を実施した。また、福岡市科学館のサイエンスナビ(図書室)において、図書資料の貸出・返却を実施するとともに、ふくふくプラザでは図書資料の返却を実施した(福祉図書・情報室窓口での返却受付、施設入口に返却ポスト設置)。各施設においては、相互に利用周知を図った。				
令和5年度					
計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を継続するとともに、議員や職員、市民への周知を図る。				

内部評価 (令和4年度)	
議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を行い、市関連施設との連携を継続実施できたが、利用周知はまだ十分とは言えないことからB評価とする。	B

外部評価 (令和4年度)	
	A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	モデル児童図書リストの配布				
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作成・配布				
令和4年度					
計画	令和4年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館で展示を行い、貸出を促進する。				
取組状況	<p>モデル児童図書リストに掲載した図書の企画展示を行うとともに、モデル児童図書リスト(前年の受入図書の中から選定した本)を配付(約3,800部)し、カウンターでのレファレンスのツールとしても有効に活用した。</p> <p>また、令和3年度作成の「司書が選ぶ100冊の絵本」及び従来のモデル児童図書目録(S62年～H27年作成)に掲載された図書をできるだけ常設で展示し、貸出を行った。</p> <p>[参考]令和4年度モデル児童図書リスト掲載図書の、年間1冊当たりの貸出回数 ・幼児用133回 ・小学1・2年用100回 ・小学3・4年用62回 ・小学5・6年用28回</p>				
令和5年度					
計画	令和5年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館での常設展示や12月の絵本月間期間中の集中広報などを行い貸出を促進する。				

内部評価 (令和4年度)	
モデル児童図書リストの配付、モデル児童図書の展示、紹介等を計画通り行い、掲載図書の貸出を促進することができたことからA評価とする。	A

外部評価 (令和4年度)	
	A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む 図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	子どもの貸出カード作成推進				
事業計画	図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討, 協議	実施			
令和4年度					
計画	図書館催事や講座、団体貸出、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。毎年実施している小学生読書リーダー養成講座は、令和4年度においても動画等の資料により、「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した実施を各小学校に依頼することとし、その際に併せて貸出カードの作成案内を行う。				
取組状況	徐々に再開された小学生の図書館見学や、各小学校に実施を依頼している動画等の資料による「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した、小学生読書リーダー養成講座(45校1,192名が参加)等において、貸出カードの作成案内を行った。また、学校図書館支援センターによる学校図書館訪問時に、図書館の利用案内とともに貸出カードの作成案内を行った。				
令和5年度					
計画	図書館催事や講座、団体貸出、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。特に、小学生読書リーダー養成講座は「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した各小学校での実施により受講者数の増加が期待でき、その際に併せて貸出カードの作成案内を行う。				
内部評価 (令和4年度)					
新型コロナウイルス感染症対策により、積極的な推進はできなかったが、小学生読書リーダー養成講座の小学校での実施などの機会を捉えて、貸出カードの作成案内に努めたことからB評価とする。					B
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化			
事業計画	広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和4年度				
計画	電子図書館を活用しヤングアダルト向けに図書の紹介を行うとともに、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施し、図書館の利用促進につなげる。			
取組状況	<p>ヤングアダルト向けの図書の収集やお勧め本リストの配布など従来の方法に加え、電子図書館を活用し、ヤングアダルト向けの特集を組みコンテンツを提供した。また、HPの「テーマ資料」検索において関連書籍を紹介した。</p> <p>また、高等学校ビブリオバトル福岡県大会には14校が参加して、高校生が知的書評合戦を熱く繰り広げ盛況となった。</p> <p>さらに、大学の学生団体との共催で、中学生を対象としたSDGsに関するワークショップを開催し、図書資料を活用して中学生が課題に取り組んだ。</p>			
令和5年度				
計画	ヤングアダルト向けに電子図書館等を活用して図書の紹介を行うとともに、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施し、図書館の利用促進につなげる。			

内部評価 (令和4年度)

電子図書館によるヤングアダルト向けのコンテンツの提供や高等学校ビブリオバトル福岡県大会の開催、中学生向けのワークショップの開催など様々な方法で読書活動の促進や情報提供に取り組んでいるが、中高生の図書カードの登録者増につながっていないことからB評価とする。

B

外部評価 (令和4年度)

A :
B :
C :
D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	読書活動ボランティア講座の強化				
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	読み聞かせ講座の実施				
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施				
令和4年度					
計画	令和4年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施する。講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。				
取組状況	令和4年5月～6月に絵本の読み聞かせコース(4日間、定員40名)、9月～11月にストーリーテリングコース(4日間、定員40名)を実施し、延べ273名の参加があった。講座受講者には、福岡市内で活動している文庫団体の活動拠点及び活動状況を掲載した地域文庫MAPを配布し情報提供を行った。なお、地域文庫マップについて、従来の活動拠点のみの掲載に加え各文庫の現在の活動状況等を紹介し、ボランティア希望者と文庫のつなぎ、各文庫の相互交流に役立つものとした。				
令和5年度					
計画	令和5年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコース、2月にスキルアップコース(新設)を実施する。講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。				

内部評価 (令和4年度)	
令和4年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施し、講座受講修了者には、内容を充実した地域文庫MAPを配布したことからA評価とする。	A

外部評価 (令和4年度)	
	A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	学校図書館への支援		
内容	学校図書館支援センターの充実				
事業計画	<p>前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援 				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
令和4年度					
計画	<p>学校現場の意向、要望に沿った支援をすすめると共に、学校図書館支援センター事業の認知、周知に努める。また、新設校の計画段階からの助言や、読書に困難がある児童・生徒のため、マルチメディアDAISY等の貸出資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。</p>				
取組状況	<p>令和4年度は85回の訪問を実施した。小学生用の学習支援用図書貸出については、62校から162回の利用があり6,434冊の貸出を行った。中学生用の学習支援用図書貸出については、2校から2回の利用があり、55冊の貸出を行った。</p> <p>市内小学校5・6年生を対象に「小学生読書リーダー」に認定する「小学生読書リーダー養成講座」について、学校と連携し「福岡TSUNAGARU Cloud」により動画等の資料を配信し、45校で実施があり、受講者1,192名全員を認定した。</p> <p>特別支援学校については、おはなし会やブックトークの実演、選書や配架の工夫、新設校の初期購入図書の選書など、具体的な支援を行った。また、特別支援学校高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を作成し配付した。</p> <p>マルチメディアDAISYは、点字絵本やLLブック等も含め「たっちるつくセット」として小学校1校に貸出を行った。</p>				
令和5年度					
計画	<p>学校現場の意向、要望に沿った支援及び定期的な支援をすすめると共に、学校司書未配置校の支援、新任司書への研修支援、新設校の計画段階からの助言、読書に困難がある児童・生徒のための資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。</p>				

内部評価 (令和4年度)	
<p>中学校向け支援の利用は少ないが、小学校向け支援については貸出利用や、相談、要請訪問、計画訪問など年度を通して実施した。特別支援学校向け支援については各校の状況に応じた支援に努めた。一般的に事業の認知と活用が進むとともに新設校などの学校図書館整備への助言や初期購入図書の選書も行ったことからA評価とする。</p>	A

外部評価 (令和4年度)	
	<p>A : B : C : D :</p>

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	図書館外施設での映像資料上映事業				
事業計画	収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	手法検討	上映事業の実施			
令和4年度					
計画	11館の公民館において上映会を予定(4月1日現在)しているが、他の公民館についても利用を打診するなど、上映会の開催数を増やしていく。 過去のアジアフォーカス・福岡国際映画祭観客賞受賞作品を中心に、2作品程度選定して、著作権処理、ブルーレイディスク制作を行い、上映可能作品を増やしていく。				
取組状況	年度当初までに申し込みがあった11館の公民館と上映会の日時や上映作品について協議・調整を行うとともに、事業の周知・PRに努めた結果、追加での上映希望があり、令和4年度は、17館で、のべ18回の上映会を開催し、のべ424人の市民の参加があった。 また、アジア映画のブルーレイディスクを3作品制作し、上映会に活用できる作品を10作品とするなど、事業の充実に務めた。				
令和5年度					
計画	これまで希望がなかった博多区、城南区も含め全ての区の公民館29館で上映会を開催する。 上映会に活用する作品を2作品程度選定し、ブルーレイディスク制作を行い、上映可能作品を増やしていく。				
内部評価 (令和4年度)					
事業の周知・PRに務めた結果、当初予定の11館から、17館の公民館で、のべ18回上映会を開催することができ、より多くの市民にアジア映画に触れる機会を提供することができた。 著作権者との交渉を進めるとともに、映像事業に関する寄付を確保するなどした結果、3作品ブルーレイディスクを制作し、上映可能作品のラインナップを増やすことができた。 観覧者のアンケートでも、総合図書館は行ったことがないと回答された方が多く、身近な公民館で見れてよかったという意見、アジアの映画は見たことがなかったが、共感したといった意見もあり、総合図書館での上映に比べ、幅広い層の方に楽しんでいただけたことが伺える。 以上のことからA評価とする。					A
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	資料展示事業				
事業計画	展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	多様な資料の展示				
	展示エリアの検討		展示エリアの整備		
令和4年度					
計画	映像資料展示については、定例の上映映画ポスター展示に加え、映像ホール・シネラ内も使ったポスター展示、ビデオライブラリー内でのスチール写真展示、9.5mmパテベビー誕生100年を記念した映写機器の展示を行う。 展示空間の新設については、引き続き検討を進める。				
取組状況	映像資料展示については、エントランスにおいて、毎月の上映企画に沿ったポスター展示を実施するとともに、映像ホール内において、「アジア映画を観る一追悼 佐藤忠男」(11月)関連のポスター展示を行った。 また、9.5mmパテベビー誕生100年を記念して、シネラ内において、映写機、カメラ、フィルムの展示を6月～12月に実施した。 新たな展示エリアの検討に関しては、設備改修との調整など必要となる館内協議を進めた。				
令和5年度					
計画	上映企画に合わせたショーケース展示として、「安住の地を求めて」(4月)、「映画の中の食卓」(5月)のポスター展示を実施する。また、シネラエントランスでの上映企画に合わせたポスター展示を毎月実施していく。 新たな展示エリアの検討に関して、設備改修との調整を進めていく。				
内部評価 (令和4年度)					
「アジア映画を観る一追悼 佐藤忠男」(11月)では、企画上映に加え、ポスター展示、小冊子の作成など特に力を入れた内容となり、観覧(来場)者からの評価も高いものとなった。パテベビーの展示についても、12月25日に上映会へ発展させることができた。 展示空間の新設については、館内での調整にとどまった。 以上のことから、B評価とする。					B
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実		
内容	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実				
事業計画	文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	デジタルデータ化・活用の推進				
	デジタルデータの作成・蓄積, ホームページ掲載・展示・市民提供等				
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)				
検討	システムの拡張・情報提供				
令和4年度					
計画	広報紙「古文書だより」第2号の刊行とホームページへの掲載。 ホームページ「コレクション紹介」に古文書資料収蔵品を追加掲載。 古文書資料収蔵品データベースに、新たに整理・保存が終了した資料の目録データを掲載する。また、過去に発行した紙製本の目録に掲載したデータのうち、データベース未搭載のものを順次公開する。 昭和56年の開業から40年が経過し、また来年3月には七隈線天神南ー博多間の延伸事業が完成する機会を捉え、「福岡市地下鉄の歩み」をテーマに歴史的公文書等の展示を実施する。				
取組状況	古文書資料に関する情報発信を目的とした「古文書だより」第2号を配布したほか、ホームページにも掲載した。 ホームページの「コレクション紹介」に3点の古文書資料を掲載した。 新たに収蔵した明治4年の山笠写真に関するパネル展示を行い、ホームページのデジタルアーカイブに追加した。 「古文書資料収蔵品データベース」に新たに3846点のデータをアップした。 開業から40年、七隈線天神南ー博多間の延伸事業の完成に合わせて「福岡市地下鉄のあゆみ」展を開催、展示概要のしおりを配布したほか、ホームページにも掲載した。				
令和5年度					
計画	広報紙「古文書だより」第3号の刊行を行うとともに、ホームページ「コレクション紹介」及び古文書資料収蔵品データベースの更なる充実を図る。 世界水泳選手権2023福岡大会に合わせて、福岡のプールに関する歴史的公文書等の展示を実施する。				

内部評価 (令和4年度)	
古文書資料については、古文書資料収蔵品データベースへの目録データの追加掲載、古文書だより第2号の発刊、コレクション紹介への追加掲載など、昨年度に引き続き、更に内容の充実を図ることができた。また、古文書の山笠写真のパネル展示、公文書の福岡市地下鉄のあゆみ展については、記者投げ込みを行った結果、マスコミの取材があり、当館の文書資料について多くの市民等にアピールすることができた。 一方、資料のデジタルデータ化とその提供については、資料の保存と活用という両面から、今後とも調査・研究、検討を進めていく必要がある。 以上のことから、B評価とする。	B

外部評価 (令和4年度)	
	A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実	
内容	文学館の利用拡大			
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	総合図書館HP等での情報提供の充実			
	企画展、常設展、文学講座等の情報提供の充実			
	企画展の開催、広報強化			
	企画展開催・報道機関等による広報強化			
	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築			
	構築	情報提供		
令和4年度				
計画	文学館事業として以下の事業を実施する。 企画展図録「ミステリー女王 夏樹静子と福岡」のコンテンツをもとに写真展・パネル展の実施を検討 新テーマによる企画展示を福岡市文学振興事業実行委員会に諮り、実現を目指す。 常設展示「映画化された小説」を会期中展示替えを実施して開設 ももちはま草紙、読書講座等の文学講座を感染予防を徹底して実施し、文学館の認知度アップを図る。			
取組状況	夏樹静子分を含め過年度企画展図録の普及を継続した。 令和4年度企画展として「まなざしと記憶—宇野浩二の文学風景」を総合図書館1階ギャラリーにて開催するとともに、関連イベントとして宇野撮影の写真展「西海旅日記」、宇野研究者による関連講座2回、学芸員によるギャラリートークを実施した。 感染予防を徹底し、定例文学講座90回「山笠を昇く/書く—元博多っ子記者、大いに語る」を3年ぶりの祭りの開催に合わせて街歩きとともに実施した。 常設展示として、「映画化された小説」を会期中展示替えをして開設し、関連講座として、「三島由紀夫と映画」を「第5回三島由紀夫とアダプテーション研究会」との共催でオンライン開催した。			
令和5年度				
計画	福岡市文学館企画展については、これからの企画内容や実施方法などを含め、福岡市文学振興事業実行委員会に意見を諮りながら進めていく。 常設展示として、(上半期)「風よ—作品・書簡からみた伊藤野枝(仮)」、(下半期)「成層圏の時代—竹下しづの女と龍骨(仮)」および関連講座を実施する。 また、コロナ禍で停滞していた大学等外部機関、組織との連携事業を充実させ、文学館の認知度アップを図る。			
内部評価 (令和4年度)				
<p>コロナによる行動制限等の影響が残っている中でも、感染対策を講じながら企画展を実施し、関連講座なども含め、のべ3,816名の参加、観覧があった。</p> <p>常設展「映画化された小説」においては、延べ8,934名が観覧した。</p> <p>また、常設展示関連講座として、三島由紀夫とアダプテーション研究会との共催による「三島由紀夫と映画」をオンラインにより開催するなど、コロナ禍に対応した方法も実践した。</p> <p>さらに、例年実施されているミュージアムウィーク2022にも参加し、来場者増に努めた。</p> <p>過年度企画展のコンテンツ活用については不十分であったが、コロナ制限下でも様々な工夫をして事業を実施したことから、B評価とする。</p>				B
外部評価 (令和4年度)				
				A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	運営方法の検討				
事業計画	現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合(建物管理のみ)、東(運営)				
	早良南(仮称)				
令和4年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努める。				
取組状況	<p>総合図書館、東図書館、早良南図書館ともに、定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努めた。</p> <p>また、指定管理者の提案による様々な事業やイベントでもアンケート等による満足度を調査し、指定管理者による企画や取り組みが利用者にとどのように評価されているか、また利用に関する数値はどのように推移しているかなど、客観的な視点での検証も行った。</p>				
令和5年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを引き続き実施し、必要に応じて協議するなど、満足度の高い、適切な運営に反映するよう努める。				
内部評価 (令和4年度)					
<p>各指定管理者の事業報告やモニタリング等を基に検証したところ、総合図書館、東図書館、早良南図書館の各々の指定管理者が、一定の管理運営経験と実績を有していることもあり、安定的な管理運営で、利用者満足度も高く、適正な運営ができた。</p> <p>計画どおり進められたことからA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進				
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動内容の追加・実施				
令和4年度					
計画	新型コロナウイルス感染症の影響で、新規ボランティアの受け入れは困難。既に登録しているボランティアを継続して受入れ、図書館ボランティアとの共働を進める。(令和4年4月1日時点登録者数63名)				
取組状況	新規ボランティアの募集は行わなかったが、活動実績は2,208時間と前年度(1,564時間)から大きく伸びた。活動内容は「図書資料の修復」が1,722時間(78%)で最多、次いで「郷土・特別資料室に関する作業」が214時間(9%)となっている。				
令和5年度					
計画	ボランティア活動機会の増加を図るため、活動範囲の拡大について検討する。				
内部評価 (令和4年度)					
コロナ禍で新規ボランティア募集を抑制している中で、登録者数に対して活動時間は過不足ない状態であるが、コロナ前と比較すると活動時間は減少していることからB評価とする。(令和元年度2,542時間)					B
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	研修等の強化(分館での研修の充実)				
令和4年度					
計画	全体研修については、福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、令和4年度以降も会場集合形式で開催されるものに加えて、インターネットを介したオンラインによるもの、または併用によるものなど様々な開催形式が考えられるため、有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
取組状況	全体研修については、公務員倫理、人権、情報セキュリティ研修等の実施や、避難訓練等の防災研修などを実施した。 専門研修については、文化庁の著作権に関する研修や県立図書館のレファレンス、資料整理保存などのテーマ別研修に随時派遣するとともに、オンラインによる講習等の受講を奨励し専門知識の習得に努めた。				
令和5年度					
計画	全体研修については、福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、令和5年度も会場集合形式で開催されるもの、オンラインによるもの、併用によるものなど多様な開催形式が想定されるため、有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
内部評価 (令和4年度)					
予定した研修や最近、問題化している情報セキュリティについての研修を実施することができた。 また、参加可能な範囲で専門研修への派遣を行ったことからB評価とする。					B
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
事業計画	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	駐車場収入による財源確保				
	新たな他財源	その他財源の確保			
令和4年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について検討する。				
取組状況	駐車場の運営について、駐車場用地の土地貸付収入等により、約370万円の歳入があった。 また、他都市等へも積極的なPRを行ったため、映画フィルム貸与料で約80万円の歳入があった。 このほか、ふくおか応援寄附が約400万円寄せられた。				
令和5年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について検討する。				
内部評価 (令和4年度)					
駐車場運営では前年度と差はほとんど出なかったものの、前年と比較して、映画フィルム貸与料で約70万円増、寄付金は約250万円増となった。 前年に比べて歳入額は増加したが、新たな財源の確保、その手法等については、引き続き検討が必要なため、B評価とする。					B
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	情報発信の推進		
内容	情報発信の推進				
事業計画	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討	実施			
令和4年度					
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。				
取組状況	<p>図書館の開館情報やイベント情報等をホームページやSNSを通して発信した。また、パブリシティによる情報発信にも努めた(報道機関への資料提供数6件に対し報道又は掲載件数45件)。</p> <p>ツイッターは前年度よりも投稿回数を伸ばし526回でインプレッション数は612,394、また、フェイスブック241回でインプレッション数は18,423となっている。</p> <p>媒体ごとの登録者数は、フェイスブック426人、ツイッター2,319人、メルマガ589人と増加した。(昨年度フェイスブック298人、ツイッター1,298人、メルマガ512人)</p> <p>他施設と連携した広報を行う足がかりとして、市の文化施設の広報と面談し情報交換などを行った。</p>				
令和5年度					
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。また、市の文化施設を中心に、展示やイベントの連携を積極的に行い、情報の共有や拡散を行う。				
内部評価 (令和4年度)					
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、制限が無い形でイベントなどが十分に実施できなかったことから、報道機関などへの資料提供は微増(5件→6件)にとどまったが、SNSによるメルマガ配信のお知らせや開館情報の発信、メディア取材時の相手方SNSを通じた広報依頼など、新たな形での情報発信を行った。SNSでの登録者も増えてきていることからA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和4年度)					
					A : B : C : D :

令和4年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念	
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館	
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。	

成 果 指 標					
成 果 指 標	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【令和5年度:90%】 ＜総合図書館開館日＞	88.9% (+1.7)	—	85.4% (-)	89.7% (+4.3)	89.9% (+0.2)
	290日	271日	246日	221日	288日
※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした					
※()は前年度からの増減					
※令和元年度は利用者アンケート調査を実施せず。					

目 標 数 値					
目 標 数 値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①入館者数 【令和5年度:3,500千人】	—	2,627,641人	1,640,847人 [-986,794] [-37.6%]	1,543,636人 [-97,211] [-5.9%]	2,215,702人 [672,066] [43.5%]
②個人貸出冊数 【令和5年度:4,800千冊】	4,108,973冊 [-58,073] [-1.4%]	3,958,372冊 [-150,601] [-3.7%]	3,251,539冊 [-706,833] [-17.9%]	3,108,085冊 [-143,454] [-4.4%]	3,923,418冊 [815,333] [26.2%]
③貸出利用者数 【令和5年度:1,400千人】	1,214,402人 [+3,106] [+0.3%]	1,178,884人 [-35,518] [-2.9%]	949,860人 [-229,024] [-19.4%]	897,574人 [-52,286] [-5.5%]	1,156,751人 [259,177] [28.9%]
④新規登録者数 【令和5年度:30千人】	24,712人 [-1,495] [-5.7%]	22,528人 [-2,184] [-8.8%]	16,558人 [-5,970] [-26.5%]	18,648人 [2,090] [12.6%]	21,363人 [2,715] [14.6%]
※入館者数については、平成30年度は装置の不具合が判明したため非表示。					
※[]は前年度からの増減。					
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館					
令和元年度 総合図書館のみ 令和2年2月27日から同年3月20日まで					
令和2年度 総合図書館及び分館 令和2年4月4日から同年5月25日まで					
令和3年度 総合図書館及び分館 令和3年5月12日から同年6月20日まで					
※南市民センターの大規模改修工事に伴う、南図書館の長期休館					
令和3年1月5日から令和4年8月26日まで					

内 部 評 価	事業別評価	
<p>〈評価〉</p> <p>成果指標である「図書館サービスの満足度」は89.9%となっており、前年度と比べ微増ではあるが、非常に高い水準を保っており、目標の90%まで僅かな状況である。また、国の方針に基づき、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ったことから、4つの目標数値すべて大幅にプラスに転じている。</p> <p>事業別評価については、コロナ禍により縮小されていた事業について昨年度と比較して推進できた事業もあるが、コロナ前と同様の取組みができなかった事業も多く、昨年度と比べてマイナス評価となっている。</p> <p>〈対応〉</p> <p>コロナ禍により公共施設が受ける影響も徐々に解消しつつあり、福岡市総合図書館新ビジョンの推進及び目標達成に向けて、計画的に事業を実施するとともに、図書館サービスの向上を図るための取組みを推進していく。</p>	A評価	12事業
	B評価	13事業
	C評価	—
	D評価	—

外 部 評 価

事 業 別 評 価									
委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価		A評価		A評価		A評価		A評価	
B評価		B評価		B評価		B評価		B評価	
C評価		C評価		C評価		C評価		C評価	
D評価		D評価		D評価		D評価		D評価	

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判 定	評 価 内 容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

福岡市総合図書館新ビジョン

福岡市教育委員会

— 目 次 —

はじめに	1
I 新ビジョン策定の経緯	2
II 新ビジョンの位置付け	3
III 計画期間	3
IV 福岡市図書館の課題	4
V 目指す図書館像	6
1 基本理念	6
2 新たな図書館像	7
(1) 誰もが楽しめる魅力ある図書館	7
(2) さまざまな情報を求める市民に応える図書館	8
(3) 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	9
(4) 総合図書館の特色を生かした図書館	10
3 効率的で効果的な図書館運営	12
(1) 施設の有効活用と管理運営体制	12
(2) 職員の研修体制の確立	12
(3) 積極的な情報発信	12
VI 新ビジョンの推進に向けて	13
用語集	14

はじめに

福岡市総合図書館は、「福岡市新図書館基本計画」(平成3年2月策定)に基づき、「市民に開かれた図書館として、市民ニーズに的確に応える生涯学習社会の中核的役割を果たしていく」という基本方針に従って、図書、映像及び文書資料の3部門で構成する新しい型の図書館として平成8年6月に開館し、21世紀における魅力ある学習・情報・文化の拠点施設を目指し、様々な施策を推進してきました。

これまで、平成12年に博多南図書館、平成15年に和白図書館、平成22年に西部図書館を開設するとともに、インターネットや検索機による予約受付を開始するなどインフラ整備に努めてきました。また、「福岡市文学館」の開設や国際フィルム・アーカイヴ連盟^①への加盟、大学図書館との相互貸借や福岡都市圏の公共図書館の広域利用など図書館サービスの充実を図ってきました。

しかしながら、基本計画の策定から約20年が経過する中、社会状況は大きく変わり、図書館を巡る環境も情報化の急速な進展、図書館サービスに対する市民ニーズの高度化、多様化など大きく変化しています。

こうした社会状況の変化に対応するため、これまでの取り組みの方向を改めて整理するとともに、今求められる図書館の役割を踏まえ、図書館を取り巻く新たな環境変化に対応するため、「福岡市総合図書館新ビジョン」を策定しました。

この新ビジョンに基づき、市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館づくりを進めてまいります。

おわりに、新ビジョンの策定にあたり、貴重なご意見をいただいた「これからの図書館のあり方について」懇話会の委員をはじめ、総合図書館運営審議会の委員やアンケートにご協力いただいた市民の皆様に深く感謝いたします。

平成26年6月

福岡市教育委員会

教育長 酒井 龍彦

I 新ビジョン策定の経緯

福岡市総合図書館は、平成8年6月、早良区百道浜に図書資料部門、映像資料部門及び文書資料部門の3部門で構成され、映像ホールなどを併設する新しい型の図書館として開館しました。同時に、図書館サービス網の構築を図るために、各区市民センター図書室を「分館」と位置づけ、分館とネットワークを結ぶ「総合図書館オンラインシステム」を稼働しました。

その後、「福岡市文学館」の開設や国際フィルム・アーカイヴ連盟への加盟を行うとともに、インターネットや検索機による予約受付を開始するなど、図書館サービスの充実を図ってきました。分館の整備についても、福岡市基本計画の実施計画に基づき、地域交流センターの建設に合わせ、「博多南」、「和白」、「西部」の3館を整備してきました。

しかしながら、「福岡市新図書館基本計画」の策定から約20年が経過する中、今日の社会状況は、少子・高齢化や高度情報化、国際化の進展など、大きく変化するとともに、市民の学習活動や文化活動もますます活発になっており、その内容も高度化・多様化しています。

この間、国においては、これからの図書館の在り方検討協力者会議から「これからの図書館像」（平成18年3月）が報告されました。また、図書館法では教育基本法における家庭教育の重視などを受け、一部改正（平成20年6月）が行われました。さらに、社会状況の変化などに対応して「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が改正（平成24年12月）されるなど、これからの図書館運営に必要な新たな視点や方策などが示されました。

一方、福岡市では、平成24年12月に「福岡市基本計画」（第9次）を策定し、「福岡市基本構想」に掲げる都市像の実現に向けたまちづくりの目標や施策を総合的・体系的に示しました。さらに、平成25年6月に「行財政改革プラン」を策定しましたが、今後、社会保障関係費や公共施設などの改修・修繕経費が増加することが見込まれる中、必要な財源確保と行政運営の仕組みや発想、手法の抜本的な見直しが求められています。

これら社会状況の変化に対応し、福岡市の図書館がこれまで以上に市民や地域に役立つ図書館になるため、「これからの福岡市図書館のあり方」について、総合図書館運営審議会に諮問し、平成25年11月に答申をいただきました。

この答申を参考に、これからの福岡市総合図書館が目指すべき図書館像を定める「福岡市総合図書館新ビジョン」を策定するものです。

II 新ビジョンの位置付け

「福岡市総合図書館新ビジョン」は、平成3年に策定した「福岡市新図書館基本計画」の後継となる計画です。

この新ビジョンは、「福岡市基本計画」(第9次)、「新しい福岡の教育計画」を上位計画とし、「福岡市子ども読書活動推進計画」と連携して、近年の図書館を取り巻く社会状況の変化に対応し、これからの図書館サービスを推進していくための基本計画です。

III 計画期間

新ビジョンは、平成26年度を始期とし、10年間を計画期間とします。

新ビジョンをもとに重点的に取り組む具体的な施策・事業については、5年ごとに示していきます。

IV 福岡市図書館の課題

福岡市の図書館行政は、平成3年2月に策定した「福岡市新図書館基本計画」に基づいて様々な施策を推進してきたところですが、新ビジョンの策定にあたり、「これからの図書館のあり方について」懇話会の意見や総合図書館運営審議会の答申を踏まえ、福岡市総合図書館の課題を次のとおり整理しました。

1 これまで図書館を利用していない層への利用促進

これまでの図書館利用者の傾向をみると固定化してきており、幅広く利用を促す必要があります。このため、これまで図書館を利用したことがない市民や図書館に興味を持てなかった市民にとって魅力的な図書館となるよう、総合図書館が持つ施設空間を有効活用し、くつろぎと交流の場づくりや新たな利用のきっかけとなる新たなサービスが求められています。

2 身近で便利な図書館サービス

福岡市の図書館は、総合図書館と分館の11館で図書館サービスを行っていますが、利用者からは、身近なところで図書の貸出・返却ができるサービス拠点の設置や開館時間の延長、休館日の変更・削減などサービスの向上を求める要望が多くなっています。

また、働く世代や子ども、高齢者、障がい者などへの配慮も行う必要があります。

3 課題解決型のサービス機能の充実

図書館では、市民の暮らしや仕事上の課題を解決するために必要な資料や情報を提供するなど、課題解決型のサービス機能の充実が求められています。そのためには、レファレンスサービス^②の充実や福岡市の施設の図書室とネットワークを構築して、幅広い分野の資料を提供する必要があります。

また、情報化の進展に対応できる新たな図書館サービスが求められています。

4 子ども読書活動の推進

子どもが本に親しみ読書習慣が身に付くよう、「福岡市子ども読書活動推進計画」(第2次)^③の着実な推進が求められています。

また、子どもたちにとって一番身近な場である学校図書館に対する総合図書館からの支援が確立されておらず、早急に支援する体制が必要です。

5 映像資料・文書資料の有効活用

総合図書館内に設置されている映像ホールや天神にある赤煉瓦文化館内のサテライト文学館については、存在を知らない人も多く、市民に十分に利用されていない状況にあります。

また、これまで収集したアジア映画や郷土福岡に関する貴重な地域資料は、総合図書館の特色であり、市民に広く公開・提供する必要があります。

6 運営体制のあり方

さまざまな図書館サービスを提供するため、利用者に向き合い、利用者の目線に合った改善を行っていく必要があります。

また、厳しい財政状況の中でサービスを向上していくためには、これまで以上の効率化が求められています。さらに、高度化、多様化する市民ニーズに応えていくため、職員の資質の向上、他の図書館や関係機関、ボランティアとの連携により幅広い分野の資料や情報を提供することが求められています。

V 目指す図書館像

1 基本理念

**市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、
新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館**

福岡市の図書館は、市民にとって最も身近な生涯学習施設であり、必要な知識や情報を提供し、学習や調査研究活動を援助する役割を担っています。

また、年齢、性別や国籍、障がいの有無等を問わず、すべての人が自由に快適に利用できることなど、現在、福岡市が進めるユニバーサルデザインの理念に基づいた図書館づくりが求められています。

これまでの図書館は、読みたい本を借りるところ、学生や生徒が静かに勉強するところ、本が好きな人が利用するところというイメージがあり、総合図書館の特色の一つである映像ホールでの映画の上映や図書館でじっくり調べものや研究ができる機能があることを多くの人に十分知られていない状況です。

新しい「福岡市基本計画」(第9次)には、市民生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出すためには、人材の多様性とその交流や対話から生まれる創造力が必要であり、それを支える基盤として、さまざまな人材が育ち、集まり、活躍できる環境づくりに取り組むことが示されています。

また、総合図書館が福岡タワーなど市を代表する観光スポットであるシーサイドももち地区に立地していることから、地の利を生かし、工夫をこらすことにより観光客をはじめ幅広い層の利用を見込むことができます。

これらのことから、今後の総合図書館は、これまでの機能を充実するとともに、地域の情報や市民が求める様々な情報を集約し提供する情報拠点の機能を強化していきます。そのために、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人や観光客などが集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指していきます。

2 新たな図書館像

基本理念を実現するため、新たな福岡市の図書館像を定め、図書館サービスを提供していきます。

(1) 誰もが楽しめる魅力ある図書館

ア 誰もが利用できる図書館サービス

子どもから高齢者まで、障がいのある方も、誰もが気軽に利用できるよう福岡市ユニバーサルデザインの理念に基づく図書館サービスを目指すとともに、どこに住んでいても、仕事帰りでも図書館が利用できる仕組みを検討していきます。

特に、利用したくても時間的に来館が困難な働く世代などへの対応として、交通の便の良い公共施設などへのサービス拠点の設置や開館時間の延長などについて検討していきます。

イ 魅力ある図書館

図書館に行く地域の情報や観光に関する情報など様々な情報が集約されていて、だれでも直ぐに情報を得ることができ、そこから新たな交流の輪が広がる。そのような、すべての人々に開かれ、誰もが気軽に立ち寄りたくなる図書館であることが求められています。そのために、市民が図書館で思い思いに自由な時間を過ごし、くつろぎ楽しむ、そのような潤いややすらぎの場となるように、エントランスホールや中庭、正面玄関前広場などを活用して、快適な空間づくりを進めていきます。

また、社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する展示や文化人や専門家等による講演会など、市民と図書館を結ぶ行事・イベントの充実を図ったり、子どもの「おはなし会」^④だけでなく、大人向けの「読書会」を開催するなど魅力ある図書館を目指します。

《新たな取り組み》

- 人と人との交流の場、潤いややすらぎの場として施設空間の有効活用
- 来館が困難な人に対応した新たなサービス拠点の検討
- 働く世代などに対応した開館時間延長の検討
- 幼児から高齢者まで利用できるよう、市の関連施設への団体貸出

(2) さまざまな情報を求める市民に応える図書館

ア 幅広い資料・情報の収集・保存

市民の多様な読書・情報ニーズに対応するとともに、公共図書館としての役割を發揮できるような資料収集に努めます。また、分館における図書資料収集については、全体の蔵書構成を考慮しつつ、地域の実情にあわせて特色を持たせた資料収集に努めていきます。

イ レファレンスサービスの充実・強化

レファレンス需要に対応していくため、各専門機関のオンラインデータベースやホームページの活用など、レファレンスツールの充実を図ります。また、専門知識を習得するための研修など、職員の資質の向上を図ります。関心が高いビジネス支援や子育て支援など地域の課題解決や市民ニーズに対応したサービスの充実を図っていきます。

ウ ネットワーク機能の充実

分館を中心に、学校・公民館・文庫などとの地域のネットワークの充実に努め、地域での読書活動推進を図っていきます。また、少年科学文化会館、ふくふくプラザ、議会図書室など、福岡市が管理する図書室資料の総合目録化と相互協力化について検討していきます。

エ 情報化の進展に対応したサービスの向上

情報化の進展に伴い、これまでの紙資料による提供だけでなく、インターネットなどによる電子媒体を組み合わせる利用できる図書館を目指します。

また、無線LANの導入やタブレット等が利用できる環境を検討していきます。

《新たな取り組み》

- 窓口、電話だけでなく電子メールでのレファレンスサービスの実施
- 議会図書室などと連携した政策企画・立案などの行政支援
- タブレットなどが利用できる無線LANの設置
- デジタル化資料^⑤の閲覧などへの対応

(3) 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館

ア 「福岡市子ども読書活動推進計画」に基づく子どもの読書活動の推進
子どもが本に親しみ読書習慣が身に付くよう、平成 23 年度に策定した「福岡市子ども読書活動推進計画」（第 2 次）に基づき、ヤングアダルト®へのサービスの充実や地域文庫などの紹介を行っていきます。

また、地域における読書普及活動を活性化させるため、読書ボランティア養成などの支援を充実するとともに、「おはなし会」や地域文庫活動を積極的に周知していきます。

イ 学校図書館との連携

子どもたちの身近な読書の間である学校図書館に対して、適切な指導助言を行えるようにするとともに、図書の貸出や情報提供、学校司書への研修などの支援を学校図書館支援センターを中心に積極的に行っていきます。

《新たな取り組み》

- 地域の読書普及活動を支援する読書ボランティア講座の実施
- 子どもたちの読書活動を支援する学校図書館支援センターの設置

(4) 総合図書館の特色を生かした図書館

ア 映像資料部門の充実

● 映像資料の公開機能の充実

映像資料については、国内外の芸術・文化・教育・記録などの優れた映像作品、特に、アジア各国の貴重な映像作品や福岡市や九州にゆかりのある映画・ビデオなどの映像・音声資料などを中心に収集しており、今後とも、アジアフォーカス・福岡国際映画祭との連携を強化するとともに、上映作品の収集に努めていきます。

また、収集した様々なビデオやアジア映画のポスターなどの有効活用を図るとともに、収集したアジア映画の公開について、映像ホールだけでなく、市の施設で公開上映ができるよう市民が映像資料に親しめる事業の企画を検討していきます。

さらに、市民の映像活動を支援するためにデジタル上映環境への整備を進めていきます。

● ビデオライブラリーの方向性

技術の革新により新しい機器が出現して、これまで収集した媒体が家庭で再生できない状況にあります。レンタル店が普及していることやデータ配信サービスが進んでいる中で、総合図書館としての提供、保存のあり方について検討していきます。

《新たな取り組み》

- 市内施設でのアジア映画上映の検討
- アジア映画のポスター展や講演会の実施

イ 文書資料部門の充実

● 歴史的公文書・行政資料の有効活用

福岡市の公文書館機能を有する保存センターとしての役割を果たすため、これまで収集・保存した歴史的・文化的資料を広く市民が活用できるように提供していきます。また、公文書に関する企画展などを定期的を実施することにより、対外的に公文書館の存在をアピールしていきます。

● 古文書資料・郷土資料の後世への伝承

福岡の歴史に係わりのある古文書資料や郷土資料、地域に根ざした文書資料は、地域の歴史などを調査・研究するための貴重な資料です。今後も、福岡市に関する資料については積極的に収集し、この貴重な資料の保存・提供の両立を図り、後世に伝えるため資料のデジタル化の検討を進めていきます。また、普及活動として資料を活用した講座などの開催や広報誌などの刊行を一層図っていきます。

● 市民に認知される福岡市文学館の環境整備

福岡市文学館のサテライトである赤煉瓦文化館^⑦は、市の中心地にあるため、市民や観光客への情報発信拠点となっており、一定の効果をあげています。さらに、市民へ認知される福岡市文学館を目指して情報発信をしていくためには、総合図書館内に分散した展示室等を1か所に集約し、市民が利用しやすい配置を含め資料保存・提供などについて検討していきます。

《新たな取り組み》

- 貴重な古文書資料の保存のためのデジタル化の検討
- 総合図書館内の文学館展示室の集約化

3 効率的で効果的な図書館運営

(1) 施設の有効活用と管理運営体制

- ア 開館時間の拡大など図書館サービスを向上していくため、指定管理者制度などの民間活力の導入を含めた運営方法について検討します。
- イ 駐車場の有料化や広告収入など施設の有効活用や、個人・団体からの支援の受け入れなどにも取り組み、財源確保に努めていきます。
- ウ これまで、「おはなし会」や読書ボランティア講座などについては、ボランティア団体の協力により実施してきましたが、今後は、さらに館内の利用案内や各種資料の整理など新たな分野における図書館ボランティアとの共働を実施していきます。そのため、新たに、ボランティアの養成や学生のインターンシップを導入していきます。

(2) 職員の研修体制の確立

図書館職員の専門知識や技術の向上を目指し、業務マニュアル等を作成するとともに、職員の研修を計画的に実施します。また、著しく進展する情報化に対応するため、電子資料やインターネットによる情報などを活用できる職員の養成を行っていきます。

(3) 積極的な情報発信

図書館の利用方法やサービス内容をお知らせするため、ホームページを充実するとともに、子どもから高齢者まで分かりやすく、使いやすいホームページとなるように工夫します。

また、様々な図書館の催しものなど多くの情報を、効果的な手法により、積極的に発信・提供することで、図書館の利用が少ない層への利用を促進していきます。

VI 新ビジョンの推進に向けて

《新ビジョンの進行管理と評価》

「福岡市総合図書館新ビジョン」を着実に推進するために、事業計画や成果指標を定め、計画的に事業を実施していきます。

そのため、年度ごとに図書館サービスや業務について、市民アンケートを実施しながら、内部評価を行います。

内部評価について意見を聴くため、「福岡市図書館評価委員会（仮称）」を設置して、市民や有識者の視点を取り入れた外部評価を行い、結果を公表します。

用語集

① 国際フィルム・アーカイヴ連盟

The International Federation of Film Archives, 略称：*FIAPF*（フィアフ）は世界の映画保存機関（フィルム・アーカイヴ）から構成される国際組織です。映画フィルムを文化遺産、歴史資料として、破損・散逸から救済・保存することを目的に1938年パリで結成されました。現在、本部をベルギーのブリュッセルにおき活動しています。全世界で73ヶ国約150の施設が加盟していますが、国内では東京国立近代美術館フィルムセンターと福岡市総合図書館の2つだけです。

② レファレンスサービス

特定の情報を求める図書館利用者に対して、図書館員が図書館資料やその他の情報収集活動を通して、必要としている情報を示しそのアクセス方法を教えたり、回答を提供する人的な援助です。総合図書館では、2階に3か所のレファレンスカウンターを設置し、専門の職員が対応しています。来館のほか、電話やFAX、文書での受け付けも可能です。メールでの受け付けも開始する予定です。各分館でも受付しています。

③ 福岡市子ども読書活動推進計画（第2次）

平成17年3月に子どもの読書環境づくりを推進するために策定された1次計画を受けて平成23年5月に策定されました。子どもたちが読書の楽しさ、素晴らしさを感じ、生き生きと生きていくための「ことばの力」、「生きる力」を身に着け、「ことば輝く街」を目指しています。概ね18歳以下の子どもを対象にしています。

④ おはなし会

総合図書館と分館では、幼児や乳児づれの親子を対象に、毎月数回定期的にお話を聞かせる集会を開いています。本の世界の素晴らしさを体験し、その後の読書活動へとつなげる重要なサービスと位置付けています。

⑤ デジタル化資料

紙媒体に印された従来の資料とは異なり、CD、DVD、ハードディスクからのLAN配信、インターネットからの配信などアクセスでディスプレイ装置に表示される資料類の総称です。図書館が所蔵する資料を独自にデジタル化するほか、さまざまな団体が有料、無料で提供しています。文字情報のほか、画像情報、画像と文字の情報を組み合わせたものがあり、それぞれの資料ごとに独自の検索画面や方法を取っているため、図書館職員はそれぞれの情報の特性やアクセス方法ダウンロードや印刷方法に精通している必要があります。

⑥ ヤングアダルト

一般に中学生から高校生などティーンエイジ，すなわち児童と成人の間の年齢層を指しています。この年齢層を対象に行う図書館サービスをヤングアダルトサービスと呼び，コーナーを設けて独自の蔵書を構成しています。

⑦ 赤煉瓦文化館

福岡市中央区天神一丁目 15-30 にある経済観光文化局文化財保護課所管の建築物で，明治時代のわが国を代表する建築家辰野金吾工学博士，片岡安工学士の設計により，日本生命保険株式会社九州支店として明治 42 年（1909）2 月に竣工しました。ドームや小塔，屋根窓を配した銅板葺きの屋根や赤煉瓦と白い花崗岩の外壁は，19 世紀末の英国様式を応用したものです。昭和 44 年（1969）3 月に国の重要文化財に指定されたのを機に福岡市に譲渡され，長く歴史資料館として活用された後，平成 6 年（1994）2 月からは赤煉瓦文化館として市民に親しまれてきました。平成 14 年（2002）5 月福岡市文学館のサテライトを 1 階に開設し，文学に関する様々な情報を収集・提供しています。企画展や文学講座「赤煉瓦夜話」，読書講座などを開催しています。

－ 福岡市総合図書館新ビジョン －

発行／平成 26 年 6 月

福岡市教育委員会総合図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜三丁目 7 番 1 号

電話 092-852-0600(代表)

F A X 092-852-0609

E-mail library-unei.BES@city.fukuoka.lg.jp

U R L <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>

福岡市総合図書館新ビジョン
事業計画及び成果指標

(令和元 年度～令和5 年度)

福岡市教育委員会

1 趣旨

平成8年6月の福岡市総合図書館開館以来、少子高齢化や高度情報化、国際化の進展など、社会状況が大きく変化しています。このような状況の中で、市民ニーズの高度化、多様化という新たな環境変化に対応していくため、今求められる図書館の役割を踏まえ、これから目指すべき図書館像を定める「福岡市総合図書館新ビジョン」を平成26年6月に策定しました。

この「福岡市総合図書館新ビジョン」は平成26年度を始期とする10年間を計画期間としており、新ビジョン推進のため、重点的に取り組む具体的な施策・事業について5年ごとにその事業計画を作成し、成果指標を定めて計画的に事業を実施していくものです。

2 事業計画の枠組み

(1) 計画の期間

①前期事業計画

計画の期間は、2014年度（平成26年度）から2018年度（平成30年度）までの5年間とします。

②後期事業計画

計画の期間は、2019年度（令和元年度）から2023年度（令和5年度）までの5年間とします。

(2) 計画の構成

事業計画は、「福岡市総合図書館新ビジョン」で掲げる「目指す図書館像」に沿った項目ごとに整理し、それぞれの内容と成果指標、スケジュールから構成されています。

3 進行管理と評価

新ビジョンを着実に推進していくために、年度ごとに図書館サービスや業務についての評価を行い、進行管理を行っていきます。

そのため、年度ごとに図書館サービスや業務について、アンケートを実施しながら、内部評価を行います。さらに、内部評価について意見を聴くため、「福岡市図書館評価委員会」を設置して、市民や有識者の視点を取り入れた外部評価を行い、結果を公表します。その評価内容に応じて、図書館サービスの改善を図っていきます。

(1) 内部評価

毎年4月	アンケートの実施
6月	アンケートの結果や成果指標などに基づく内部評価

(2) 外部評価

毎年7月	福岡市図書館評価委員会による外部評価及びその公表 評価内容に応じた改善
------	--

4 前期事業計画の振り返り

福岡市総合図書館では、「福岡市総合図書館新ビジョン」に掲げる「目指す図書館像」を達成するため、前期事業計画に基づき施策・事業を推進してまいりました。その結果、潤いややすらぎの場の創出や一部の図書館ではありますが開館時間の延長、また、地域読書活動への支援を目的とした団体貸出制度の拡充など一定の成果を得られました。

一方では、急速なIoT化の発展や市民意識の変化、社会情勢の変化等で図書館利用者が年々減少傾向であり、改めて図書館に求められる役割と機能を考えていく必要があります。

(1) 前期事業計画の成果

① 学校図書館支援センターの立ち上げ

各学校が学校図書館を効果的に運用できるよう、総合図書館内に学校図書館支援センターを開設し、支援を開始

② 団体貸出制度の拡充

地域文庫や学校、高齢者施設等への団体貸出サービスを充実
344 団体(2013 年度) → 390 団体(2018 年度)

③ 図書館利用時間の拡大

総合図書館及び東図書館において開館時間の延長を実施
(東図書館においては休館日も見直し)

④ 貸出・返却拠点の新設(4 拠点)

貸出・返却拠点：福岡市科学館
返却拠点：木の葉モール橋本，ふくふくプラザ，九州がんセンター

⑤ 図書館イベントの充実

子ども向けのイベント(おはなし会など)に加え、大人向けイベント(各種講演会・講座等)、アジア映画の館外上映などを実施

(2) 福岡市図書館を取り巻く現状

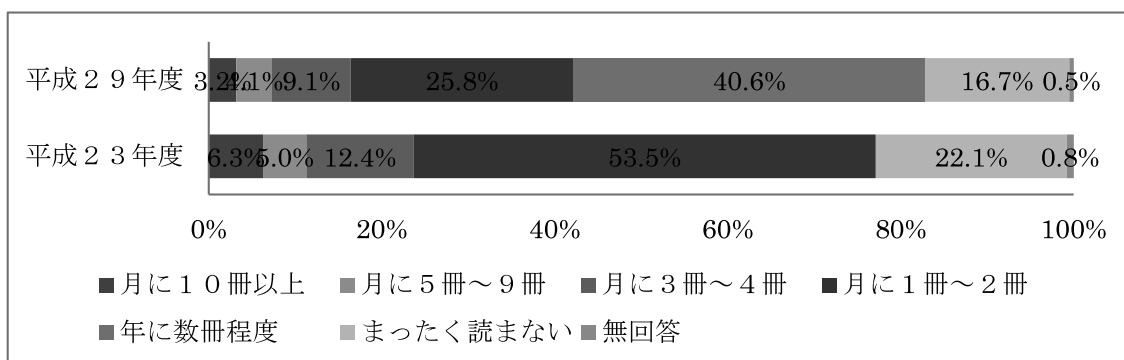
①市民の読書への考え方の変化

ア 本が読みたくなった時の行動

(平成23年度, 平成29年度 市政アンケートより)

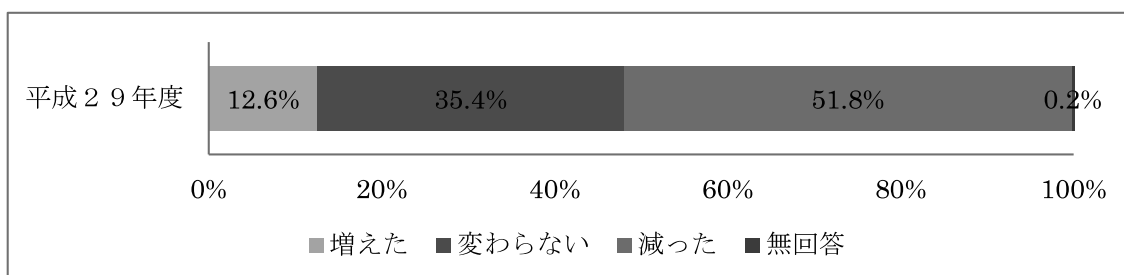
項目	平成23年度	平成29年度
書店(コンビニ購入を含む)で購入する	72.5%	61.6%
公立図書館を利用する	17.0%	13.7%
通信販売で購入する	3.8%	9.3%
職場, 学校の図書室やブックカフェを利用する	1.5%	1.8%
電子書籍等を購入する	0.2%	3.6%
その他	4.0%	4.5%
無回答	1.0%	5.7%

イ 1カ月当たりの平均読書量

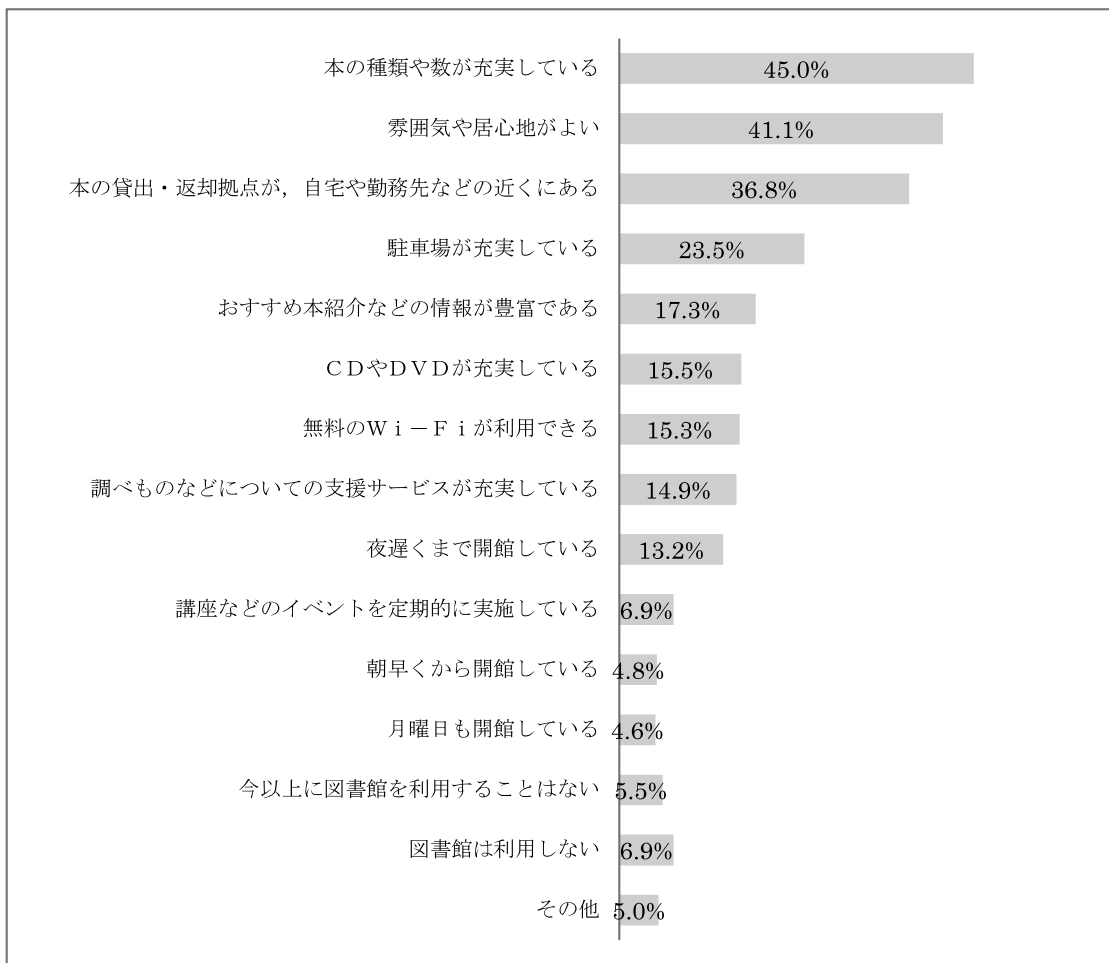


ウ 5～6年前と比較した1日の読書時間

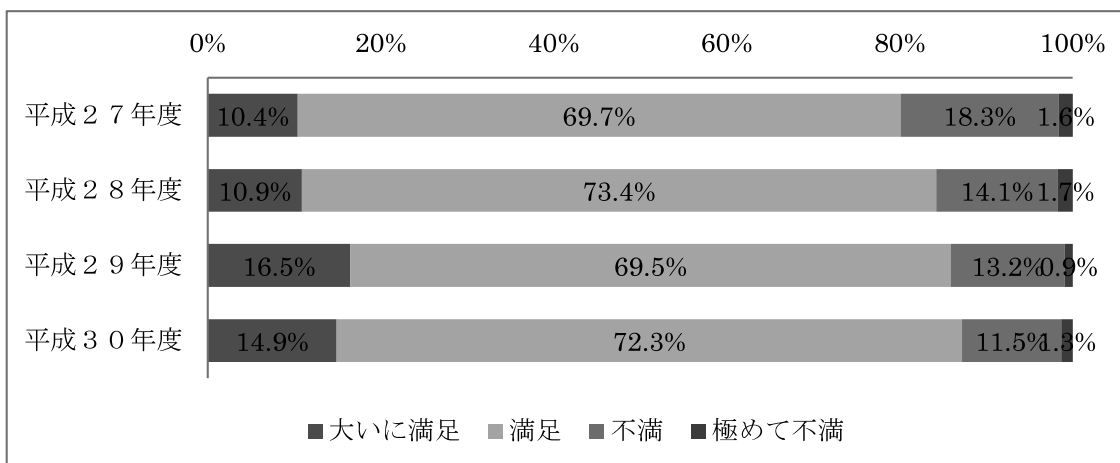
(平成29年度 市政アンケートより)



エ 図書館をいま以上に利用するための条件
(平成29年度 市政アンケートより)



オ 図書館利用者の開館時間及び休館日における満足度
(平成27～30年度 図書館利用者アンケートより)



②図書館利用者の減少

○個人貸出冊数 4,378 千冊(2014 年度) → 4,167 千冊(2017 年度)

○貸出利用者数 1,227 千人(2014 年度) → 1,211 千人(2017 年度)

※福岡県全体においても個人貸出冊数は減少傾向である。

・個人貸出冊数(県内図書館の総数)

24,448 千冊(2014 年度) → 23,705 千冊(2017 年度)

5 後期事業計画への取り組みの姿勢

福岡市総合図書館新ビジョンの推進については、実現へ向けた取り組みとして、2014 年度から 2018 年度までを前期として、また、2019 年度から 2023 年度までを後期として位置付け、それぞれ事業計画を策定することとしています。

今回、後期事業計画を策定するにあたり、前期事業計画で取り組みが十分でなかった項目を中心に見直しを行っており、これらの様々な施策、事業の実施につながるよう、計画的な推進に取り組んでまいります。

また、学校教育及び生涯学習における読書活動推進の観点を踏まえ、図書行政の改革に取り組んでまいります。

福岡市総合図書館新ビジョン 基本理念

**市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる
新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館**

内容

利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。

成 果 指 標

図書館利用者における図書館サービスの満足度

【2013年度】75.5% → 【2018年度】85% → 【2023年度】90%

【2013年度 実績】

- ・貸出利用者数 1, 291 千人
- ・個人貸出冊数 4, 633 千冊
- ・入館者数 ー 千人
- ・新規登録者数 30 千人



【2018年度 見込】

- ・貸出利用者数 1, 205 千人
- ・個人貸出冊数 4, 046 千冊
- ・入館者数 3, 090 千人
- ・新規登録者数 24 千人

【2023年度 目標】

- ・貸出利用者数 1, 400 千人
- ・個人貸出冊数 4, 800 千冊
- ・入館者数 3, 500 千人
- ・新規登録者数 30 千人

※「入館者数」については、2013年度の当初から計測に誤りがあったこと、また、その他の項目についても近年の図書館の利用状況に鑑み、2018年度の見込をもとに2023年度の数値目標を新たに設定しております。

(1) 誰もが楽しめる魅力ある図書館

		部門	運営・図書		
項目	内容				
図書資料の貸出・返却 拠点の新設	<p>① 分館の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。 <p>② 貸出・返却拠点等の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。 				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	貸出拠点数	13地点	13地点	15地点	
返却拠点数	21地点	24地点	27地点		
○前期の振り返り					
<p>① 分館の新設</p> <p>早良南地域交流センターについて、整備事業の実施方針及び要求水準書を2017年12月に公表し、2018年4月にPFI事業者の公募を開始、2018年11月に事業者が決定した。</p> <p>② 貸出・返却拠点等の新設</p> <p>2013年から返却拠点3地点（木の葉モール橋本、ふくふくプラザ、九州がんセンター）を新設した。また、少年科学文化会館の貸出・返却拠点を同館の閉館に伴い2016年に廃止したが、2017年開館の福岡市科学館に新たに拠点を設置した。</p>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
分館 (早良南)	開館準備			◇開館	
貸出・返却 拠点	検討、協議				
			◇設置		
※市の施設や地下鉄駅、民間施設・店舗などへの拠点設置の可能性を検討する。					

		部門		運営・図書・文書・映像	
項目	内容				
利用時間の見直し (休館日、開館時間の 見直し)	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。				
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> ・総合図書館は、2016年4月より開館時間を延長した。 ・東図書館は、移転開館した2016年6月より開館日・開館時間の拡大を実施した。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
休館日	検討	段階的に実施			
開館時間	検討	段階的に実施			

		部門	運営・図書		
項目	内容				
図書館イベントの充実	<p>子ども向けのおはなし会や体験講座，大人向けの講座など，幅広い層に向けて多様なイベントを実施し，これまで図書館を利用していなかった層への訴求や，参加者の満足度の向上を目指し，引き続き，読書の普及や図書館の活用促進を図ります。</p> <p>また，市の関連部署と連携したイベント，総合図書館の映像資料部門や文書資料部門，各分館との連携による企画を実施していきます。</p>				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	イベント回数 (総合・分館)	809回 /年	1,033回 /年	1,150回 /年	
	参加者数	48,671人 /年	52,224人 /年	55,000人 /年	
	※2018年度見込みは2017年度の実績値を仮記入				
○前期の振り返り					
<p>総合図書館においては，従前から開催していた子ども向けおはなし会や講座，読書活動ボランティア講座に加え，新たに大人向け読書イベントとして，がんについての講演や教養講座，本の修理講座などの各種講演会・講座や読書会などを実施した。</p> <p>また，分館においては，地域の特色を生かしたテーマや独自の観点による多様なイベントを実施した。</p>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
イベント	幅広い層へのイベント実施				
<p>(例) 図書館を舞台にした撮影会・写真コンテスト</p> <p>SNS を活用したイベント周知</p> <p>出前講座形式での図書館イベント実施</p> <p>作家や文化人による講演会開催</p> <p>自動貸出機やOPACなどの使用法を案内する図書館 Q&A 講座の開催</p> <p>幅広い層を対象とした夜のおはなし会の実施</p> <p>小(高学年)中高生向けの図書館司書体験</p> <p>総合の各部門・分館合同でのイベント など</p>					

		部門		運営・図書・文書・映像	
項目	内容				
快適な空間づくり	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館（6カ月程度）にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>				
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合図書館において、エントランスホールを活用した語らいの広場を設置するとともに、指定管理者による季節に応じたイベントを開催した。 ・2017年度に長期保全計画を作成し、施設の保全・更新を優先して実施している。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
レイアウト 変更					

(2) さまざまな情報を求める市民に応える図書館

項 目	部門	運営・図書						
内 容								
図書館サービスの充実	<p>① 資料収集の充実</p> <p>公共図書館としての役割を發揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。</p> <p>また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。</p> <p>さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。</p> <p>② レファレンス（相談）サービスの充実</p> <p>窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。</p> <p>③ 課題解決型支援の充実</p> <p>ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。</p> <table border="1" data-bbox="557 1108 1241 1198"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018 年度</th> <th>2023 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施事業</td> <td>6 件／年</td> <td>12 件／年</td> </tr> </tbody> </table>			2018 年度	2023 年度	実施事業	6 件／年	12 件／年
	2018 年度	2023 年度						
実施事業	6 件／年	12 件／年						
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子書籍に関しては、図書館での利用が認められているジャンルやタイトルが極めて限定的であるため、現時点での導入は見送っている。 前期において、総合図書館収集方針を改定するとともに、各分館で地域の実情に合わせ特色を持たせた収集方針を策定し、選書等を行った。 電子メールによるレファレンスを 2016 年度から開始し、徐々に件数が増加している。 福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報の複写サービスを開始した。 起業・経営、医療、子育て支援などの事業を着実に実施できた。 無線 LAN 環境の整備については、2014 年度に総合図書館、2016 年度に東図書館へ公衆無線 LAN「Fukuoka City Wi-Fi」が導入されたが、他の分館については、各施設の管理者と導入を協議していく。 								

○スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
資料収集	資料収集方針に沿った資料収集				
レファレンス	レファレンスサービスの実施				
課題解決型支援	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供				

(例) ①大活字本等を所蔵館以外の館に一時的に配架する

柱, 壁, 本棚側面を活用した本の顔を見せる展示スペースの創出 など

②HPを一部改修し, 利用者の調べものを支援するレファレンスガイド(調べもの案内)の情報をネット上で提供する。

		部門	図書		
項目	内容				
地域読書活動への支援	①団体貸出先の拡大 地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	②地域読書活動への支援 地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	登録団体数	344団体	390団体	420団体	
	2013年度	2018年度	2023年度		
配本冊数	236,455冊	220,000冊	244,000冊		
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> 登録団体数は増加を続けており、登録団体数については目標達成の見込みであるが、新規登録団体に小規模な団体が多いほか、配本能力の制約があり一部団体の配本周期を伸ばしたことから、配本冊数は頭打ちとなっている。 団体貸出の主体である地域ボランティアを対象に地域文庫交流会を開催し、支援の拡大を図ることで、公民館の団体貸出が5団体増加した。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
団体貸出					
地域読書活動への支援					
<p>※未登録の公民館や高齢者施設、病院などに制度周知を行い、貸出先の拡充を図る。</p> <p>※地域における講座等の開催を拡充していく。</p>					

		部門	図書		
項目	内容				
市関連施設の図書室の相互協力	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度から、議会図書室を通じて、市議会議員及び行政職員への図書資料の貸出による支援を開始。 平成 27 年度から、ふくふくプラザで図書資料の返却を開始（福祉図書・情報室窓口での返却受付、施設入口に返却ポスト設置）。 平成 29 年度から、福岡市科学館のサイエンスナビにおいて、図書資料の貸出・返却を開始。また、同館の夏休み展示において、総合図書館に所蔵する科学関連の児童図書を一部展示。 					
○スケジュール					
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
市施設との相互協力					

(3) 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館

		部門	図書		
項目	内容				
子どもへの読書普及	<p>①モデル児童図書リストの配布 子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。</p> <p>②子どもの貸出カード作成推進 図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。</p> <p>③ヤングアダルト層（12歳～18歳）への働きかけの強化 広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。</p> <p>④読書活動ボランティア講座の強化 読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。</p>				
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> モデル児童図書に関して、作成期間やコストの観点から判型等を見直し、冊子形式の目録から毎年発行で幅広く配布可能なリスト形式に変更。多様な層への配布や当該図書の展示により、関連図書の貸出増加を図ることができた。 新1年生への貸出カードの付与は個人情報保護の観点から実現に移せず。小学1年生を対象とした推薦図書リストの全員配布と併せて、貸出カード作成の案内文書を配布したが、成果は限定的であった。 ヤングアダルト向けの推薦図書のブックリストを作成・配布し、読書普及を図った。また、ヤングアダルトイベント（ビブリアバトル、TRPG、ボードゲーム、）など新しい動きが出てきた。 読書活動に関心のある市民向けにボランティア講座を実施するとともに、受講者に地域文庫マップを配布し地域で活動する団体の情報提供に努めた。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
モデル児童 図書目録	各グレード	作成・配布			
子どもの 貸出カード	検討協議	実施			

ヤングアダ ルト層への 働きかけ	広報・イベント・資料収集の充実			
読書ボラン ティア講座	読み聞かせ講座の実施			
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施			

※子どもの貸出カードについて、さまざまな場面を捉えて作成を促す。

(例) 授業での図書館見学の際に学校と連携して事前登録・カード作成・交付を実施

※地域の読書活動を支える人材を育成し、生涯学習課と連携して活動に繋げていく方策を検討する。

(例) ヤングアダルト向けイベント時に、若い世代のボランティアを募集する。

		部門	図書		
項目	内容				
学校図書館への支援	①学校図書館支援センターの充実				
	<p>前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援 				
		2013 年度	2018 年度	2023 年度	
	学校図書館への配本数	0冊/年	3,200冊/年	4,500冊/年	
学校図書館への対応件数	0件/年	100件/年	120件/年		
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> ・市立小・中学校全校へ訪問し、学校図書館を視察して運営や選書等について相談を受けるとともに、学校図書館支援センターの役割や支援方法などを説明。 ・小学校については周知が進み、支援用図書の貸し出しも大きく伸びているが、中学校については、わずかな伸びに留まっている。 ・特別支援学校については発達教育センターと連携してニーズを把握し、支援に繋げるべく情報収集を行った。 ・各校の訪問や相談対応を重ね、また制度周知が進むにつれ、特に小学校において設置直後に比べ学校現場の課題やニーズに即した助言や支援が実施できるようになり、活用件数が増加している。また、利用した学校司書や教員が継続して相談・利用するケースが増えている。 					
○スケジュール					
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
学校図書館支援センター	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
<p>※学校図書館支援センター利用の手引きを作成し、引き続き教員・学校司書への利用勧奨を行っていく。</p> <p>※特別支援学校に対し、具体的支援を行っていく。</p>					

(4) 総合図書館の特色を生かした図書館

		部門	映像		
項目	内容				
映像資料部門の充実	<p>① 図書館外施設での映像資料上映事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。 <p>② 資料展示事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。 				
○前期の振り返り					
<p>① 図書館外施設でのアジア映画上映事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 博多、東、城南区市民センターで館外上映を実施。図書館のアジア映画収蔵を知らない観客への一定の広報効果はあったが、費用対効果の課題があった。 <p>② 資料展示事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスター展示をシネラのアジア映画上映企画に連動し、1階ショーケースで年に1回～2回開催。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
上映事業	手法検討	上映事業の実施			
展示事業	多様な資料の展示				
	展示エリアの検討	展示エリアの整備			

		部門	文書												
項 目	内 容														
文書資料部門の充実	<p>①文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実 文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。</p> <p>②文学館の利用拡大 市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。 また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>2013 年度</td> <td>2018 年度</td> <td colspan="2">2023 年度</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>5,901 人</td> <td>1,044 人</td> <td colspan="2">2,100 人</td> </tr> </table> <p>※企画展，文学講座，読書講座等参加者 ※2013 年度は大河ドラマ「黒田官兵衛」に併せた企画展を実施</p>						2013 年度	2018 年度	2023 年度		参加者	5,901 人	1,044 人	2,100 人	
	2013 年度	2018 年度	2023 年度												
参加者	5,901 人	1,044 人	2,100 人												
○前期の振り返り															
<ul style="list-style-type: none"> 歴史的公文書・行政資料については、デジタルデータ化した歴史的公文書等の展示により公文書館機能の理解促進を図ることができた。 歴史的公文書システムの構築については、総務企画局における文書管理システムの更新に併せて検討することとしていたが、更新の予定がないため後期計画から除外する。 古文書資料・郷土資料については、デジタルデータ化に係る検討を進めるとともに、一部の資料のデジタルデータ作成を行ってきた。 文学館事業については、新聞・テレビなどを活用した広報により、文学館の認知度向上に努めた。 福岡ゆかりの文学者等について紹介する企画展等を開催したが、テーマにより参加者に増減が生じている。 															
○スケジュール															
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度										
文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	デジタルデータ化・活用の推進														
	デジタルデータの作成・蓄積，ホームページ掲載・展示・市民提供等														
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)														
	検討	システムの拡張・情報提供													

文学館の 利用拡大	総合図書館HP等での情報提供の充実			
	企画展，常設展，文学講座等の情報提供の充実			
	企画展の開催，広報強化			
	企画展開催・報道機関等による広報強化			
	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築			
構築	情報提供			

(5) 効率的で効果的な図書館運営

		部門	運営・図書・文書・映像	
項目	内容			
図書館運営の強化	① 運営方法の検討	現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。		
	② 図書館ボランティアとの共働の推進	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。		
		2013年度	2018年度	2023年度
	活動時間	4,084時間	4,500時間	5,000時間
図書館運営の強化	③ 職員の育成及び技術向上	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。		
	④ 施設の有効活用などによる財源確保	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。		
		2013年度	2018年度	2023年度
	収入額	785千円	6,000千円	9,000千円
○前期の振り返り				
①総合図書館の建物管理(2016.4～)及び東図書館の運営(2016.6～)について、指定管理者制度を導入。				
②書架整理や図書資料の修繕等を行うボランティアの新規申し込みを毎年実施。インターンシップ研修生を受け入れ。				
③全体研修として、接遇・クレーム・業務改善等の研修を実施。研究集会や県立図書館の研修への参加、保健所等による出前講座の実施(子育て支援や地域福祉等)。国立国会図書館のインターネット遠隔研修の受講(著作権等)				
④バナー広告等をはじめ、総合図書館駐車場を図書館利用者以外にも有料開放して収入を確保。雑誌スポンサー制度は継続性の観点から見送り。				

○スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
運営方法の検討	モニタリング 実施・検証	公募 選定	総合（建物管理のみ）、東（運営）		
	運営方法 検討・決定	開館準備	早良南（仮称）		
ボランティア	活動内容の追加・実施				
職員の育成 及び技術向上	研修等の強化（分館での研修の充実）				
財源確保	駐車場収入による財源確保				
	新たな 財源の 検討	その他財源の確保			

※財源確保については、図書館へのふるさと納税寄付金の促進方法について検討。

また、その他の財源としてデジタルサイネージや施設広告などの新たな財源確保について検討。

※ボランティア活動の内容については、イベント・ガーデニング・広報等、新たな分野の追加を検討・実施する

※図書館オリジナルのノベルティグッズを製作・販売

		部門	運営														
項目	内容																
情報発信の推進	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。																
		2013年度	2018年度	2023年度													
	ホームページアクセス	224万回/年	207万回/年	230万回/年													
	メールマガジン登録者数	0人	285人	800人													
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年9月にHPをリニューアルし見やすさ、使いやすさを改善。 ・facebook や twitter, LINE など SNS で情報発信。 ・2016年5月から月1回のメールマガジンを配信。 																	
<p>○スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信の推進</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">実施</td> </tr> </tbody> </table>							2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	情報発信の推進	検討	実施			
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度												
情報発信の推進	検討	実施															
<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3部門のイベント情報やお役立ち情報等を統括した情報誌の発行 ・都心部でのイベントで図書館PRを設置 																	

福岡市総合図書館利用者アンケート調査
～報告書～

令和5年5月

福岡市

目次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果.....	2
III. 前年度比較	4
①来館頻度.....	4
②窓口サービス(あいさつ、接遇など)についての評価.....	5
③図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)についての評価.....	6
④開館時間及び休館日についての評価	7
⑤総合な評価.....	8
IV. 時系列比較	9
V. 調査票.....	15

I. 調査の概要

1. 委託件名：福岡市総合図書館利用者アンケート調査業務委託
2. 調査目的：福岡市内の公立図書館を利用する中学生以上に対し、利用頻度や利用満足度を確認し、今後の図書館のあり方を検討するための基礎資料とする。
3. 調査対象：中学生以上の男女個人（※但し、図書館利用後の方を対象）
4. 調査方法：対象者による「自記入式」（※但し、記入が困難な人は「面接」でも可）
5. 調査場所、実施日時、調査件数

No	図書館名	調査日時	調査件数
1	総合図書館	5 / 9 (火) 10:00～17:00	500 件
2	東図書館	5 / 6 (土) 10:00～17:00	100 件
3	和白図書館	5 / 7 (日) 10:00～17:00	100 件
4	博多図書館	5 / 7 (日) 10:00～17:00	100 件
5	博多南図書館	5 / 6 (土) 10:00～17:00	100 件
6	中央図書館	5 / 6 (土) 10:00～17:00	100 件
7	南図書館	5 / 6 (土) 10:00～17:00	100 件
8	城南図書館	5 / 7 (日) 10:00～17:00	100 件
9	早良図書館	5 / 6 (土) 10:00～17:00	100 件
10	早良南図書館	5 / 7 (日) 10:00～17:00	100 件
11	西図書館	5 / 6 (土) 10:00～17:00	100 件
12	西部図書館	5 / 6 (土) 10:00～17:00	100 件
計			1,600 件

6. 集計作業上の処理：
 - ・「①福岡市の図書館の利用頻度」が「初めて」と回答した方は、「年に1回程度」として集計。
 - ・②～⑤の質問で選択肢と選択肢の中間に○を記入された方は、選択肢の低い評価の方で集計。
7. 調査結果の留意事項：各数値は小数点第2位を四捨五入している関係上、合計が100.0%にならない場合がある。

Ⅱ. 調査結果

①来館頻度

	年に1回程度		年に数回程度		月に1～2回程度		週に1～2回程度		ほぼ毎日		計 (人)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
総合	20	4.0	56	11.2	239	47.8	149	29.8	36	7.2	500
東	11	11.0	12	12.0	45	45.0	29	29.0	3	3.0	100
和白	7	7.0	15	15.0	47	47.0	29	29.0	2	2.0	100
博多	8	8.0	11	11.0	47	47.0	31	31.0	3	3.0	100
博多南	6	6.0	8	8.0	44	44.0	35	35.0	7	7.0	100
中央	5	5.0	13	13.0	48	48.0	32	32.0	2	2.0	100
南	9	9.0	13	13.0	46	46.0	28	28.0	4	4.0	100
城南	-	-	6	6.0	58	58.0	33	33.0	3	3.0	100
早良	4	4.0	12	12.0	55	55.0	25	25.0	4	4.0	100
早良南	4	4.0	14	14.0	53	53.0	26	26.0	3	3.0	100
西	2	2.0	7	7.0	49	49.0	36	36.0	6	6.0	100
西部	5	5.0	11	11.0	51	51.0	28	28.0	5	5.0	100
全体	81	5.1	178	11.1	782	48.9	481	30.1	78	4.9	1,600

②窓口サービス(あいさつ、接遇など)についての評価

	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計 (人)	満足度 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
総合	144	28.8	349	69.8	5	1.0	2	0.4	493	98.6
東	30	30.0	69	69.0	1	1.0	-	-	99	99.0
和白	24	24.0	75	75.0	1	1.0	-	-	99	99.0
博多	45	45.0	53	53.0	2	2.0	-	-	98	98.0
博多南	41	41.0	58	58.0	-	-	1	1.0	99	99.0
中央	22	22.0	69	69.0	9	9.0	-	-	91	91.0
南	29	29.0	69	69.0	2	2.0	-	-	98	98.0
城南	30	30.0	70	70.0	-	-	-	-	100	100.0
早良	19	19.0	81	81.0	-	-	-	-	100	100.0
早良南	37	37.0	63	63.0	-	-	-	-	100	100.0
西	19	19.0	77	77.0	4	4.0	-	-	96	96.0
西部	35	35.0	63	63.0	2	2.0	-	-	98	98.0
全体	475	29.7	1,096	68.5	26	1.6	3	0.2	1,571	98.2

③図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)についての評価

	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計 (人)	満足度 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
総合	147	29.4	338	67.6	14	2.8	1	0.2	485	97.0
東	25	25.0	69	69.0	6	6.0	-	-	94	94.0
和白	21	21.0	74	74.0	5	5.0	-	-	95	95.0
博多	41	41.0	55	55.0	4	4.0	-	-	96	96.0
博多南	28	28.0	70	70.0	2	2.0	-	-	98	98.0
中央	20	20.0	72	72.0	8	8.0	-	-	92	92.0
南	26	26.0	68	68.0	6	6.0	-	-	94	94.0
城南	32	32.0	64	64.0	4	4.0	-	-	96	96.0
早良	22	22.0	76	76.0	2	2.0	-	-	98	98.0
早良南	35	35.0	59	59.0	6	6.0	-	-	94	94.0
西	19	19.0	66	66.0	15	15.0	-	-	85	85.0
西部	37	37.0	59	59.0	4	4.0	-	-	96	96.0
全体	453	28.3	1,070	66.9	76	4.8	1	0.1	1,523	95.2

④開館時間及び休館日についての評価

	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計	満足度 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	
総合	82	16.4	356	71.2	61	12.2	1	0.2	438	87.6
東	37	37.0	59	59.0	4	4.0	-	-	96	96.0
和白	17	17.0	77	77.0	5	5.0	1	1.0	94	94.0
博多	37	37.0	51	51.0	12	12.0	-	-	88	88.0
博多南	13	13.0	81	81.0	6	6.0	-	-	94	94.0
中央	16	16.0	70	70.0	13	13.0	1	1.0	86	86.0
南	17	17.0	70	70.0	12	12.0	1	1.0	87	87.0
城南	27	27.0	64	64.0	9	9.0	-	-	91	91.0
早良	10	10.0	80	80.0	9	9.0	1	1.0	90	90.0
早良南	41	41.0	51	51.0	8	8.0	-	-	92	92.0
西	10	10.0	78	78.0	12	12.0	-	-	88	88.0
西部	21	21.0	73	73.0	6	6.0	-	-	94	94.0
全体	328	20.5	1,110	69.4	157	9.8	5	0.3	1,438	89.9

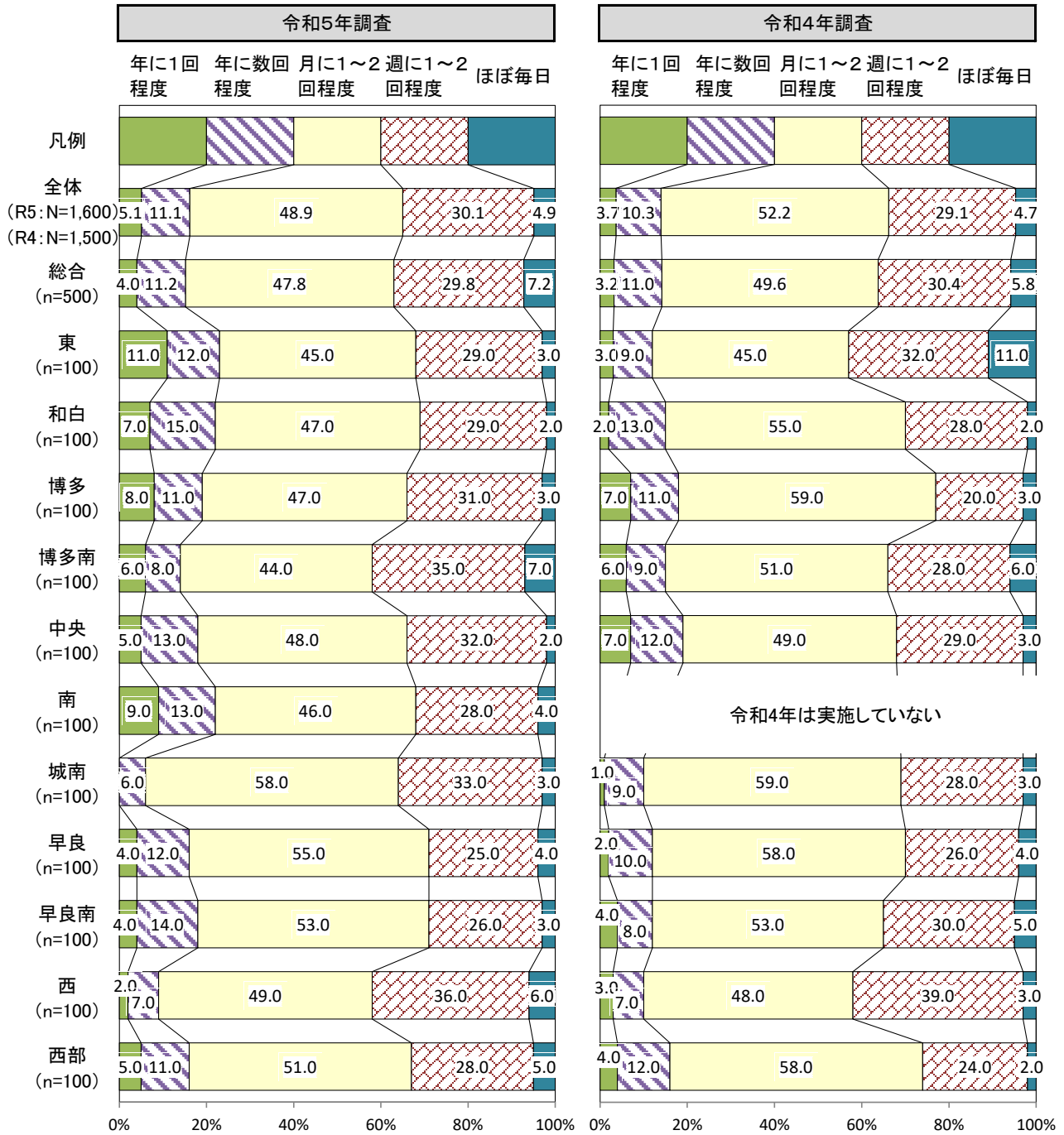
⑤総合的な評価

	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計	満足度 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	
総合	138	27.6	356	71.2	6	1.2	-	-	494	98.8
東	32	32.0	65	65.0	3	3.0	-	-	97	97.0
和白	22	22.0	75	75.0	3	3.0	-	-	97	97.0
博多	41	41.0	54	54.0	5	5.0	-	-	95	95.0
博多南	32	32.0	66	66.0	1	1.0	1	1.0	98	98.0
中央	23	23.0	71	71.0	6	6.0	-	-	94	94.0
南	28	28.0	69	69.0	2	2.0	1	1.0	97	97.0
城南	28	28.0	72	72.0	-	-	-	-	100	100.0
早良	22	22.0	76	76.0	2	2.0	-	-	98	98.0
早良南	43	43.0	57	57.0	-	-	-	-	100	100.0
西	21	21.0	70	70.0	9	9.0	-	-	91	91.0
西部	38	38.0	61	61.0	1	1.0	-	-	99	99.0
全体	468	29.3	1,092	68.3	38	2.4	2	0.1	1,560	97.5

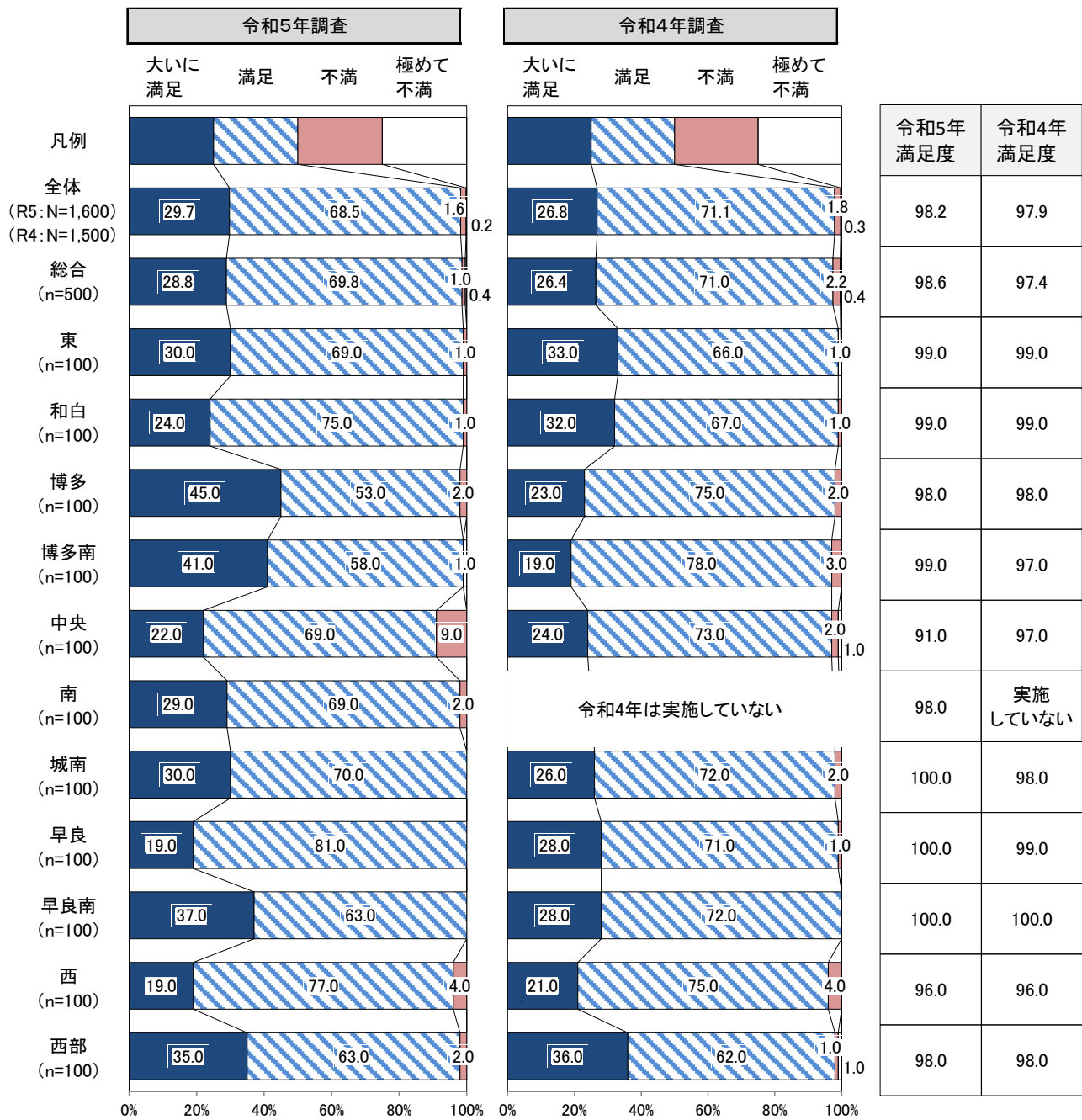
※満足度＝「大いに満足」＋「満足」

Ⅲ. 前年度比較

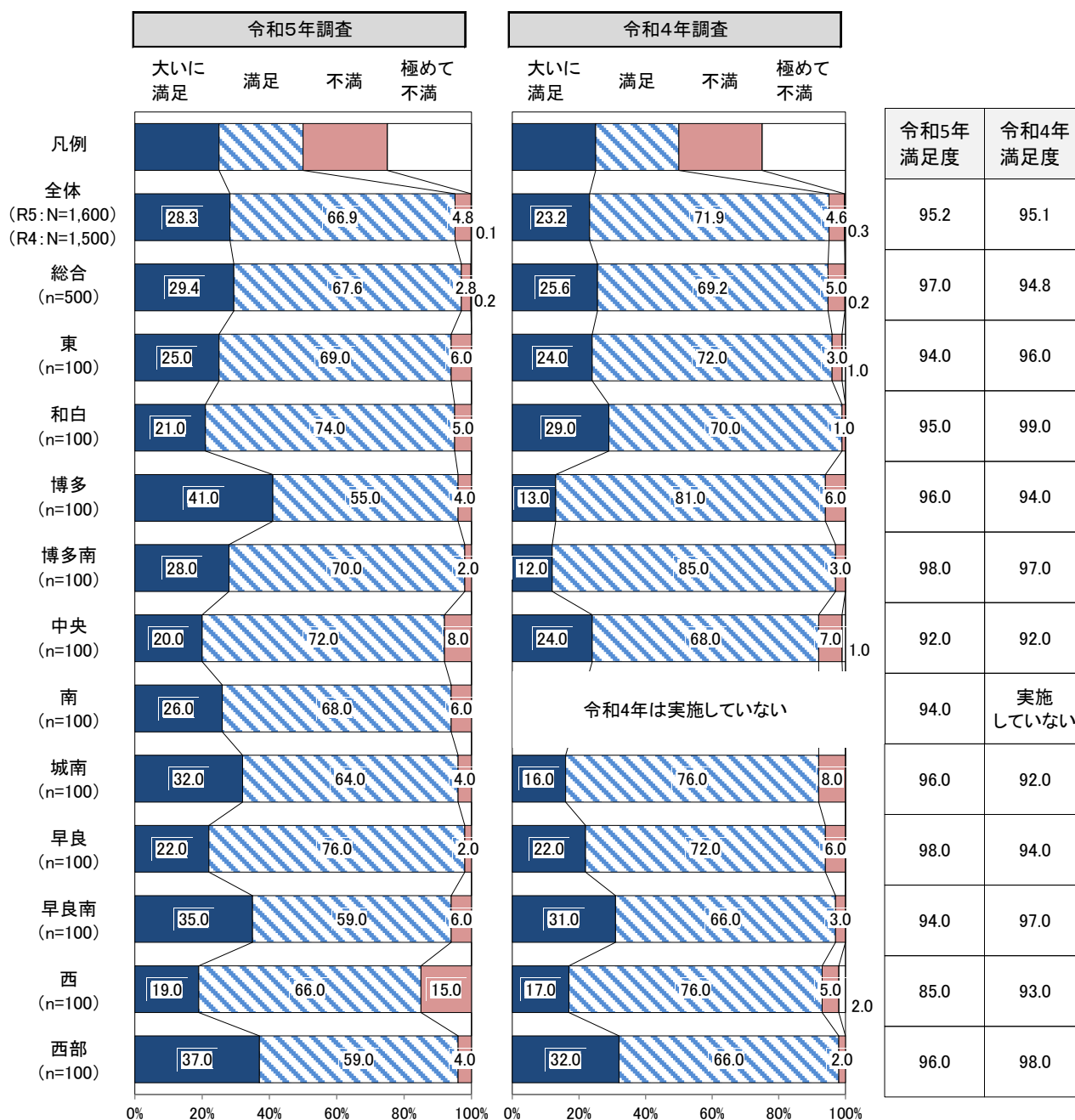
① 来館頻度



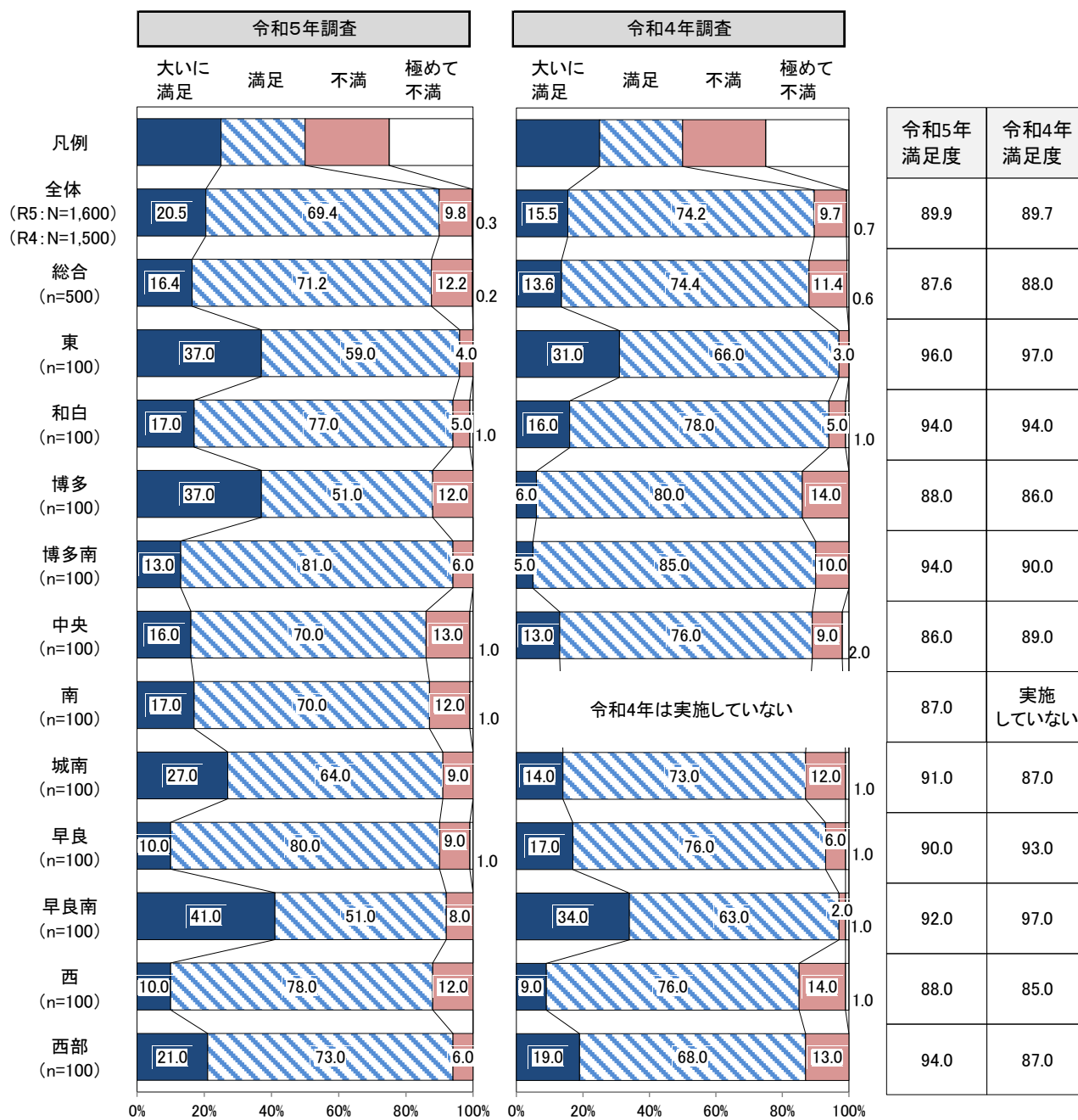
②窓口サービス(あいさつ、接客など)についての評価



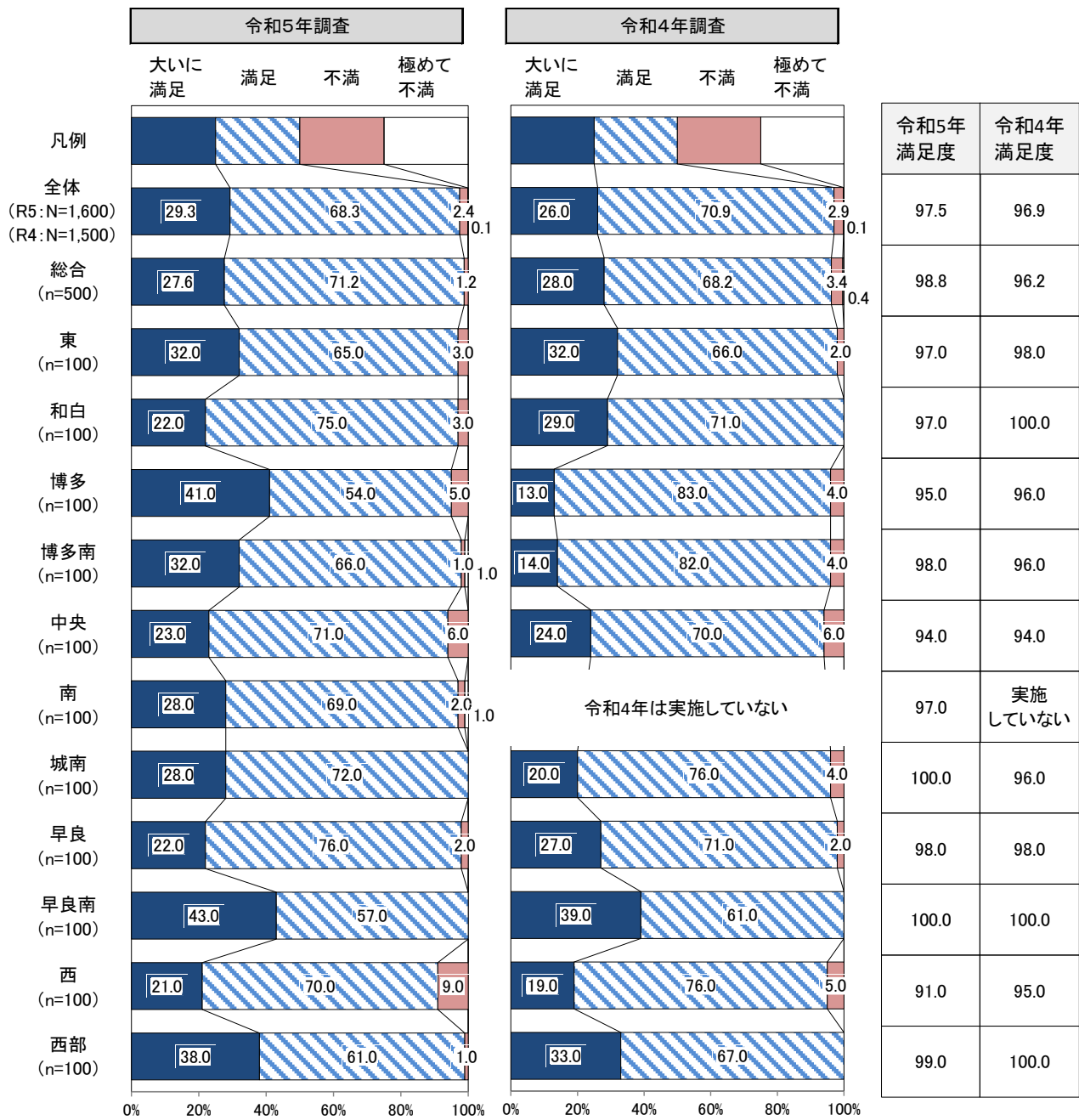
③図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)についての評価



④開館時間及び休館日についての評価



⑤総合な評価



IV. 時系列比較

<数表>

①来館頻度

		(人)					(%)				
		年に1回程度	年に数回程度	月に1～2回程度	週に1～2回程度	ほぼ毎日	年に1回程度	年に数回程度	月に1～2回程度	週に1～2回程度	ほぼ毎日
全体	H27(2015)年 (N=1,500)	48	189	787	426	50	3.2	12.6	52.5	28.4	3.3
	H28(2016)年 (N=1,400)	73	189	719	367	52	5.2	13.5	51.4	26.2	3.7
	H29(2017)年 (N=1,500)	60	190	744	448	58	4.0	12.7	49.6	29.9	3.9
	H30(2018)年 (N=1,500)	59	211	732	427	71	3.9	14.1	48.8	28.5	4.7
	R元(2019)年 (N=1,500)	67	206	770	396	61	4.5	13.7	51.3	26.4	4.1
	R2(2020)年	実施していない					実施していない				
	R3(2021)年 (N=1,400)	60	164	734	399	43	4.3	11.7	52.4	28.5	3.1
	R4(2022)年 (N=1,500)	55	155	783	436	71	3.7	10.3	52.2	29.1	4.7
	R5(2023)年 (N=1,600)	81	178	782	481	78	5.1	11.1	48.9	30.1	4.9
総合	H27(2015)年 (n=500)	15	68	252	148	17	3.0	13.6	50.4	29.6	3.4
	H28(2016)年 (n=500)	37	80	245	117	21	7.4	16.0	49.0	23.4	4.2
	H29(2017)年 (n=500)	25	73	229	159	14	5.0	14.6	45.8	31.8	2.8
	H30(2018)年 (n=500)	37	102	231	113	17	7.4	20.4	46.2	22.6	3.4
	R元(2019)年 (n=500)	50	97	225	114	14	10.0	19.4	45.0	22.8	2.8
	R2(2020)年	実施していない					実施していない				
	R3(2021)年 (n=500)	16	51	270	138	25	3.2	10.2	54.0	27.6	5.0
	R4(2022)年 (n=500)	16	55	248	152	29	3.2	11.0	49.6	30.4	5.8
	R5(2023)年 (n=500)	20	56	239	149	36	4.0	11.2	47.8	29.8	7.2
分館計	H27(2015)年 (n=1,000)	33	121	535	278	33	3.3	12.1	53.5	27.8	3.3
	H28(2016)年 (n=900)	36	109	474	250	31	4.0	12.1	52.7	27.8	3.4
	H29(2017)年 (n=1,000)	35	117	515	289	44	3.5	11.7	51.5	28.9	4.4
	H30(2018)年 (n=1,000)	22	109	501	314	54	2.2	10.9	50.1	31.4	5.4
	R元(2019)年 (n=1,000)	17	109	545	282	47	1.7	10.9	54.5	28.2	4.7
	R2(2020)年	実施していない					実施していない				
	R3(2021)年 (n=900)	44	113	464	261	18	4.9	12.6	51.6	29.0	2.0
	R4(2022)年 (n=1,000)	39	100	535	284	42	3.9	10.0	53.5	28.4	4.2
	R5(2023)年 (n=1,100)	61	122	543	332	42	5.5	11.1	49.4	30.2	3.8

②窓口サービス(あいさつ、接遇など)についての評価

(人)

(%)

		大いに満足	満足	不満	極めて不満	満足計	大いに満足	満足	不満	極めて不満	満足計	
全体	H27(2015)年 (N=1,500)	344	1,115	39	2	1,499	22.9	74.3	2.6	0.1	97.3	
	H28(2016)年 (N=1,400)	326	1,051	21	2	1,377	23.3	75.1	1.5	0.1	98.4	
	H29(2017)年 (N=1,500)	443	1,038	18	1	1,481	29.5	69.2	1.2	0.1	98.7	
	H30(2018)年 (N=1,500)	382	1,091	25	2	1,473	25.5	72.7	1.7	0.1	98.2	
	R元(2019)年 (N=1,500)	405	1,074	20	1	1,479	27.0	71.6	1.3	0.1	98.6	
	R2(2020)年	実施していない						実施していない				
	R3(2021)年 (N=1,400)	442	920	35	3	1,362	31.6	65.7	2.5	0.2	97.3	
	R4(2022)年 (N=1,500)	402	1,066	27	5	1,468	26.8	71.1	1.8	0.3	97.9	
	R5(2023)年 (N=1,600)	475	1,096	26	3	1,571	29.7	68.5	1.6	0.2	98.2	
	総合	H27(2015)年 (n=500)	113	378	7	2	491	22.6	75.6	1.4	0.4	98.2
H28(2016)年 (n=500)		104	382	12	2	486	20.8	76.4	2.4	0.4	97.2	
H29(2017)年 (n=500)		147	350	3	-	497	29.4	70.0	0.6	-	99.4	
H30(2018)年 (n=500)		122	372	6	-	494	24.4	74.4	1.2	-	98.8	
R元(2019)年 (n=500)		139	354	6	1	493	27.8	70.8	1.2	0.2	98.6	
R2(2020)年		実施していない						実施していない				
R3(2021)年 (n=500)		135	357	6	2	492	27.0	71.4	1.2	0.4	98.4	
R4(2022)年 (n=500)		132	355	11	2	487	26.4	71.0	2.2	0.4	97.4	
R5(2023)年 (n=500)		144	349	5	2	493	28.8	69.8	1.0	0.4	98.6	
分館計		H27(2015)年 (n=1,000)	231	737	32	-	968	23.1	73.7	3.2	-	96.8
	H28(2016)年 (n=900)	222	669	9	-	891	24.7	74.3	1.0	-	99.0	
	H29(2017)年 (n=1,000)	296	688	15	1	984	29.6	68.8	1.5	0.1	98.4	
	H30(2018)年 (n=1,000)	260	719	19	2	979	26.0	71.9	1.9	0.2	97.9	
	R元(2019)年 (n=1,000)	266	720	14	-	986	26.6	72.0	1.4	-	98.6	
	R2(2020)年	実施していない						実施していない				
	R3(2021)年 (n=900)	307	563	29	1	870	34.1	62.6	3.2	0.1	96.7	
	R4(2022)年 (n=1,000)	270	711	16	3	981	27.0	71.1	1.6	0.3	98.1	
	R5(2023)年 (n=1,100)	331	747	21	1	1,078	30.1	67.9	1.9	0.1	98.0	

③図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)についての評価

(人)

(%)

		大いに満足	満足	不満	極めて不満	満足計	大いに満足	満足	不満	極めて不満	満足計	
全体	H27(2015)年 (N=1,500)	294	1,093	108	5	1,387	19.6	72.9	7.2	0.3	92.5	
	H28(2016)年 (N=1,400)	266	1,042	89	3	1,308	19.0	74.4	6.4	0.2	93.4	
	H29(2017)年 (N=1,500)	333	1,056	107	4	1,389	22.2	70.4	7.1	0.3	92.6	
	H30(2018)年 (N=1,500)	350	1,050	95	5	1,400	23.3	70.0	6.3	0.3	93.3	
	R元(2019)年 (N=1,500)	367	1,047	83	3	1,414	24.5	69.8	5.5	0.2	94.3	
	R2(2020)年	実施していない						実施していない				
	R3(2021)年 (N=1,400)	376	906	108	10	1,282	26.9	64.7	7.7	0.7	91.6	
	R4(2022)年 (N=1,500)	348	1,078	69	5	1,426	23.2	71.9	4.6	0.3	95.1	
	R5(2023)年 (N=1,600)	453	1,070	76	1	1,523	28.3	66.9	4.8	0.1	95.2	
	総合	H27(2015)年 (n=500)	111	366	22	1	477	22.2	73.2	4.4	0.2	95.4
H28(2016)年 (n=500)		100	380	18	2	480	20.0	76.0	3.6	0.4	96.0	
H29(2017)年 (n=500)		130	345	22	3	475	26.0	69.0	4.4	0.6	95.0	
H30(2018)年 (n=500)		136	348	14	2	484	27.2	69.6	2.8	0.4	96.8	
R元(2019)年 (n=500)		151	324	24	1	475	30.2	64.8	4.8	0.2	95.0	
R2(2020)年		実施していない						実施していない				
R3(2021)年 (n=500)		121	351	25	3	472	24.2	70.2	5.0	0.6	94.4	
R4(2022)年 (n=500)		128	346	25	1	474	25.6	69.2	5.0	0.2	94.8	
R5(2023)年 (n=500)		147	338	14	1	485	29.4	67.6	2.8	0.2	97.0	
分館計		H27(2015)年 (n=1,000)	183	727	86	4	910	18.3	72.7	8.6	0.4	91.0
	H28(2016)年 (n=900)	166	662	71	1	828	18.4	73.6	7.9	0.1	92.0	
	H29(2017)年 (n=1,000)	203	711	85	1	914	20.3	71.1	8.5	0.1	91.4	
	H30(2018)年 (n=1,000)	214	702	81	3	916	21.4	70.2	8.1	0.3	91.6	
	R元(2019)年 (n=1,000)	216	723	59	2	939	21.6	72.3	5.9	0.2	93.9	
	R2(2020)年	実施していない						実施していない				
	R3(2021)年 (n=900)	255	555	83	7	810	28.3	61.7	9.2	0.8	90.0	
	R4(2022)年 (n=1,000)	220	732	44	4	952	22.0	73.2	4.4	0.4	95.2	
	R5(2023)年 (n=1,100)	306	732	62	-	1,038	27.8	66.5	5.6	-	94.4	

④開館時間及び休館日についての評価

		(人)					(%)				
		大いに満足	満足	不満	極めて不満	満足計	大いに満足	満足	不満	極めて不満	満足計
全体	H27(2015)年 (N=1,500)	156	1,045	275	24	1,201	10.4	69.7	18.3	1.6	80.1
	H28(2016)年 (N=1,400)	152	1,027	197	24	1,179	10.9	73.4	14.1	1.7	84.2
	H29(2017)年 (N=1,500)	247	1,042	198	13	1,289	16.5	69.5	13.2	0.9	85.9
	H30(2018)年 (N=1,500)	223	1,085	173	19	1,308	14.9	72.3	11.5	1.3	87.2
	R元(2019)年 (N=1,500)	246	1,088	151	15	1,334	16.4	72.5	10.1	1.0	88.9
	R2(2020)年	実施していない					実施していない				
	R3(2021)年 (N=1,400)	294	901	187	18	1,195	21.0	64.4	13.4	1.3	85.4
	R4(2022)年 (N=1,500)	232	1,113	145	10	1,345	15.5	74.2	9.7	0.7	89.7
	R5(2023)年 (N=1,600)	328	1,110	157	5	1,438	20.5	69.4	9.8	0.3	89.9
	総合	H27(2015)年 (n=500)	55	353	79	13	408	11.0	70.6	15.8	2.6
H28(2016)年 (n=500)		65	355	65	15	420	13.0	71.0	13.0	3.0	84.0
H29(2017)年 (n=500)		89	350	56	5	439	17.8	70.0	11.2	1.0	87.8
H30(2018)年 (n=500)		93	356	46	5	449	18.6	71.2	9.2	1.0	89.8
R元(2019)年 (n=500)		94	354	47	5	448	18.8	70.8	9.4	1.0	89.6
R2(2020)年		実施していない					実施していない				
R3(2021)年 (n=500)		77	356	62	5	433	15.4	71.2	12.4	1.0	86.6
R4(2022)年 (n=500)		68	372	57	3	440	13.6	74.4	11.4	0.6	88.0
R5(2023)年 (n=500)		82	356	61	1	438	16.4	71.2	12.2	0.2	87.6
分館計		H27(2015)年 (n=1,000)	101	692	196	11	793	10.1	69.2	19.6	1.1
	H28(2016)年 (n=900)	87	672	132	9	759	9.7	74.7	14.7	1.0	84.3
	H29(2017)年 (n=1,000)	158	692	142	8	850	15.8	69.2	14.2	0.8	85.0
	H30(2018)年 (n=1,000)	130	729	127	14	859	13.0	72.9	12.7	1.4	85.9
	R元(2019)年 (n=1,000)	152	734	104	10	886	15.2	73.4	10.4	1.0	88.6
	R2(2020)年	実施していない					実施していない				
	R3(2021)年 (n=900)	217	545	125	13	762	24.1	60.6	13.9	1.4	84.7
	R4(2022)年 (n=1,000)	164	741	88	7	905	16.4	74.1	8.8	0.7	90.5
	R5(2023)年 (n=1,100)	246	754	96	4	1,000	22.4	68.5	8.7	0.4	90.9

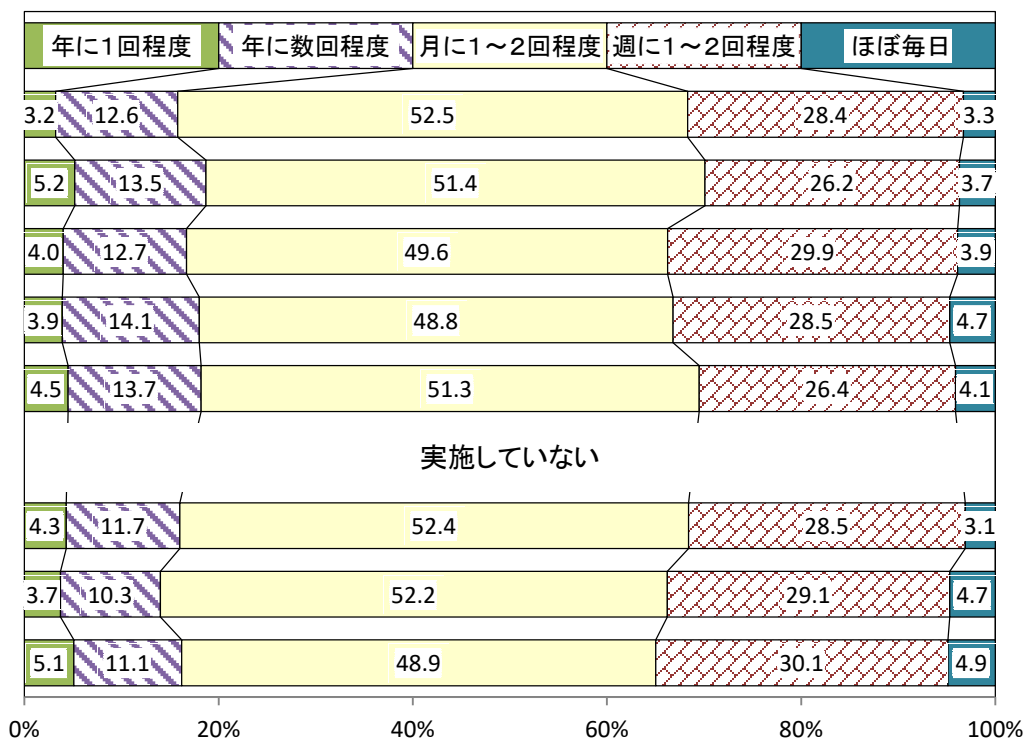
⑤総合的な評価

		(人)					(%)				
		大いに満足	満足	不満	極めて不満	満足計	大いに満足	満足	不満	極めて不満	満足計
全体	H27(2015)年 (N=1,500)	253	1,171	73	3	1,424	16.9	78.1	4.9	0.2	94.9
	H28(2016)年 (N=1,400)	287	1,058	53	2	1,345	20.5	75.6	3.8	0.1	96.1
	H29(2017)年 (N=1,500)	361	1,094	44	1	1,455	24.1	72.9	2.9	0.1	97.0
	H30(2018)年 (N=1,500)	350	1,095	51	4	1,445	23.3	73.0	3.4	0.3	96.3
	R元(2019)年 (N=1,500)	370	1,084	42	4	1,454	24.7	72.3	2.8	0.3	96.9
	R2(2020)年	実施していない					実施していない				
	R3(2021)年 (N=1,400)	379	960	55	6	1,339	27.1	68.6	3.9	0.4	95.6
	R4(2022)年 (N=1,500)	390	1,064	44	2	1,454	26.0	70.9	2.9	0.1	96.9
	R5(2023)年 (N=1,600)	468	1,092	38	2	1,560	29.3	68.3	2.4	0.1	97.5
	総合	H27(2015)年 (n=500)	99	385	14	2	484	19.8	77.0	2.8	0.4
H28(2016)年 (n=500)		120	370	8	2	490	24.0	74.0	1.6	0.4	98.0
H29(2017)年 (n=500)		153	337	10	-	490	30.6	67.4	2.0	-	98.0
H30(2018)年 (n=500)		143	348	8	1	491	28.6	69.6	1.6	0.2	98.2
R元(2019)年 (n=500)		157	331	10	2	488	31.4	66.2	2.0	0.4	97.6
R2(2020)年		実施していない					実施していない				
R3(2021)年 (n=500)		130	358	9	3	488	26.0	71.6	1.8	0.6	97.6
R4(2022)年 (n=500)		140	341	17	2	481	28.0	68.2	3.4	0.4	96.2
R5(2023)年 (n=500)		138	356	6	-	494	27.6	71.2	1.2	-	98.8
分館計		H27(2015)年 (n=1,000)	154	786	59	1	940	15.4	78.6	5.9	0.1
	H28(2016)年 (n=900)	167	688	45	-	855	18.6	76.4	5.0	-	95.0
	H29(2017)年 (n=1,000)	208	757	34	1	965	20.8	75.7	3.4	0.1	96.5
	H30(2018)年 (n=1,000)	207	747	43	3	954	20.7	74.7	4.3	0.3	95.4
	R元(2019)年 (n=1,000)	213	753	32	2	966	21.3	75.3	3.2	0.2	96.6
	R2(2020)年	実施していない					実施していない				
	R3(2021)年 (n=900)	249	602	46	3	851	27.7	66.9	5.1	0.3	94.6
	R4(2022)年 (n=1,000)	250	723	27	-	973	25.0	72.3	2.7	-	97.3
	R5(2023)年 (n=1,100)	330	736	32	2	1,066	30.0	66.9	2.9	0.2	96.9

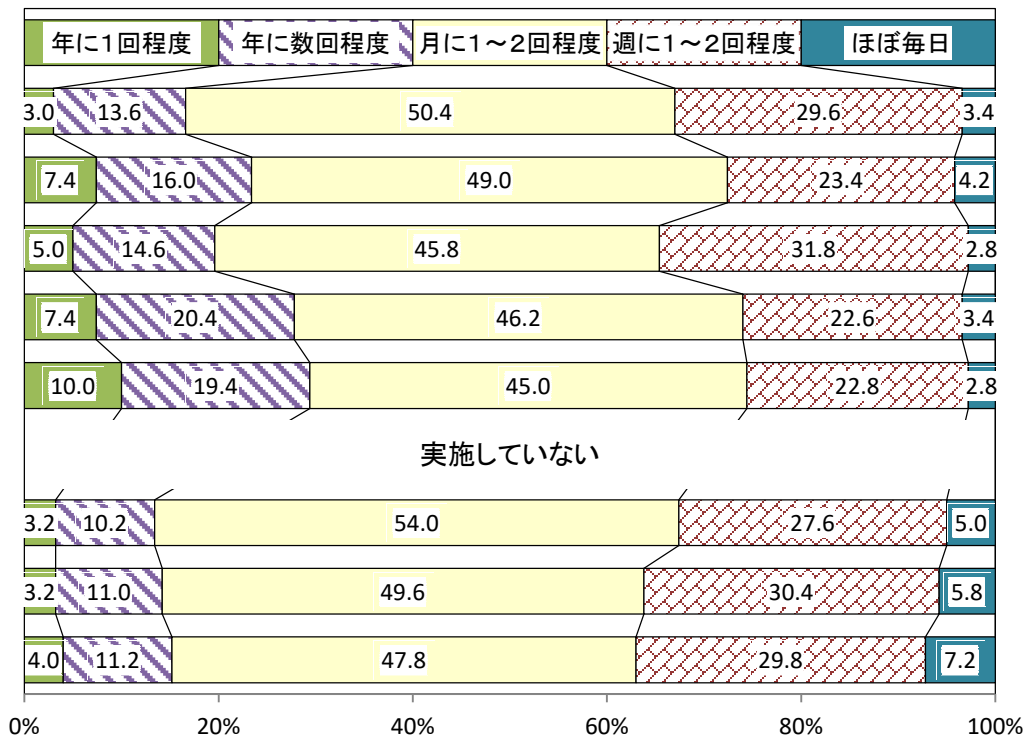
<来館頻度推移>

※R2(2020)年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していない

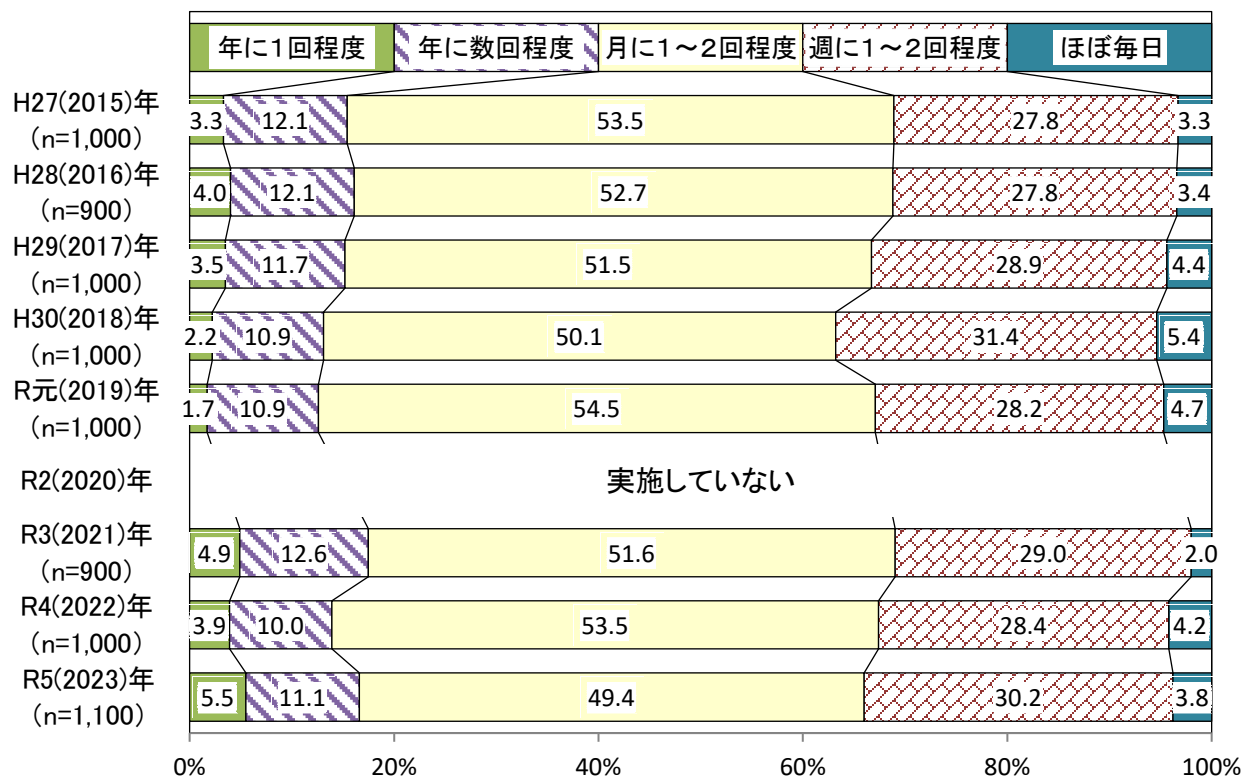
【全体】



【総合】



【分館計】

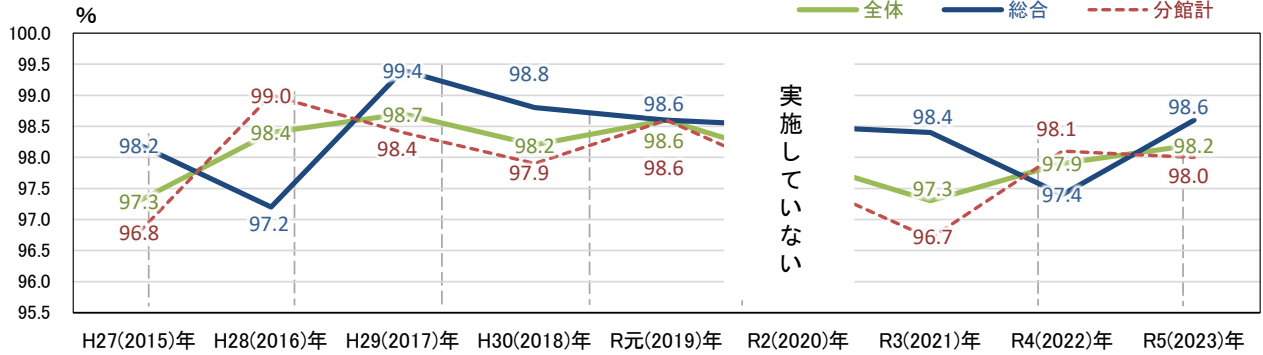


<満足度推移>

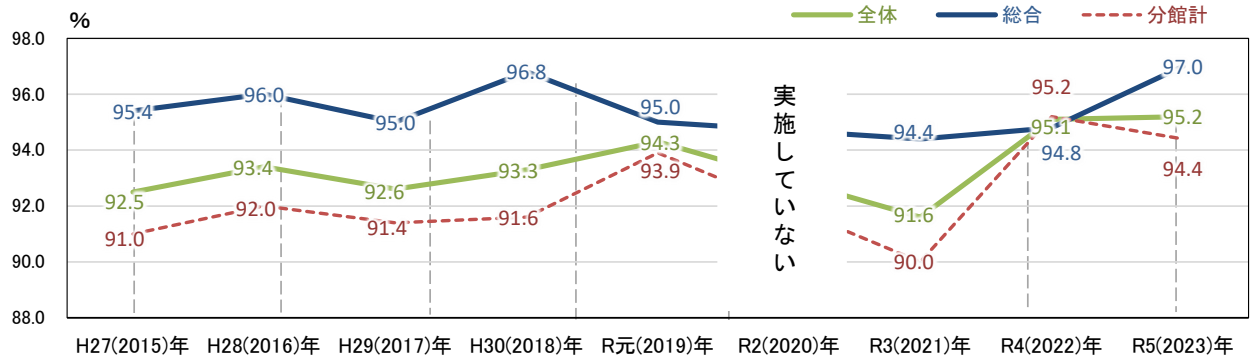
※R2(2020)年は、新型コロナウイルス
感染症拡大防止のため実施していない

全体【N=1,600(H27・H29・H30・R元：N=1,500)
(H28・R3：N=1,400)】
総合【n=500】
分館計【n=1,100(H27・H29・H30・R元：n=1,000)
(H28・R3：n=900)】

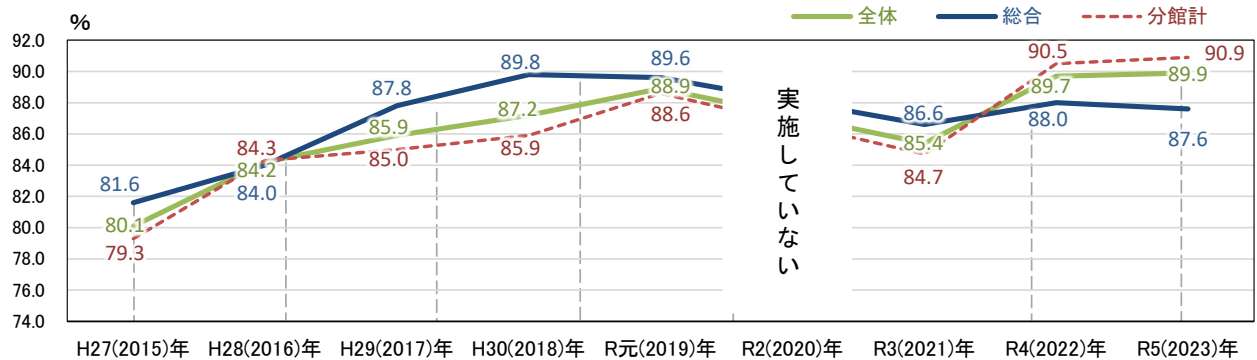
■窓口サービス(あいさつ、接遇など)についての評価



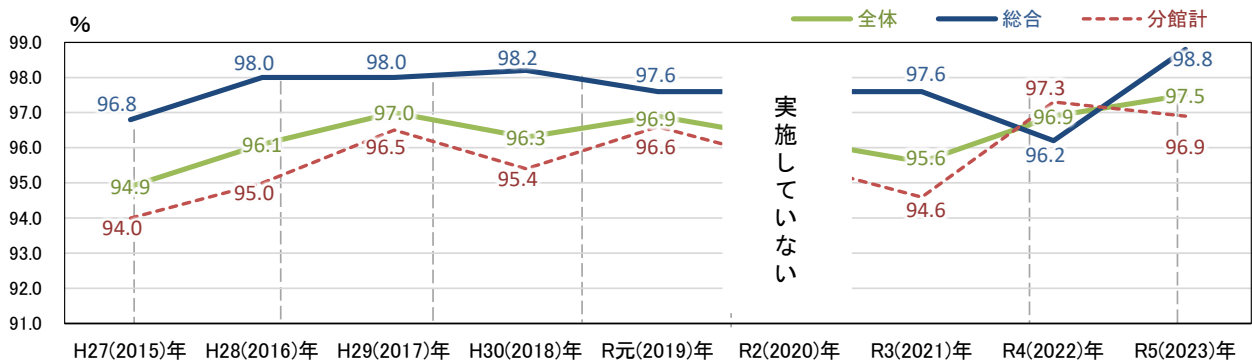
■図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)についての評価



■開館時間及び休館日についての評価



■総合的な評価



V. 調査票

図書館ご利用者アンケート

日頃より、福岡市の図書館をご利用いただきありがとうございます。
図書館のご利用について、アンケートのご協力をお願いいたします。

(1) 福岡市の図書館はどれくらいご利用されていますか。

- ① 年に1回程度・② 年に数回程度・③ 月に1～2回程度・④ 週に1～2回程度・⑤ ほぼ毎日

(2) 窓口サービスはいかがですか。(あいさつ、接遇など)

- ① 大いに満足 ② 満足 ③ 不満 ④ 極めて不満

(3) 図書館利用サービスはいかがですか。(貸出冊数、貸出日数など)

- ① 大いに満足 ② 満足 ③ 不満 ④ 極めて不満

(4) 開館時間及び休館日はいかがですか。

- ① 大いに満足 ② 満足 ③ 不満 ④ 極めて不満

(5) どの時間帯に図書館を利用したいですか。

- ① 9時～11時 ② 11時～13時 ③ 13時～15時 ④ 15時～17時 ⑤ 17時～19時

(6) 総合的にいかがですか。

- ① 大いに満足 ② 満足 ③ 不満 ④ 極めて不満

ご協力ありがとうございました。今後の運営に活用させていただきます。

調査地点番号	調査日	調査員番号

第5回市政アンケート調査

〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和4年9月22日～10月6日
■調査数	674件
■回答数	576件
■有効回答率	85.5%

1. 「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について
(担当課：水道局 総務課)
2. 「『食』の安全・安心」について
(担当課：保健医療局 食品安全推進課)
3. 「図書館の利用」について
(担当課：教育委員会 総合図書館運営課)
4. 「福岡市の行政運営の取り組み」について
(担当課：総務企画局 行政マネジメント課)

○ご記入いただいた個人情報は、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などにに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている 2 知らない

調査協力員番号		お名前	
---------	--	-----	--

※ 調査協力員番号は **封筒の宛名シール** に記載しております。

(返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。)

(提出期限) 10月6日(木)までにポストに投函してください。

《 「図書館の利用」 について 》

福岡市には、早良区百道浜にある総合図書館と、市民センターや地域交流センターに併設された図書館分館 11 館があります。

活字離れ、読書離れといった、図書館を取り巻く社会状況も大きく変化するなか、福岡市の図書館では福岡市総合図書館新ビジョンを策定し、市民の生涯学習活動を支援する施設として、さまざまな取り組みを進めているところです。

※このアンケートでは、「本」に電子書籍は含みますが、漫画、雑誌は含まないものとします。

問 14 本を 1 カ月に平均何冊ぐらい読みますか。あてはまるものを 1 つだけ 選んでください。

(N=576) 無回答 0.5

1 月に10冊以上	3.5	4 月に1冊～2冊	27.4
2 月に5冊～9冊	3.6	5 年に数冊程度	37.7
3 月に3冊～4冊	7.6	6 まったく読まない	19.6

問 15 本を読む時間は、2～3年前と比べて変わりましたか。あてはまるものを 1 つだけ 選んでください。

(N=576) 無回答 1.4

1 増えた	} →	問 17 へ	8.7
2 変わらない			41.3
3 減った	→	問 16 へ	48.6

問 16 《問 15 で「3」と回答した方におたずねします。》

本を読む時間が減った理由は何ですか。あてはまるものを すべて 選んでください。

(n=280) 無回答 0.4

1 時間がない	47.9
2 他にしたいことがある	34.3
3 読みたい本がない	10.7
4 本以外から十分に情報を得られる	33.9
5 本を読むのが面倒	18.9
6 字が見えづらくなった	43.6
7 その他（具体的に：)	11.1
8 特にない	0.7

《すべての方におたずねします。》

問17 どのような方法で、読むための本を入手していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=576) 無回答 0.7

- | | |
|---|------|
| 1 店頭で購入（古本含む） | 73.4 |
| 2 紙の本を通信販売で購入 | 29.7 |
| 3 電子書籍を購入 | 21.7 |
| 4 定額制サービスを利用 | 4.7 |
| 5 公立の図書館や図書室を利用 | 24.3 |
| 6 ブックカフェなどを利用 | 5.0 |
| 7 無料の小説投稿サイトなどを利用 | 8.2 |
| 8 人から借りる、もらう | 13.7 |
| 9 その他（具体的に： ） | 1.2 |
| 10 本は読まない | 7.1 |

問18 過去1年間に、福岡市内の図書館（総合図書館や図書館分館など）をどの程度利用しましたか。

あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=576) 無回答 0.7

- | | | |
|-------------|------------|------|
| 1 週に1回以上 | } → (問20へ) | 2.4 |
| 2 月に1回程度 | | 7.3 |
| 3 年に数回程度 | | 13.4 |
| 4 年に1回 | } → (問19へ) | 6.1 |
| 5 全く利用しなかった | | 70.1 |

問19 《問18で「4」「5」と回答した方におたずねします。》

図書館を利用しない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(n=439) 無回答 0.2

- | | |
|--|------|
| 1 時間がない | 33.0 |
| 2 他にしたいことがある | 17.5 |
| 3 読みたい本がない | 10.0 |
| 4 本は購入して読みたい | 25.1 |
| 5 読みたい本がすぐに借りられない | 8.9 |
| 6 場所を知らない | 10.7 |
| 7 図書館までのアクセスが悪い | 23.7 |
| 8 駐車スペースがない（狭い） | 6.4 |
| 9 利用したい時に開いていない | 6.6 |
| 10 手続きが面倒 | 14.6 |
| 11 衛生管理がなされているか不安 | 10.9 |
| 12 その他（具体的に： ） | 12.1 |
| 13 特に理由はない | 10.9 |

《すべての方におたずねします。》

問 20 どのような図書館であれば、福岡市の図書館をいま以上に利用したいと思いますか。あてはまるものを5つまで選んでください。(N=576) 無回答 2.4

1	本の種類や数が充実している	49.8
2	CDやDVDが充実している	12.5
3	本の貸出し手順が簡単	29.2
4	借りたい本をすぐ借りられる	32.3
5	閉館時も予約した本を受け取れる	12.7
6	本の貸出・返却拠点の場所が便利(アクセスがいい)	39.6
7	おすすめ本紹介などの情報が豊富	11.8
8	調べものサービスが充実している	13.5
9	イベントを定期的実施している	3.1
10	駐車場が十分にある	28.3
11	無料のWi-Fiが利用できる	19.1
12	カフェなどが併設されている	29.9
13	雰囲気や居心地がよい	35.9
14	その他(具体的に:)	6.8
15	特にない	8.5

問 21 図書館は何時からの開館が適切だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=576) 無回答 1.7

1	午前9時から	36.6
2	午前9時30分から	6.6
3	午前10時から	20.8
4	その他(具体的に:)	2.8
5	開館時間を早める方が望ましいが、費用をかけてまでする必要はない	31.4

問 22 図書館は何時までの開館が適切だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=576) 無回答 1.6

1	午後6時まで	18.8
2	午後7時まで	17.2
3	午後8時まで	16.5
4	午後9時まで	15.3
5	その他(具体的に:)	3.3
6	開館時間の延長が望ましいが、費用をかけてまでする必要はない	27.4

問 23 図書館のご利用やサービスに関するご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

図書館要覧

令和5年度

抜粋

福岡市総合図書館

FUKUOKA CITY PUBLIC LIBRARY

2.分館の施設概要

東図書館	〒813-0044 福岡市東区千早4丁目21番45号 なみきスクエア内 TEL(092)674-3982 FAX(092)674-3973 昭和52年7月16日開館(平成28年6月4日現在地へ移転開館) /753㎡(1階) (鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建一部4階建、延11,566㎡)
和白図書館	〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目22番27号 和白地域交流センター内 TEL(092)608-8490 FAX(092)608-8495 平成15年8月9日開館 /644㎡(4階) (鉄筋コンクリート造6階建、延4,924㎡)
博多図書館	〒812-0015 福岡市博多区山王1丁目13番10号 博多市民センター内 TEL(092)472-5996 FAX(092)472-5999 昭和58年8月26日開館 /541㎡(3階) (鉄筋コンクリート造5階建、延4,123㎡)
博多南図書館	〒812-0883 福岡市博多区南本町2丁目3番1号 博多南地域交流センター内 TEL(092)502-8580 FAX(092)502-8579 平成12年1月30日開館 /563㎡(2階) (鉄筋コンクリート造11階建、延18,279㎡うち福岡市部分8,577㎡)
中央図書館	〒810-0042 福岡市中央区赤坂2丁目5番8号 中央市民センター内 TEL(092)751-9534 FAX(092)751-9535 昭和55年3月23日開館 /486㎡(1階) (鉄筋コンクリート造3階建一部4階建、延3,406㎡)
南図書館	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目8番2号 南市民センター内 TEL(092)561-3048 FAX(092)561-3054 昭和53年7月22日開館(令和4年8月27日改築開館) /540㎡(1階) (鉄筋コンクリート造地下1階地上2階建一部4階建、延6,581㎡)
城南図書館	〒814-0142 福岡市城南区片江5丁目3番25号 城南市民センター内 TEL(092)864-4823 FAX(092)864-4824 昭和59年8月1日開館 /562㎡(1階) (鉄筋コンクリート造4階建、延4,068㎡)
早良図書館	〒814-0006 福岡市早良区百道2丁目2番1号 早良市民センター内 TEL(092)845-8835 FAX(092)845-8841 昭和57年2月14日開館 /520㎡(2階) (鉄筋コンクリート造4階建一部5階建、延4,099㎡)
早良南図書館	〒814-0176 福岡市早良区四箇田団地9番1号 早良南地域交流センター内 TEL(092)400-0690 FAX(092)400-0691 令和3年11月6日開館 /665㎡(1階) (鉄筋コンクリート造4階建、延5,182㎡)
西図書館	〒819-0005 福岡市西区内浜1丁目4番39号 西市民センター内 TEL(092)884-3874 FAX(092)884-3895 昭和63年3月1日開館 /453㎡及び児童図書室99㎡ 計552㎡(1階) (鉄筋コンクリート造4階建、延5,208㎡)
西部図書館	〒819-0367 福岡市西区西都2丁目1番1号 西部地域交流センター内 TEL(092)807-8802 FAX(092)807-8884 平成22年7月20日開館 /610㎡(2階) (鉄筋コンクリート造3階建、延9,958㎡)

※ 市民センター内にある分館の開館年月日は、市民センターの開館年月日を表示

3.総合図書館及び分館の入館者数

	令和4年度	令和3年度
総合図書館	576千人	437千人
東図書館	377千人	274千人
和白図書館	94千人	70千人
博多図書館	82千人	69千人
博多南図書館	88千人	72千人
中央図書館	146千人	114千人
南図書館	102千人	-
城南図書館	182千人	145千人
早良図書館	116千人	74千人
早良南図書館	170千人	78千人
西図書館	151千人	115千人
西部図書館	125千人	90千人

*早良南図書館は令和3年11月6日に開館しました。

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総合図書館は、令和2年2月27日から同年3月20日まで臨時休館を行い、また、総合図書館及び分館は、令和2年4月4日から同年5月25日まで臨時休館を行いました。さらに、総合図書館及び分館は、令和3年5月12日から同年6月20日までと同年8月9日から同年9月12日まで休館を行いました。

*南図書館は、南市民センターの大規模改修工事に伴い、令和3年1月5日から令和4年8月26日まで長期休館し、令和4年8月27日開館しました。

総合図書館・分館の活動及び実績

(1) 資料の収集状況

ア 図 書

区 分		令和4年度収集			除籍等	令和4年度末 蔵書冊数	
		購入	寄贈等	計			
総合図書館	一般	一般図書	3,793	1,193	4,986	7,215	722,376
		参考図書	338	90	428	7	68,848
		国際資料	377	499	876	0	79,895
		郷土資料	283	281	564	0	105,277
		小 計	4,791	2,063	6,854	7,222	976,396
	こども	児童研究資料	169	104	273	159	30,955
		児童資料	1,124	207	1,331	1,288	107,194
		小 計	1,293	311	1,604	1,447	138,149
	団体 貸出	一般図書	699	32	731	764	53,430
		児童図書	1,701	25	1,726	5,067	131,208
		小 計	2,400	57	2,457	5,831	184,638
		計	8,484	2,431	10,915	14,500	1,299,183
東	一般図書	898	178	1,076	559	52,262	
	児童図書	559	151	710	375	23,215	
	小 計	1,457	329	1,786	934	75,477	
和白	一般図書	852	207	1,059	442	57,672	
	児童図書	368	37	405	204	24,334	
	小 計	1,220	244	1,464	646	82,006	
博多	一般図書	695	130	825	1,635	42,811	
	児童図書	518	62	580	684	21,290	
	小 計	1,213	192	1,405	2,319	64,101	
博多南	一般図書	900	78	978	207	48,842	
	児童図書	411	31	442	40	27,657	
	小 計	1,311	109	1,420	247	76,499	
中央	一般図書	968	147	1,115	632	44,893	
	児童図書	392	56	448	141	20,062	
	小 計	1,360	203	1,563	773	64,955	
南	一般図書	1,048	248	1,296	524	45,049	
	児童図書	468	29	497	87	18,081	
	小 計	1,516	277	1,793	611	63,130	
城南	一般図書	733	179	912	763	46,122	
	児童図書	453	54	507	296	19,405	
	小 計	1,186	233	1,419	1,059	65,527	
早良	一般図書	712	110	822	2,367	41,530	
	児童図書	552	42	594	835	20,550	
	小 計	1,264	152	1,416	3,202	62,080	
早良南	一般図書	782	134	916	176	43,932	
	児童図書	532	37	569	59	17,020	
	小 計	1,314	171	1,485	235	60,952	
西	一般図書	832	90	922	956	42,672	
	児童図書	386	45	431	125	17,662	
	小 計	1,218	135	1,353	1,081	60,334	
西部	一般図書	790	91	881	560	53,071	
	児童図書	430	33	463	179	17,493	
	小 計	1,220	124	1,344	739	70,564	
分館計		14,279	2,169	16,448	11,846	745,625	
合 計		22,763	4,600	27,363	26,346	2,044,808	

(単位：冊)

区 分		令和3年度末 蔵書冊数	令和2年度末 蔵書冊数	令和元年度末 蔵書冊数	平成30年度末 蔵書冊数	
総合図書館	一般	一般図書	724,605	732,214	737,293	733,346
		参考図書	68,427	68,167	67,768	67,182
		国際資料	79,019	78,321	77,396	76,372
		郷土資料	104,713	103,979	103,062	102,138
		小 計	976,764	982,681	985,519	979,038
	こども	児童研究資料	30,841	30,504	30,042	29,503
		児童資料	107,151	108,381	110,805	109,248
		小 計	137,992	138,885	140,847	138,751
	団体 貸出	一般図書	53,463	52,983	52,318	51,858
		児童図書	134,549	135,741	137,209	135,497
		小 計	188,012	188,724	189,527	187,355
計		1,302,768	1,310,290	1,315,893	1,305,144	
東	一般図書	51,745	50,892	49,135	46,371	
	児童図書	22,880	22,450	22,183	21,812	
	小 計	74,625	73,342	71,318	68,183	
和白	一般図書	57,055	56,540	56,974	55,167	
	児童図書	24,133	23,960	23,847	24,160	
	小 計	81,188	80,500	80,821	79,327	
博多	一般図書	43,621	43,900	45,663	44,390	
	児童図書	21,394	21,073	21,227	21,393	
	小 計	65,015	64,973	66,890	65,783	
博多南	一般図書	48,071	48,645	48,562	47,103	
	児童図書	27,255	27,439	27,191	28,204	
	小 計	75,326	76,084	75,753	75,307	
中央	一般図書	44,410	46,240	45,652	45,332	
	児童図書	19,755	19,819	19,487	20,683	
	小 計	64,165	66,059	65,139	66,015	
南	一般図書	44,277	43,367	44,928	44,089	
	児童図書	17,671	17,366	17,941	18,510	
	小 計	61,948	60,733	62,869	62,599	
城南	一般図書	45,973	46,385	45,946	45,025	
	児童図書	19,194	19,076	18,777	19,302	
	小 計	65,167	65,461	64,723	64,327	
早良	一般図書	43,075	43,429	43,665	42,675	
	児童図書	20,791	20,799	20,518	20,600	
	小 計	63,866	64,228	64,183	63,275	
早良南	一般図書	43,192	18,567	0	0	
	児童図書	16,510	11,944	0	0	
	小 計	59,702	30,511	0	0	
西	一般図書	42,706	42,565	41,896	40,404	
	児童図書	17,356	17,328	17,210	18,039	
	小 計	60,062	59,893	59,106	58,443	
西部	一般図書	52,750	53,176	53,515	52,247	
	児童図書	17,209	17,291	17,143	17,908	
	小 計	69,959	70,467	70,658	70,155	
分館計		741,023	712,251	681,460	673,414	
合 計		2,043,791	2,022,541	1,997,353	1,978,558	

イ 逐次刊行物収集一覧（令和5年4月1日現在）

区分	購 入						その他の寄贈	
	雑 誌		新 聞		法令集 追 録	国会議 事録他	雑誌	新聞
	日本	外国	日本	外国				
総 合	426 種	39 種	41 種	10 種	6 種	2 種	447 種	10 種
東	75 種	-	7 種	-	-	-	5 種	7 種
和 白	93 種	-	8 種	-	-	-	6 種	7 種
博 多	54 種	-	6 種	-	-	-	3 種	4 種
博多南	69 種	-	6 種	-	-	-	2 種	5 種
中 央	52 種	-	6 種	-	-	-	6 種	5 種
南	66 種	-	6 種	-	-	-	6 種	3 種
城 南	62 種	-	6 種	-	-	-	4 種	5 種
早 良	59 種	-	6 種	-	-	-	3 種	6 種
早良南	61 種	-	6 種	-	-	-	2 種	0 種
西	55 種	-	6 種	-	-	-	2 種	5 種
西 部	60 種	-	7 種	-	-	-	3 種	7 種

ウ マイクロフィルム（令和5年4月1日現在）

（単位：巻）

新 聞	雑 誌	明治期 刊行図書	官 報	一般資料	計
6,171	53	16,358	1,079	722	24,383

エ オンラインデータベース（令和5年4月1日現在） タイトル数 7種類

(2) 資料の利用状況

ア 個人登録者数

区分	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	一般	児童・生徒	計	一般	児童・生徒	計	一般	児童・生徒	計
総 合	100,537	19,455	119,992	189,269	23,842	213,111	182,687	24,470	207,157
東	37,099	8,901	46,000	44,493	9,278	53,771	41,583	9,059	50,642
和 白	11,197	2,104	13,301	21,001	2,819	23,820	20,372	2,981	23,353
博 多	12,638	2,583	15,221	21,982	3,353	25,335	20,886	3,357	24,243
博多南	10,759	2,934	13,693	20,674	3,776	24,450	19,775	3,875	23,650
中 央	20,492	2,764	23,256	33,077	3,318	36,395	31,589	3,349	34,938
南	20,221	4,621	24,842	36,690	5,569	42,259	36,313	6,188	42,501
城 南	17,382	4,426	21,808	30,837	5,446	36,283	29,677	5,631	35,308
早 良	10,209	2,397	12,606	16,849	2,873	19,722	16,333	2,991	19,324
早良南	2,993	1,199	4,192	1,628	680	2,308	-	-	-
西	18,830	4,094	22,924	32,529	5,197	37,726	31,343	5,488	36,831
西 部	13,374	3,861	17,235	19,468	4,644	24,112	18,412	4,755	23,167
分館計	175,194	39,884	215,078	279,228	46,953	326,181	266,283	47,674	313,957
アミカス	5,275	638	5,913	6,906	646	7,552	6,474	608	7,082
合 計	281,006	59,977	340,983	475,403	71,441	546,844	455,444	72,752	528,196

イ 個人貸出冊数

区分	令和4年度			自動貸出機		令和3年度	令和2年度	令和元年度
	一般書	児童書	計	利用冊数	割合			
総合	649,915	341,262	991,177	455,471	46.0%	941,403	931,291	1,123,960
東	327,730	210,000	537,730	245,023	45.6%	433,446	450,200	532,347
和白	89,372	48,280	137,652	81,864	59.5%	118,489	126,369	160,798
博多	88,917	68,431	157,348	79,747	50.7%	156,332	134,226	144,929
博多南	84,495	56,921	141,416	62,035	43.9%	125,861	118,994	137,161
中央	180,312	92,872	273,184	104,908	38.4%	234,826	241,988	280,192
南	103,912	80,325	184,237	81,187	44.1%	0	180,612	304,312
城南	186,836	115,445	302,281	146,788	48.6%	277,269	290,953	354,670
早良	126,526	66,941	193,467	85,596	44.2%	131,449	177,208	216,887
早良南	193,266	148,141	341,407	235,840	69.1%	132,609	0	0
西	179,109	98,716	277,825	118,710	42.7%	231,763	256,109	306,537
西部	127,502	89,249	216,751	125,517	57.9%	181,573	209,544	266,777
分館計	1,687,977	1,075,321	2,763,298	1,367,215	49.5%	2,023,617	2,186,203	2,704,610
アミカス・科学館	128,745	40,198	168,943	0	0.0%	143,065	134,045	129,802
合計	2,466,637	1,456,781	3,923,418	1,822,686	46.5%	3,108,085	3,251,539	3,958,372

個人貸出利用者数（参考）

区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総合	267,616	250,124	244,364	301,590	330,387
東	164,895	130,255	136,136	167,885	162,910
和白	39,390	31,828	34,987	45,813	49,571
博多	42,467	39,954	36,200	40,040	39,568
博多南	39,405	34,294	34,414	41,386	43,708
中央	90,227	74,174	77,166	91,371	90,059
南	48,802	0	49,197	85,546	86,586
城南	81,548	73,179	77,966	94,988	97,157
早良	67,038	43,984	59,236	73,255	75,366
早良南	83,979	32,836	0	0	0
西	93,229	75,858	83,791	101,881	102,779
西部	64,560	51,430	59,473	77,126	80,166
分館計	815,540	587,792	648,566	819,291	827,870
アミカス・科学館	73,595	59,658	56,930	58,003	56,145
合計	1,156,751	897,574	949,860	1,178,884	1,214,402

カ 福岡市電子図書館

インターネットを通じて、パソコンやタブレット、スマートフォン等から電子書籍を無料で借りて読むことができる電子図書館を令和3年3月3日に開館した。

利用対象者は、福岡市内に在住している人、又は福岡市内に通勤、通学している人で、有効な総合図書館貸出カードを持っている人である。

○電子書籍の利用状況等(各年度：3月31日現在)

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸出人数	20,110 人	20,715 人	4,272 人
貸出点数	30,094 点	31,197 点	6,997 点
コンテンツ数	10,852 点	9,643 点	7,549 点

※令和2年度は令和3年3月3日～令和3年3月31日までの期間の数値である。

キ 予約（リクエスト）サービス

(ア) 館別予約冊数

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総 合	208,193	244,620	165,384	161,614	158,661
東	160,951	131,057	129,105	127,998	113,975
和 白	30,788	23,218	25,567	27,278	28,291
博 多	40,471	39,929	33,790	32,571	29,538
博多南	38,608	33,041	30,429	32,639	32,555
中 央	104,968	85,959	85,618	84,375	78,509
南	45,931	7	48,290	74,017	69,268
城 南	86,514	78,297	75,848	77,946	76,649
早 良	64,350	40,215	56,436	59,321	56,494
早良南	41,701	14,284	-	-	-
西	103,832	85,357	91,673	94,314	90,825
西 部	58,398	46,181	50,619	54,987	52,884
分館計	776,512	577,545	627,375	665,446	628,988
アミカス・科学館	141,073	113,915	109,478	98,188	94,257
合 計	1,125,778	936,080	902,237	925,248	881,906

(イ) 方法別予約冊数

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
インターネット	976,196	809,493	760,157	735,618	688,129
館内検索機 (OPAC)	65,814	52,187	57,865	84,046	83,301
リクエストカード・ 電話	83,768	74,400	84,215	105,584	110,476
合 計	1,125,778	936,080	902,237	925,248	881,906

(ウ) WebOPAC検索件数

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
アクセス件数	692,610	700,205	717,088	860,606	1,361,398

※ インターネットからの蔵書検索回数

ク 相談事務

(単位：件)

区 分		総合図書館			分 館	合 計
		主題別 部 門	ポピュラー 部 門	こども 図書館		
レファレンス	窓 口	14,672	10,477	6,319	25,893	57,361
	電 話	8,263	-	29	8,771	17,063
	文 書	5	-	0	0	5
	メール	92	-	4	0	96
	小 計	23,032	10,477	6,352	34,664	74,525
利用案内	窓 口	9,061	14,127	3,682	53,547	80,417
	電 話	2,894	4,829	21	18,999	26,743
	文 書	6	-	0	0	6
	メール	36	-	0	0	36
	小 計	11,997	18,956	3,703	72,546	107,202
合計	窓 口	23,733	24,604	10,001	79,440	137,778
	電 話	11,157	4,829	50	27,770	43,806
	文 書	11	-	0	0	11
	メール	128	-	4	0	132
	小 計	35,029	29,433	10,055	107,210	181,727

※ レファレンスの部門別内訳

(単位：件)

区 分	所蔵調査	書誌調査	文献調査	事実調査	計
一 般 参 考 部 門	801	2	210	6	1,019
人 文 科 学 部 門	10,602	254	2,089	76	13,021
社 会 科 学 部 門	1,945	38	363	6	2,352
自 然 科 学 部 門	2,246	41	433	4	2,724
国 際 資 料 部 門	2,599	7	768	170	3,544
国 連 資 料 部 門	224	0	102	46	372
計	18,417	342	3,965	308	23,032

○国立国会図書館のレファレンス協同データベース登録状況

(単位：件)

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事例登録数	104	129	125	110	113
事例被参照数	248,545	315,923	253,524	212,402	129,919

※全国の図書館等がレファレンス事例を登録し、図書館員や一般利用者に提供するシステム

ケ 郵送貸出サービス（障がい者向け）

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用回数	1,038	1,076	955	943	912
貸出冊数	1,916	2,146	2,628	1,770	2,426

コ 複写サービス

(単位：枚)

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
電子（モノクロ） （CD-ROM含む）	148,040	141,344	172,028	249,613	261,799
電子（カラー）	2,426	1,676	1,778	3,875	2,915
マイクロフィルム	14,709	4,876	5,059	9,483	13,299
計	165,175	147,896	178,865	262,971	278,013

(3) その他の利用状況

(ア) マイクロフィルム等閲覧件数

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
マイクロフィルム	567	475	456	1,815	1,814
オンラインデータベース	689	617	753	1,127	1,233
インターネット	1,090	840	126	5,756	7,095

(イ) 国立国会図書館 デジタル化資料送信サービス利用状況

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数（人）	113	132	127	202	160
複写タイトル数（件）	136	396	225	287	515
【再掲】複写枚数（枚）	1,174	3,910	3,289	2,668	2,632

※国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料が対象

（平成26年1月21日～ サービス開始）

(ウ) ボランティア活動実績

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
登録者数	63 人	125 人	46 人	74 人	68 人
1日平均活動人員	4.12 人	3.84 人	3.06 人	4.35 人	5.78 人
1回あたりの平均活動時間	1時間49分	1時間50分	2時間3分	1時間45分	1時間42分
総活動時間	2,170時間	1,564時間	1,545時間	2,070時間	2,856時間

令和3年度
福岡市総合図書館の運営に関する評価

令和4年10月
福岡市総合図書館

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所 属 等
上村 篤子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
岡本 洋幸	公益財団法人九州経済調査協会 総務企画部次長兼BIZCOLI館長
白根 恵子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
豊澤 絵里奈	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)
矢島 啓子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)

○新ビジョン事業計画一覧表

	図書館像	項目	内容
1	誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	分館の新設
2			貸出・返却拠点等の新設
3		利用時間の見直し	休館日、開館時間の見直し
4		図書館イベントの充実	図書館イベントの充実
5		快適な空間づくり	快適な空間づくり
6	さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	資料収集の充実
7			レファレンス(相談)サービスの充実
8			課題解決型支援の充実
9		地域読書活動への支援	団体貸出先の拡大
10			地域読書活動への支援
11		市関連施設の図書室 の相互協力	市施設の図書室との相互協力
12	子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	モデル児童図書目録の配布
13			子どもの貸出カード作成推進
14			ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化
15			読書活動ボランティア講座の強化
16		学校図書館への支援	学校図書館支援センターの充実
17	総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の充実	図書館外施設での映像資料上映事業
18			資料展示事業
19		文書資料部門の充実	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実
20			文学館の利用拡大
21	効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	運営方法の検討
22			図書館ボランティアとの共働の推進
23			職員の育成及び技術向上
24			施設の有効活用などによる財源確保
25		情報発信の推進	情報発信の推進

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念	
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館	
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。	

成果指標					
成果指標	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【令和5年度:90%】	87.2%	88.9%	—	85.4%	89.7%
<総合図書館開館日>	(+1.3)	(+1.7)	—	(-)	(+4.3)
	290日	290日	271日	246日	221日
※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした					
※()は前年度からの増減					
※令和元年度は利用者アンケート調査を実施せず。					

目標数値					
目標数値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①入館者数 【令和5年度:3,500千人】	—	—	2,627,641人	1,640,847人 [986,794] [-37.6%]	1,543,636人 [-97,211] [-5.9%]
②個人貸出冊数 【令和5年度:4,800千冊】	4,167,046冊 [-107,057] [-2.5%]	4,108,973冊 [-58,073] [-1.4%]	3,958,372冊 [-150,601] [-3.7%]	3,251,539冊 [-706,833] [-17.9%]	3,108,085冊 [-143,454] [-4.4%]
③貸出利用者数 【令和5年度:1,400千人】	1,211,296人 [-22,501] [-1.8%]	1,214,402人 [+3,106] [+0.3%]	1,178,884人 [-35,518] [-2.9%]	949,860人 [-229,024] [-19.4%]	897,574人 [-52,286] [-5.5%]
④新規登録者数 【令和5年度: 30千人】	26,207人 [-7,639] [-22.6%]	24,712人 [-1,495] [-5.7%]	22,528人 [-2,184] [-8.8%]	16,558人 [-5,970] [-26.5%]	18,648人 [2,090] [1.2%]
※入館者数については、平成30年度に装置の不具合が判明したため過去の数値も非表示。					
※[]は前年度からの増減。					
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度は総合図書館のみ令和2年2月27日から同年3月20日まで臨時休館を行い、また、令和2年度は総合図書館及び分館が、令和2年4月4日から同年5月25日まで臨時休館を行った。					
※南図書館は、南市民センターの大規模改修工事に伴い、令和3年1月5日から令和4年8月上旬(予定)まで長期休館を行っている。					

内部評価	事業別評価	
<評価> 成果指標である「図書館サービスの満足度」は、新型コロナウイルス感染症の影響で開館日が減少し、目標には達しなかったものの、令和2年度と比較すると持ち直し、目標達成まであと一步のところまできている。 目標数値も、ほとんど各項目で前年度から減少するも、その下げ幅は小さくなり、新規登録者数はプラスに転じるなど回復の兆しもある。 事業別評価については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いつつも、図書館としてサービス等を提供できる範囲で提供したこともあり、前年度より評価が高くなった。 <対応> 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、福岡市総合図書館新ビジョンの推進及び目標達成に向けて、計画的に事業を実施するとともに、図書館サービスの向上を図るための取組みを推進していく。	A評価	14事業
	B評価	11事業
	C評価	—
	D評価	—

外部評価

・コロナ禍の下、制約のある中で努力されていると思います。分館も少しずつ増えている点も喜ばしい。しかし、福岡市全体を見渡した図書館行政のグランドデザインはどのようになっているのかが、明確でないのが残念です。

・限られた予算の中で工夫をこらし、取りくんでいる姿勢は評価できる。だが、毎年、利用者、貸出冊数は全体的に減る一方であり、さらなる施設のリニューアルなど大きなテコ入れが必要と考える。そのための財源確保に努めてほしい。また、未来へ希望をつなぐためには、子どもたちへの働きかけが重要な鍵であり、子どもが本に親しむ読書を楽しむための環境の整備、児童専門の司書の育成が不可欠である。そのための予算の確保にも努めてほしい。

・コロナ禍でも多様な取り組みがなされており、内部評価に違和感はなかった。今年度はコロナ禍を前提とし、ウェブ上でのイベント開催や情報発信を進めてほしい。

・図書館は市民にとって、どの世代でも、どの立場にあっても公平に存在し訪れることができる公共施設だと思う。
子どもにとっては、言葉のスタートライン、学生にとっては学習資料や人生を豊かにする図書の包蔵地、働く世代にとっては文化、高齢の方々にとっては興味や好奇心の引き出しとして、様々な利用のされ方をしているので、もっと中身を外にアピールすると良いと思う。特にレファレンス機能は、今やデジタルで正しい回答が即、得られる時代に人が人の為に回答を提供できる場として、素晴らしい活動だと思う。もっとさまざまな機会において周知した方がよいと思う。以前、千歳の図書館に行ったとき、レーザーディスクがあり、借りるとその場で視聴覚ルームで見ることができた。新しい図書館の楽しみ方を学んだ。しみんはいろいろな声を持っていて、全てに対応するのは不可能と思うが「こども」「デジタル」「中身のアピール」を更に進めてほしいと思う。

・環境整備については、図書館周辺の除草や館内の貼紙の多さが指摘されており、確かに注視すると目立っていると思われる。シネラの借出方法については、わかりやすい位置に提示する等の工夫が必要である(シネラが図書館内では横側にあり、正面玄関から入館し図書を借りる目的だけの方は、素通りする可能性があるため)。また、分館においては、あらゆるジャンルの本を置いてあるので、スペースの問題もあるが、こども用の図書が少なく感じるので、子どもが集まる場所(科学館など)に、こども図書専用の図書館があってもいいかと思う。

事業別評価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価	10	A評価	14	A評価	12	A評価	8	A評価	12
B評価	15	B評価	11	B評価	13	B評価	17	B評価	13
C評価	0	C評価	0	C評価	0	C評価	0	C評価	0
D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	分館の新設				
事業計画	早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【早良南図書館】 開館準備			◇開館	
令和3年度					
計画	新たな拠点となる早良南図書館開館の円滑な運営に向けて、関連する事業者、関係部署等と調整を図る。また、開館後は指定管理による管理運営により、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。				
取組状況	早良南図書館の開館に向け約6万冊の図書資料収集を行うとともに、図書館システムの構築と設置を行い、令和3年11月6日より、指定管理者による運営管理を開始した。開館時には一時的な混雑も見られたが、指定管理者による人員配置と利用者対応により、特に混乱なく開館後の運営が行われた。				
令和4年度					
計画	円滑な分館運営を行うため、指定管理者と協議を行いながら調整を図っていく。また、指定管理による管理運営により、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。				
内部評価 (令和3年度)					
<p>新たな分館となった早良南図書館の開館(令和3年11月6日)においては、計画どおりに指定管理者による管理運営を開始した。また、図書館づくりにおいては、関係部署と連携を図りながら進め、開館前日までに図書資料収集、図書館システムの設置等、図書館運営に必要な準備を整えた。全体的に計画どおりに進んだためA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・早良南図書館、住民に好評のようで喜ばしい。分館も増えてきたが、人口比で考えるとまだ足りない。今後も分館とまでいなくても市民の身近な所に読書施設を計画的に増設するようお願いしたい。 ・令和3年11月に開館した早良南図書館の来館者数や満足度が高いことは高評価である。8月27日にリニューアル開館の南図書館にも期待している。更なる取り組みに期待してA評価とした。 ・計画どおりに進んでいるためA評価。 ・南図書館(R4.8.27~)のRE-OPENにむけての情報収集、開示に努力されたと思われる。 ・事業計画通り開館できたのでA評価。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討、協議				
	◇設置				
令和3年度					
計画	市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな拠点となる早良南図書館を開館し、指定管理者による管理運営を実施した。 ・既に設置済みの返却拠点については、コロナ禍による協力事業者の事業統廃合等の影響で返却ポスト・人的な返却対応見直しが行われる中で、拠点数の維持に努めた。 				
令和4年度					
計画	既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				

内部評価 (令和3年度)	
<p>令和3年度は、新たな拠点となる早良南図書館の開館を中心とした取り組みを実施。その他での新たな拠点の設置については、検討中であるが、具体的な設置は進んでいないことからB評価とする。</p>	B

外部評価 (令和3年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・返却できる所(返却ポスト設置)を増やすことも必要ではないか。例えば公民館なども。 ・返却ポストを公民館に設置するなどの取り組み工夫が求められる。貸出ポストは特に設置が進んでいない。 ・計画どおりに進んでいるが、南図書館以外の拠点新設が不十分。 ・更なる返却拠点の拡充に期待する。 ・貸出・返却拠点の設置場所の周知にも力を入れていただきたいためB評価。 	<p>A : 0</p> <p>B : 5</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	利用時間の見直し		
内容	休館日、開館時間の見直し				
事業計画	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【休館日】 検討	段階的に実施			
	【開館時間】 検討	段階的に実施			
令和3年度					
計画	これまでの検討結果及び市政アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
取組状況	図書館が実施した利用者アンケート調査(令和4年5月)の結果では、「開館時間及び休館日」についての評価は、満足度89.7%であった。 令和3年11月に開館した早良南図書館は東図書館と同じ休館日と開館時間で運営している。				
令和4年度					
計画	令和3年度実施できなかった市政アンケート及び利用者アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
内部評価 (令和3年度)					
利用者アンケートで図書館利用者のニーズの把握はできたが、市政アンケート(広聴課所管)で図書館項目の質問はなく、市民全体のニーズを十分に把握することができなかった。					B
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・駅と直結している分館などでは、通学・通勤者の利便性を考慮して開館時間を設定することが望ましい。 ・東図書館、早良南図書館の利用時間の見直しにより来館者数、貸出冊数、満足度など順調に伸びている。このことを踏まえ、他の分館についても見直しの検討に着手されたい。そのための財源(予算)の確保を求める。 ・利用者アンケートが予定通り実施できたためB評価。 ・市民ニーズの把握が難しかったためB評価。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実	
内容	図書館イベントの充実			
事業計画	子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、幅広い層に向けて多様なイベントを実施し、これまで図書館を利用していなかった層への訴求や、参加者の満足度の向上を目指し、引き続き、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。 また、市の関連部署と連携したイベント、総合図書館の映像資料部門や文書資料部門、各分館との連携による企画を実施していきます。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	幅広い層へのイベント実施			
令和3年度				
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながら、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを引き続き企画・実施する。			
取組状況	新型コロナウイルスの感染拡大により臨時休館となるなど、企画したイベントを中止せざるを得ないこともあった。しかしながら、「図書館マンス」の「よりそう図書館」をはじめ、「こどもの読書週間」でのイベント、おはなし会の開催、SDGsの関連本展示や起業・経営相談会など課題解決型支援も実施に努めた。また、高校生向けの国連講演会は、会場参加にオンライン参加も加えて開催し、地球の未来について高校生が活発に議論を行い、高等学校ビブリオバトル福岡県大会では、17校が参加して読みたくなる本の紹介が熱心に行われた。さらに、ゲームで蒙古襲来の歴史を紹介する講演会も実施した。中村哲氏の2周年忌記念事業には、多くの参加者を得た。11月に開館した早良南図書館では角田光代氏による講演会なども開催した。2月には「図書館でねこ歩き」の統一テーマで猫に関するイベントや展示も行うなど、コロナ影響下ででき得る限りイベント実施に努め、令和2年度よりもイベント開催が増加した(令和2年度102回、1,726人)。また、こども図書館での調べ学習に役立ててもらうため、図書館の利用の仕方をおしえる動画配信をYouTubeで行うなど、代替策の工夫に努めた。 読書行事等イベント 総合図書館・分館 238回 4,151人 展示(総合図書館)135回			
令和4年度				
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながらも、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に昨年実施できなかった事業をはじめとする読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。絵本月間を12月に創設し、読書フォーラムを中心とした読書普及イベント等を実施する。			
内部評価 (令和3年度)				
新型コロナウイルス感染拡大の厳しい状況が続く、イベントを止めたり、縮小したりするものもあったが、状況を踏まえながら、オンラインや動画配信も活用してできるだけ実施に努め、読書活動の促進や情報発信に取り組むことができたためA評価とする。				A
外部評価 (令和3年度)				
・感染防止に努めながら、様々なイベントに取り組まれている点、評価します。 ・コロナ禍で難しい状況の中、様々な取組をされていることは評価できる。一方、特に総合図書館で子どもたちへのおはなし会がほとんど行われなかったことは残念である。 ・多様なニーズに応じてイベントが実施されているため。 ・市民に関心を抱かせる内容のイベントがあるのが良い。福岡出身の作家のイベント(プレイディみかこさんなど)がオンラインであると楽しそう。現在、ニューヨーク公立図書館という映画が話題を呼んでおり、他のエリアの図書館を紹介しながら比較対照するイベントがあるとおもしろそう。(建築や中での市民のくつろぎ方、人気の本など) ・コロナ感染状況を踏まえながら可能なことに取り組まれた。				A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	快適な空間づくり				
事業計画	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館(6カ月程度)にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和3年度					
計画	引き続き、計画的に設備更新工事を実施する。また、新型コロナウイルス感染症対策による全市的な工事の時期等の見直しの指示等を踏まえながら、館内レイアウトや更新工事時期の検討を行う。				
取組状況	令和3年度設備更新工事は、スプリンクラー消火設備、中央監視設備、監視カメラを行った。施設設備における大規模更新工事の実施内容及び館内レイアウトの検討のため、基本計画策定業務委託を実施した。				
令和4年度					
計画	引き続き、計画的に設備更新工事を実施する。新型コロナウイルス感染症対策による全市的な工事の時期等の見直し指示等を踏まえ、更新工事の工程や工事期間中の館内体制等、工事実施時における課題を検討する。				
内部評価 (令和3年度)					
<p>長期保全計画に基づき計画的に設備更新工事を実施した。 ー休館を伴う設備更新の実施に向け基本計画策定業務委託を実施し、設備更新工事の実施内容及びレイアウト変更内容について整理できた。 よって、A評価とする。</p>					A
外部評価 (令和3年度)					
<p>・具体的なレイアウトを示してほしい。 ・計画どおりに進んでいるためA評価。 ・雑草が目立ち、清潔感がいまいちだし、エントランスの貼紙がちぐはぐ。また、統一感に欠けている。動線のつくり方に工夫ができないか。 ・「防災」「安全」という観点での対策推進については評価できる。 ・快適な空間づくりのためのレイアウト変更等行われているためA評価。</p>					A : 2 B : 3 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	資料収集の充実				
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。 また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	資料収集方針に沿った資料収集				
令和3年度					
計画	総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行っていくとともに、市民ニーズにも対応していく。				
取組状況	公共図書館としての役割を発揮するため、総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行うとともに、市民ニーズに応えるよう、予約待ち人数の多い図書の複本購入等を実施した。 令和3年3月に開館した電子図書館については、本館・分館読書相談員全員で選書を行い、利用者ニーズの高いコンテンツの収集に努めた。(コンテンツ数: 令和2年度末 7,549点 ⇒ 令和3年度末 9,643点)				
令和4年度					
計画	市民ニーズに対応しながら、総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行っていく。 また、電子図書館のコンテンツ充実に努める。				

内部評価 (令和3年度)

限られた予算の中で、総合図書館及び分館の資料収集に努め、市民ニーズのある予約待ち人数の多い図書の複本購入等も実施した。また、電子書籍については、コンテンツ数はまだ十分ではないが、利用者ニーズの高いコンテンツを提供できたことからA評価とする。	A
--	---

外部評価 (令和3年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・児童書について。モデル児童図書等についてが、傷んでしまった場合に買い替えることが望ましい。 ・予算の確保に努めてほしい。一般書は多少増えているものの調査に欠かせない資料が十分でないのではないかと危惧している。 ・利用者ニーズに沿ったコンテンツの収集が進んでいるため。 ・電子書籍の拡充努力は評価できる。 ・傷んだ本の修繕や買い替えをしているとのことだが、電子書籍のコンテンツがまだ不十分と感じる。 	A : 3 B : 2 C : 0 D : 0
---	----------------------------------

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
事業計画	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	レファレンスサービスの実施				
	令和3年度				
計画	レファレンスにおける電子メールの利用促進をより一層図るとともに、さらにHPの活用を進める。				
取組状況	<p>窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施し、令和3年度の主題別部門及び文書資料部門のレファレンス件数は合計で31,156件(2年度:25,140件)となった。</p> <p>利用者が来館しなくてもサービスが利用できるよう、元年度に国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用して、当館のHP上でレファレンス事例を参照できるようにしているが、それに加え、3年度は、HPの「テーマ資料」検索機能をパスファインダーとして活用し、利用者の関心が高い「SDGs」や「がん情報」などのテーマについて、お勧めの図書を紹介した。「テーマ資料」検索では、本の予約まで可能である。</p>				
令和4年度					
計画	レファレンスについて、窓口での対面など従来の方法に加え、HPや電子メールなどデジタル化を進める。				

内部評価(令和3年度)

新型コロナウイルス感染拡大による2年度のレファレンス件数の低下から回復が進んだこと、また、電子メールの利用とともに、ホームページを活用した調べものについての機能充実など、レファレンスにおけるデジタル化の活用を進めたため、A評価とする。	A
---	---

外部評価(令和3年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスの存在自体を広く市民に伝達する方策を考える必要がある。 ・コロナ禍において、電話とメールでHPからのレファレンスの重要度は増している。さらに使いやすくレファレンスしてみようと気軽に思えるようなPRが必要と考える。 ・レファレンス件数は順調に増加しているためA評価。 ・利用しやすいようデジタル化を進められたためA評価。 	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0
---	----------------------------------

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実			
内容	課題解決型支援の充実					
事業計画	ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供					
令和3年度						
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に配慮しながら、医療、ビジネス、行政などの課題解決支援として、関係部局や関係機関等と協力して、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。					
取組状況	<p>ビジネス支援として、中小企業診断士による起業・経営相談会を開催したが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止が多く相談件数も少なかった。</p> <p>(年間開催数) 総合図書館 17回 相談 4件 (毎月第2・第4日曜日) 東図書館 6回 相談 1件 (毎月第1・第3日曜日)</p> <p>医療支援として、総合図書館、分館で九州がんセンターや済生会福岡総合病院から医師等を講師として招き講演会の準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。</p> <p>令和3年3月に開館した電子図書館で、健康医療に関するコンテンツを提供したり、HPの「テーマ資料」検索を活用し、がん情報に関する本を紹介した。</p> <p>行政支援として、「SDGs」や「選挙と政治」、「世界水泳」「児童虐待防止キャンペーン」などをテーマとして、関係部局と連携して展示を行い、関係の本の紹介やパンフレットの配布などにより、情報提供を行った。特に重要な課題である「SDGs」については、HPの「テーマ資料」検索で、国連が目指す17の開発目標全てを網羅し、1,185冊を紹介した。</p>					
	令和4年度					
	計画	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を行いながら、関係部局や関係機関等と協力して、医療、ビジネス、行政などの課題解決支援として、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。				
内部評価 (令和3年度)						
<p>行事については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、がん講演会の中止、起業・経営相談会の一部中止など、十分に実施できなかった。</p> <p>一方、行政支援として、SDGs等の関連書籍の展示やHPでの紹介とともに、電子図書館やHPのテーマ資料検索などデジタル化により健康医療関係の本を紹介するなど、できる限り取り組みを進めたので、B評価とする。</p>					B	
外部評価 (令和3年度)						
<ul style="list-style-type: none"> ・リモート開催の道も探してほしい。 ・コロナ禍で、できる限りの取り組みが実施されているため。 ・市民の交流の場への発展に期待。 ・図書館は他の公共施設と異なり全ての世代にあらゆる情報を提供できる場である。 ・行政支援としての取り組みが行われたためB評価。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0	

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	団体貸出先の拡大				
事業計画	地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	団体貸出先の拡大				
令和3年度					
計画	令和5年度目標登録団体数の420団体に向けて取り組みを進める。				
取組状況	読書活動ボランティア講座等の催事機会に団体貸出制度の案内を行うなどの取り組みを行い、団体貸出の登録団体は令和3年度末時点で441団体となり、令和2年度に比較して22団体増加した。 また、登録団体に対し、新着本の紹介等を行い、貸出図書のさらなる利用の促進に努めた。				
令和4年度					
計画	登録団体数は、令和5年度目標の420団体を達成したが、公民館の登録は公民館全体の約半数であり、地域での貸出機会の拡大を目指し、さらに登録数の増加に向けた取り組みを進める。				

内部評価 (令和3年度)	
令和5年度目標の420団体登録を達成できたためA評価とする。	A

外部評価 (令和3年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・団体登録数が着実に増えていることは評価できる。それに見合った予算の確保を求める。 ・目標値を達成したため。 ・目標達成のためA評価。 	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	地域読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和3年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、関係各課と連携して文庫活動の活性化や文庫間の交流促進を図る事業等を行う。				
取組状況	<p>地域文庫の交流会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により中止となったが、地域読書活動を勧めるため、情報誌「青い鳥だより臨時号」を刊行し、全文庫に配付した。</p> <p>また、公民館の運営を支援する部署と連携し、団体貸出における公民館の登録数を令和2年度と比較し9団体増やし71団体とした。</p> <p>さらに、公民館では親子を対象にスタンバード文庫を活用した読み聞かせ講座を開催した(2年度:20館、280人 ⇒ 3年度:25館、346人)。</p>				
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、公民館の運営を支援する部署などの関係各課と連携して、文庫活動の活性化を図るとともに、文庫間の交流については、コロナ影響下においても工夫に努め促進する。				
内部評価 (令和3年度)					
地域文庫交流会は中止したが、地域読書活動への支援として情報誌の臨時配付やスタンバード読み聞かせ講座の実施とともに、団体貸出を行う公民館の拡大が図れたためA評価とする。					A
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模のボランティアのための講座の必要性が感じられる。 ・公民館でのスタンバード文庫読み聞かせ講座は評価できる。 ・地域文庫交流会を分散開催するなど他の方法も検討する時期に来ていると考える。 ・ほぼ計画どおりに取り組みが進んでいるため。 ・さらにボランティアの方が活躍する場が増えると良いと思う。 ・団体貸出の拡大ができたためA評価。 					<p>A : 2</p> <p>B : 3</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	市関連施設の図書室の相互協力				
事業計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	相互協力の実施				
令和3年度					
計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を継続していく。				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会議員及び行政職員の調べもの支援のため、議会図書室を通じて図書資料の貸出を実施した。 ・図書館利用者の利便性を図るため、ふくふくプラザで図書資料の返却受付を実施(福祉図書・情報室窓口での返却受付、施設入口に返却ポスト設置)し、福岡市科学館のサイエンスナビ(図書室)においては、図書資料の貸出・返却の受付を実施した。 				
令和4年度					
計画	議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を継続し、議員や職員、市民への周知を図る。				

内部評価 (令和3年度)

議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を行い、市関連施設との連携を継続実施できたためB評価とする。	B
--	---

外部評価 (令和3年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・もう一歩ふみ込んだ協力、例えば、科学館の展示、催しにあわせた連動する企画協力がもっとあればと思う。 ・相互協力が進んでいるため。 ・市関連施設に足を運んだ際、利用できるように周知も行ってもらいたい。 	A : 0 B : 5 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	モデル児童図書リストの配布				
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作成・配布				
令和3年度					
計画	モデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、掲載図書を展示し貸出を促進する。				
取組状況	<p>モデル児童図書リスト(前年の受入図書の中から選定した本)を配付(約3,800部)し、カウンターでのレファレンスのツールとしても有効に活用した。</p> <p>また、従来のモデル児童図書目録掲載図書(S62年~H27年に作成)及びリスト掲載図書の展示、貸出を行うとともに、新たに総合図書館(本館・分館)の司書おすすめの絵本を紹介した冊子(「司書が選ぶ100冊の絵本」)を作成した。</p> <p>[参考]令和2年度の調査では、モデル児童図書リストに掲載した図書は、年間1冊当たりの貸出回数の平均は、幼児用91回、小学1・2年用90回、小学3・4年用38回、小学5・6年用41回と貸出が多かった。</p>				
令和4年度					
計画	令和4年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館で展示を行い、貸出を促進する。				

内部評価 (令和3年度)	
モデル児童図書リストの配付、モデル児童図書の展示、紹介等を計画通り行い、掲載図書の貸出を促進することができたためA評価とする。	A

外部評価 (令和3年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・リストに掲載されている図書を各分館で揃えるなど、子どもの手に渡りやすくする工夫がなされることが望ましい。 ・モデル図書リストの選定、配付は評価できる。 ・各分館にも副本もそろえて配置してほしい。 ・計画どおりに進んでいるためA評価。 ・著作権や著作権の問題もあるので難しいと思うが、電子図書の中からもモデル児童図書の選出があると、なお良いと思う。 ・なかなかモデル児童図書リストの本を借りれない。電子書籍も対応していないことからB評価。 	<p>A : 4</p> <p>B : 1</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	子どもの貸出カード作成推進			
事業計画	図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	検討, 協議	実施		
令和3年度				
計画	開催可能な図書館催事や講座、団体貸出し、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出しカードの作成を促す声かけに努める。小学生読書リーダー養成講座は、令和3年度においても「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した実施を各小学校に依頼し、貸出カードの作成案内も行う。			
取組状況	令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により小学生の図書館見学や小学生読書リーダー養成講座など図書館を会場とした催事が中止となり、昨年同様、動画等の資料により各小学校へ配信される「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用し、小学生読書リーダー養成講座を行い講座参加者(37校509名)へ貸出カードの作成案内を行った。また、学校図書館支援センターによる学校図書館訪問時に、図書館の利用案内とともに貸出カードの作成案内を行った。			
令和4年度				
計画	図書館催事や講座、団体貸出、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出カードの作成を促す声かけに努める。毎年実施している小学生読書リーダー養成講座は、令和4年度においても動画等の資料により、「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した実施を各小学校に依頼することとし、その際に併せて貸出カードの作成案内を行う。			
内部評価 (令和3年度)				
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、積極的な推進はできなかったが、小学生読書リーダー養成講座の小学校での実施などの機会を捉えて、貸出カードの作成案内に努めたため、B評価とする。				B
外部評価 (令和3年度)				
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが行きやすいと思われる分館と連携して取り組むことが望まれる。 ・ほぼ計画どおりに進んでいるため。 ・各小学校の活動を地域の図書館で紹介してはどうか。 ・学校によっては貸出カード作成の力の入れようがバラつきがあると思われる。 				A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化			
事業計画	広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	<div style="text-align: center;"> 広報・イベント・資料収集の充実 ➤ </div>			
令和3年度				
計画	新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、電子図書館も活用してヤングアダルト向けに図書の紹介を行うことに加え、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施する。			
取組状況	<p>ヤングアダルト向けの図書の収集やお勧め本リストの配付など従来の方法に加え、令和3年3月に開館した電子図書館を活用し、ヤングアダルト向けの特集で、コンテンツを提供した。また、HPの「テーマ資料」検索において、関連書籍を紹介した。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染拡大の中、感染対策を行って、会場参加とオンライン参加を合わせて高校生向け国連講演会を開催し、地球の未来について高校生が活発に議論を行った。また、高等学校ビブリオバトル福岡県大会には17校が参加して、高校生が知的書評合戦を熱く繰り広げた。さらに、ゲームで蒙古襲来の歴史を紹介する講演会も実施した。</p>			
令和4年度				
計画	電子図書館を活用しヤングアダルト向けに図書の紹介を行うとともに、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施し、図書館の利用促進につなげる。			

内部評価 (令和3年度)	
<p>新型コロナウイルス感染拡大の中で、電子図書館によるヤングアダルト向けのコンテンツの提供や高校生向け国連講演会、高等学校ビブリオバトル福岡県大会の開催など、様々な方法で読書活動の促進や情報提供に取り組んだため、A評価とする。</p>	A
外部評価 (令和3年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県内在住のヤングアダルト向きの作品の作家さんと高校生の交流会なども考えてみたらどうか。 ・コロナ禍においても、参加しやすいように様々な取りくみをされたことは評価できる。 ・一部の読書好きの中高生へのアピールにとどまるのではと思われる。もっと中高生に向けた取りくみも考えてほしい。 ・多様な取りくみが実施されているため。 ・図書館へ本の貸出・返却に行った際、ヤングアダルト層の方を見かけることが少ない。 	A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	読書活動ボランティア講座の強化				
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	読み聞かせ講座の実施				
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施				
令和3年度					
計画	令和3年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により計画を変更し、9月～10月に絵本の読み聞かせコースのみを実施する。 講座受講者には、受講後に地域文庫MAPを配布し、地域での活動参加につなげる。				
取組状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止によりいずれのコースも開催中止となったが、講座の講師に特別寄稿いただき、情報誌「青い鳥だより臨時号」を作成し図書館ホームページにより一般公開した。 地域文庫MAPについては、各文庫の現在の活動状況の把握に時間を要し、令和4年度に更新して配布することとした。				
令和4年度					
計画	令和4年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施する。 講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。				

内部評価 (令和3年度)	
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により講座は実施できなかった。 なお、講座の講師に特別寄稿いただき作成した情報誌「青い鳥だより臨時号」を市内全ての公民館及び団体貸出の登録団体に送付するとともに、図書館ホームページに掲載し、ボランティアの知識の向上と参加意識の醸成に努めたため、B評価とする。</p>	B

外部評価 (令和3年度)	
<p>・読書活動ボランティア講座は実習やおさらい会もあり充実した内容になっている。 ・コロナ感染拡大により中止せざるを得ないこともあるが、計画を毎年されることを望む。期待を込めてA評価とした。 ・コロナ禍で、できる限りの取り組みが実施されているため。 ・読み聞かせボランティアの方の活躍状況がわかるように情報開示をしてみてもどうか。人が活躍しているのを他の人が見るのは良い刺激になると思う。 ・コロナ感染拡大防止のため講座はできなかったが、その中でも情報誌の送付などの取り組みを行った。</p>	<p>A : 1 B : 4 C : 0 D : 0</p>

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	学校図書館への支援		
内容	学校図書館支援センターの充実				
事業計画	前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援 				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
令和3年度					
計画	学校の新型コロナウイルス感染防止策の状況も踏まえ、より学校現場の意向、要望に沿った支援に努める。また「小学生読書リーダー養成講座」については、図書館での実施は困難であるため、昨年度と同様に「福岡TSUNAGARUCloud」を活用した講座を各小学校で実施する。 読書に困難がある児童・生徒のため、マルチメディアDAISY等の貸出資料の貸出を行う。				
取組状況	令和3年度は93回の訪問を実施した。小学生用の学習支援用図書貸出については、70校から184回の利用があり、6,763冊の貸出を行った。中学生用の学習支援用図書貸出については、1校から1回の利用があり、5冊の貸出を行った。 市内小学校5・6年生を対象に受講した児童を「小学生読書リーダー」に認定する「小学生読書リーダー養成講座」については、動画等の資料により各小学校へ配信される「福岡TSUNAGARU Cloud」を進め、6月から12月の期間に37校で実施があり、受講者509名全員を認定した。 特別支援学校については、各校と支援方法や内容の協議を重ね、おはなし会やブックトークの実演、書架設置や学校の特徴や状況に合わせた選書や配架の工夫など、具体的な支援を行った。また、特別支援学校高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を作成し配付した。 マルチメディアDAISYは、点字絵本やLLブック等も含めタッチルックセットとして整備し小学校4校に貸出を行った。				
令和4年度					
計画	学校現場の意向、要望に沿った支援をすすめると共に、学校図書館支援センター事業の認知、周知に努める。また、新設校の計画段階からの助言や、読書に困難がある児童・生徒のため、マルチメディアDAISY等の貸出資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。				

内部評価 (令和3年度)	
中学校向け支援については更なる周知が必要。小学校向け支援については貸出登録校数の増加など安定的に貸出を行い、相談対応や訪問など年度を通して実施した。特別支援学校向け支援については各校の状況に応じた支援に努めた。中学生向けには課題はあるが、全般的に事業の認知と活用が進むとともに新設校や建替校などの学校図書館整備への助言も行っており、A評価とする。	A

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校向けの支援については、周知が進み利用が増え、学校訪問数も着実に増えており評価できる。 ・特別支援学校への工夫をこらした取り組みもそのまま継続してほしい。 ・中学校向けの取り組み、周知強化が求められる。 ・多様な取り組みが実施されているため。 ・子どもが借りたくても、いつも借りられて本がないと言っている。 	<p>A : 4</p> <p>B : 1</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>
--	---

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	図書館外施設での映像資料上映事業				
事業計画	収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	手法検討	上映事業の実施			
令和3年度					
計画	希望申し込みがあった11館の公民館と具体的な日時や上映作品等の協議を行い、新型コロナウイルス感染症対策を検討しながら、順次上映会を実施していく。				
取組状況	総合図書館で収蔵するアジア映画等を広く活用するため、館外上映や貸与に必要な著作権取得を交渉、ブルーレイディスクを製作し、R3年度末には7作品のアジア映画が館外で上映できるようになった。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による公民館休館の影響もあったが、日程を延期して10公民館において上映会を開催し、延べ186人の市民の参加があった。				
令和4年度					
計画	11公民館において上映会を予定(4月1日現在)しているが、他の公民館についても利用を打診するなど、上映会の開催数を増やしていく。 過去のアジアフォーカス・福岡国際映画祭観客賞受賞作品を中心に、2作品程度選定して、著作権処理、ブルーレイディスク製作を行い、上映可能作品を増やしていく。				
内部評価 (令和3年度)					
新型コロナウイルス感染症の感染拡大による公民館の休館があったが、日程を延期して、上映会予定の11館のうち10館は年度内に開催することができた(1館は日程の都合がつかず4年度に実施予定)。 観覧者アンケートでは、映画に共感したといった記述のほか、近くの公民館で鑑賞できるメリットや当該国の映画を初めて見たといった記述もあり、総合図書館での上映に比べ幅広い層に見てもらえていることがうかがえる。 以上のことからA評価とする。					A
外部評価 (令和3年度)					
・身近な公民館で映像資料の上映が行なわれ件数が増えていることは評価できる。 ・計画どおりに進んでいるため。 ・映像資料の貸し出しをもっとわかりやすくしてほしい。 ・自主上映の場として、もっとシネラを提供してほしい。 ・アジアフォーカス・福岡国際映画祭観客賞受賞作品等は内容が難しいものもあるかと思うので、親子で楽しめる作品も増やしてほしい。					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	資料展示事業				
事業計画	展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	多様な資料の展示				
	展示エリアの検討		展示エリアの整備		
令和3年度					
計画	令和3年6月の「ベトナム映画の現在」合わせて大規模なポスター展示を行う計画。新型コロナウイルス感染症の感染状況を考えながら展示プランを検討していく。新しい展示エリアの検討については現在検討されている大規模改修に併せて行えるようにする。				
取組状況	新型コロナウイルス感染症の拡大による休館のため、令和3年6月に予定していたポスター展示はできなかったが、令和4年1月の「香港映画特集」に合わせて香港映画に関するポスター、チラシ、書籍などの展示と香港で活躍した福岡出身の映画カメラマン西本正の紹介などの企画展示を、ショーケースを使って実施した。新しい展示エリアの検討については、ビデオライブラリーのスペースを使った展示計画について、館内関係者で協議を行った。				
令和4年度					
計画	映像資料展示については、定例の上映映画ポスター展示に加え、映像ホール・シネラ内も使ったポスター展示、ビデオライブラリー内でのスチール写真展示、9.5mmパテベビー誕生100年を記念した映写機器の展示を行う。 展示空間の新設については、引き続き検討を進める。				
内部評価 (令和3年度)					
映像ホール・シネラでの上映に合わせた、総合図書館収蔵のポスター、スチール写真、冊子等の展示により、映像資料の活用を行うことができた。展示空間の新設については、改修計画案を具体的に館内関係者で検討協議を進めた。以上のことから、B評価とする。					B
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、スチール写真などの展示空間の新設や改修の計画を具体化してほしい。 ・ほぼ計画どおりに進んでいるため。 ・今後に期待する。 ・可能な限りの取り組みを行われたためB評価。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実		
内容	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実				
事業計画	文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	デジタルデータ化・活用の推進				
	デジタルデータの作成・蓄積, ホームページ掲載・展示・市民提供等				
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)				
	検討	システムの拡張・情報提供			
令和3年度					
計画	引き続き、デジタルデータ掲載によるホームページのコンテンツ充実を図る。 歴史的公文書に係る展示をデジタルデータ化した資料を活用して定期的に行い、公文書館活動について普及啓発を図る。 引き続き歴史的公文書管理システム等について関係部局と協議検討を行う。				
取組状況	ホームページの「コレクション紹介」に2点の古文書資料を掲載した。 古文書資料に関する情報発信を目的とした「古文書だより」を創刊し、配布したほか、ホームページにも掲載した。 これまで、紙製本で毎年発行してきた古文書資料目録に代えて「古文書資料収蔵品データベース」を構築し、令和3年度に整理・保存した資料のほか、過去に発行した目録に掲載したデータの一部公開を開始した。 東京オリンピック開催に合わせ「スポーツシティ福岡展」を開催し歴史的公文書等の展示を行い、展示概要のしおりをホームページで公開した(入場者総計712人)。 文書主管課である総務企画局総務課と協議を実施し、移管の促進等について意見交換を行い認識の共有を図った。				
令和4年度					
計画	広報紙「古文書だより」第2号の刊行とホームページへの掲載。 ホームページ「コレクション紹介」に古文書資料収蔵品を追加掲載。 古文書資料収蔵品データベースに、新たに整理・保存が終了した資料の目録データを掲載する。また、過去に発行した紙製本の目録に掲載したデータのうち、データベース未搭載のものを順次公開する。 昭和56年の開業から40年が経過し、また来年3月には七隈線天神南-博多間の延伸事業が完成する機会を捉え、「福岡市地下鉄の歩み」をテーマに歴史的公文書等の展示を実施する。(実施済)				
内部評価 (令和3年度)					
古文書資料収蔵品データベースの構築と稼働開始と、新発刊の古文書広報紙及びコレクション等のWEB掲載により、古文書資料のデジタル化の方向性に一つの道筋をつけた。公文書については、五輪の国内開催を機にこれまでの福岡市におけるスポーツ振興計画、各種大会誘致等に関する歴史的公文書等の展示により、当館の公文書機能についてアピールした。一方で、資料のデジタルデータ化とその提供のあり方については、今後ともなお調査・検討が必要である。 以上のことから、B評価とする。					B
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> デジタルデータ化のための予算の増額が求められる。 ほぼ計画どおりに進んでいるため。「古文書だより」は素晴らしい。 可能な限りの取り組みを行われたためB評価。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実	
内容	文学館の利用拡大			
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	総合図書館HP等での情報提供の充実			
	企画展、常設展、文学講座等の情報提供の充実			
	企画展の開催、広報強化			
	企画展開催・報道機関等による広報強化			
	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築			
	構築	情報提供		
令和3年度				
計画	文学館事業として以下の事業を実施する。 図録刊行後に、そのコンテンツをもとに令和3年度中を目途に写真展・パネル展の実施を検討 常設展示「冴えの人—歌人・長塚節(ながつか・たかし)」を会期中展示替えを実施して開設 ももちはま草紙、読書講座等の文学講座を感染予防を徹底して実施し、文学館の認知度アップを図る。			
取組状況	文学館事業として以下の事業を実施した。 企画展図録「ミステリー女王 夏樹静子と福岡」の制作・刊行 ギャラリー常設展「冴えの人—歌人・長塚節(ながつか・たかし)」、展示解説リーフレットの作成、配布 ももちはま草紙(定例文学講座) 3回、常設展示関連文学講座 2回 文学講座(アジア文化賞共催) 延べ参加者数243人			
令和4年度				
計画	文学館事業として以下の事業を実施する。 企画展図録「ミステリー女王 夏樹静子と福岡」のコンテンツをもとに写真展・パネル展の実施を検討 新テーマによる企画展示を福岡市文学振興事業実行委員会に諮り、実現を目指す。 常設展示「映画化された小説」を会期中展示替えを実施して開設 ももちはま草紙、読書講座等の文学講座を感染予防を徹底して実施し、文学館の認知度アップを図る。			
内部評価 (令和3年度)				
図録「ミステリー女王 夏樹静子と福岡」の制作・刊行し、当館及び一般書店ルートを通じて販売を開始した。一方で、企画展については、令和3年度での実施に至らなかった。常設展については、展示、開設リーフレット作成配布、関連講座とも計画どおり実施した。 新型コロナウイルス感染防止対策のため、会場の定員を制限したため、文学講座等参加者は抑制しているが、応募者数はコロナ禍においても堅調である。図録等販売数は昨年度より減少した。(R2:文学講座等199人、図録等販売87冊→R3:243人、47冊) 以上のことからB評価とする。				B
外部評価 (令和3年度)				
<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある企画展示への取りくみは継続してほしい。 ・感染拡大になっても楽しめる(開催できる)ような取りくみも今後計画してほしい。 ・ほぼ計画どおりに進んでいるため。 ・中が暗い。内容がとても面白いのにもったいない。 ・文学に対する一般市民の認知を今後も上げてほしい。 				A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	運営方法の検討				
事業計画	現在指定管理制度を導入している総合図書館、東図書館及び早良南図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合(施設管理のみ)、東(運営)				
	早良南(運営)				
令和3年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努める。				
取組状況	総合図書館、東図書館の指定管理者制度は第2期に入り、早良南図書館については令和3年11月から導入した。 いずれも定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努めた。				
令和4年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努める。				
内部評価 (令和3年度)					
各指定管理者の事業報告やモニタリング等を元に検証したところ、総合図書館、東図書館は指定管理者第2期に入り、安定した運営ができた。 また早良南図書館は指定管理者の導入が初年度であったが、適正に運営できた。 計画どおり進められたことからA評価とする。					A
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者導入の評価は、市町村によって大きく異なっている。今後も定期的に調査や見直しを行うことを望む。 ・慎重に進めてほしい。 ・計画どおりに進んでいるため。 ・てきせいに運営できたためA評価。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進				
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動内容の追加・実施				
令和3年度					
計画	継続の意思のあるボランティアを確認後、不足数を新規に公募する。				
取組状況	新型コロナウイルス感染症の影響で十分な活動時間を確保できなかった中、ボランティア登録者数が125名となり、活動実績は1,564時間取り組んだ。 活動内容は「本の修理」が最多で、1,298時間(83%)を占める。				
令和4年度					
計画	新型コロナウイルス感染症の影響で、新規ボランティアの受け入れは困難。 既に登録しているボランティアを継続して受入れ、図書館ボランティアとの共働を進める。 (令和4年4月1日作成登録者数63名)				
内部評価 (令和3年度)					
コロナ禍で開館日数の減や三密回避という状況下でも、1,500時間以上の長時間の活動に取り組んでいただいた。 図書館との共働が認められることからA評価とする。					A
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館と共働できる場は、本の修理などの他にもたくさんあると思う。他館の実践例を調べたり柔軟に考えて取り入れてほしい。 ・計画どおりに進んでいるため。 ・十分な活動時間で本の修理等をしていただいた、 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	研修等の強化(分館での研修の充実)				
令和3年度					
計画	今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が拭えない現況であるため、職員が一同に集まったの全体研修はできるだけ制限し、必要最小人数での福岡市職員、図書館職員としての資質を高める研修を、年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、会場集合形式のものは3年度も縮減され、インターネットを介してのオンラインによるものが主体になると考えられる。派遣研修及びインターネット接続が可能な範囲でオンライン研修の受講を奨励し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
取組状況	全体研修については、公務員倫理、人権、情報セキュリティ研修等の実施や、避難訓練等の防災研修などを実施した。 専門研修については、県立図書館の研修等へ職員を延べ44人派遣した。 また、レファレンス業務や資料保存等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修を取り入れ、各分館を含めた職員の専門知識習得を奨励した。				
令和4年度					
計画	全体研修については、福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、令和4年度以降も会場集合形式で開催されるものに加えて、インターネットを介したオンラインによるもの、または併用によるものなど様々な開催形式が考えられるため、有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
内部評価 (令和3年度)					
予定した研修や最近、問題化している情報セキュリティについての研修を実施することができた。 また、参加可能な範囲で専門研修への派遣を行った。					B
外部評価 (令和3年度)					
・日本図書館協会主催の研修、図主催の各種研修に職員を出張扱いで館員を参加させて貰いたい。 ・図書館員として高い専門性を持つことは不可欠である。 ・研修を積極的に受ける(研修へ派遣する)環境を整えてほしい。 ・人員確保のための予算の増加を望む。 ・計画どおりに実施できているためA評価。					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
事業計画	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	駐車場収入による財源確保				
	新たな他財源	その他財源の確保			
令和3年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について、検討を行う。				
取組状況	駐車場の運営については、外壁工事終了の影響もあり、駐車台数が増加。目的外使用料の基本使用料約338万円の外、従量使用料約145万円の歳入があった。 喫茶厨房室や自販機等に係る目的外使用料は新型コロナウイルス感染症による休館の期間分が減額したものの、約87万円の歳入があった。 このほか、ふくおか応援寄附が約149万円寄せられた。				
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について検討する。				
内部評価 (令和3年度)					
駐車場運営では前年度と比べ約180万円増、寄付金は約100万円増となった。 しかし、新たな財源確保については、引き続き検討が必要なため、B評価とする。					B
外部評価 (令和3年度)					
・駐車場運営が順調なことは評価できる。 ・新たな取り組みが求められる。 ・ほぼ計画どおりに実施できているため。 ・財源確保のための検討が継続して必要と考える。					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	情報発信の推進		
内容	情報発信の推進				
事業計画	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討	実施			
令和3年度					
計画	引き続き、ホームページやSNS、新聞等の媒体を通して、効率的で効果的な情報発信を行う。				
取組状況	<p>図書館の開館情報やイベント情報等をホームページやSNSを通して発信した。また、パブリシティによる情報発信にも努めた(報道機関への資料提供数5件に対し報道又は掲載件数33件)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSは前年度よりも投稿回数を伸ばし、ツイッター387回でインプレッション数は631,929、フェイスブック255回でインプレッション数は23,599となっている。 ・媒体ごとの登録者は、フェイスブック298件、ツイッター1,298件、メルマガ512件、LINE3,563件と増加した。 <p>また、「図書館の使い方」や「検索方法」、「図書館の音」の動画製作・配信を行った。企画した館内での統一テーマ展示・イベント(動物愛護センターも参加)では、感染拡大防止の観点から広報を控えたにも関わらず、メディアから取材(6件)もあった。</p>				
令和4年度					
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。				
内部評価 (令和3年度)					
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントなどが実施できなかったことから、報道機関などへの資料提供は減少したが、SNSによる展示インフォメーション(R2年度途中から開始)の発信や、話題性のあるテーマ展示での情報拡散など、新たな形での情報発信を行った。SNSでの登録者も増えてきていることからA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力が着実に強くなっていることを評価する。それが利用者増につながるためには、さらなるPRや取り組みが必要と考える。 ・計画どおりに実施できているため。 ・以前、未返却の本についてテレビでインタビューされてあったが、今後も同様の情報発信を行うとよいと思う。 					<p>A : 4</p> <p>B : 1</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>